

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
フレッシューズセミナー	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
西村 泰治、宮里 邦子、近藤 敏、松原 孝俊					講義	

#### 授業概要

新入生全員を対象とした初年次教育講座と位置づけ、高等学校時代とは異なる大学生として、大学とは如何なるところで何をどのように学ぶのか目的を明確にして、様々な学修課題を解決するためにSNSや図書館での検索方法を学ぶ。医療に携わる職種を選択した学生同士として討議を通して仲間づくりを行い切磋琢磨する意識やチームワーク力や表現力を学び、個々のキャリアについても思考し、4年間の大学生活を有意義に実りあるものとして過ごせるような基盤づくりを行う。

#### 到達目標

1. 大学で学ぶ意義を理解できる
2. 学修課題の解決方法を理解し検索できる
3. レポートの書き方を理解し意図が伝わるように表現できる
4. チームで課題に取り組みメンバーと協働できる

#### 事前学修・事後学修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対応DP


#### 評価

最終講義日に実施する記述試験

#### 教科書

講師資料

#### 参考図書


#### 留意事項

--

#### オフィスアワー等

火曜日（17時～18時）・水曜日（16時～18時）研究室

#### 実務経験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
フレッシューズセミナー	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
西村 泰治、宮里 邦子、近藤 敏、松原 孝俊					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	大学について知る - 1	大学で学ぶことの意義、本大学の特色、科学的なものの考え方	西村 泰治
2	カリキュラムマップ	3学科のカリキュラムポリシー、教育課程（授業科目、単位等）とカリキュラムツリー	辻 慶子 近藤 敏 永崎 孝之
3	臨地・臨床実習の学び方	対人援助職、医療職（学生を含む）に対する社会の厳しい目（挨拶、マナー等）、先輩への敬意、患者さんの接しかた、倫理観。	稲川 利光
4	大学について知る - 2	科学的なものの考え方；ワクチンの有効性と、その社会的意義を例に挙げて	西村 泰治
5	学習法について	五感を使って記憶する、医学の基礎知識の反復学習、読解力をつける、自己研鑽	近藤 敏
6	レポートの作成法 ノートの取り方	レポートの形式（表紙 本文 文献）、本文（序論 本論 結論）の書き方、ノートの取り方	宮里 邦子
7	将来展望（キャリアデザイン）	10年後のキャリアを考える（自己実現に向けて） 医療機関、福祉施設、老人保健施設、通所施設、訪問、行政職、研究職（大学教員等）、一般企業、起業（NPO法人、株式会社）、大学院進学、JICA海外協力隊	辻 慶子 近藤 敏 永崎 孝之
8	振り返りとまとめ	1～7のレビュー、ディスカッション	西村 泰治

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
心理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 雄介					演習	

#### 授 業 概 要

本科目では基礎心理学と応用（臨床）心理学の知識を学び、心理学を日常生活に応用できるようになることを目的とする。人間の生活基盤としての「個人・集団」の関係形成、心理および行動について理解する。人間は人との関係の中で生活しているが、人間の「心」の在りようは複雑で、その在りようが身体にも他者との関係にも影響する。心理学の伝統的方法と行動的方法をもとに人間理解の具体的方法を学ぶ。心理学は人のこころの動きや、そこから生じる行動について探究する学問である。心理学を日常生活に活用できるように学修する。

#### 到 達 目 標

1. 心理学の全体像について説明できる
2. 人のこころの基本的な仕組みと働きについて理論を用いて説明できる
3. 本科目での学びを日常生活に活用できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておく  
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P


#### 評 価

ミニレポート（40％）と定期試験（60％）により評価する。

#### 教 科 書

はじめてふれる心理学 [第3版]

#### 参 考 図 書

授業中に適宜紹介する。

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
心理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
山口 雄介					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	心理学とは	オリエンテーション 心理学の分野、心理学の全体像	山口雄介
2	知覚	人間の視覚の仕組みについて、錯視図形（「図と地」「ゲシュタルト」）の概念について	山口雄介
3	学習	人間が学習する仕組み「古典的条件づけ」、「オペラント条件づけ」、「観察学習」、「学習された無力感」の概念	山口雄介
4	記憶	記憶のメカニズム（「記銘」・「保持」・「再生」）や記憶の変容など記憶力をアップさせる記憶方略	山口雄介
5	発達	エリクソンの「発達漸成説」、人間の生涯にわたる発達段階と発達課題について	山口雄介
6	青年（1）	青年期の区分 青年期の心理的特徴（「自己意識の高まり」、「劣等感と理想の追求」、「友情と恋愛」）	山口雄介
7	青年（2）	青年期の鍵概念である「アイデンティティ」について 「アイデンティティ・ステイタス」、「モラトリアム」、「時間的展望」	山口雄介
8	性格	性格を分類・記述する理論として「類型論」と「特性論」や各種心理療法に関連する人格理論心理テスト体験	山口雄介
9	自己「自己とは何か？」	「自己概念」、「主体としての自己」、「物語的文脈としての自己」の3つの見地	山口雄介
10	家族	家族心理学の観点、「家族の発達段階」と「家族関係の病理（家庭内暴力、DV）」	山口雄介
11	心の病理と健康（1）心の健康性	「適応と不適応」、「欲求階層説」、健康な人間像に関する理論の一つとして、ロジャーズの「十分に機能している人間」について	山口雄介
12	心の病理と健康（2）精神障害	「外因性」、「内因性」、「心因性」の病因論による分類 思春期・青年期の心理的問題（不登校、引きこもり、自殺など）について	山口雄介
13	心の病理と健康（3）ストレス理論	「ストレスマネジメント」によって健康を回復・維持する必要性 ワークを交えながらストレス対処力の向上	山口雄介
14	社会	対人認知とコミュニケーションと対人行動（人間の行動は社会的な文脈や文化に影響を受ける）	山口雄介

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
心理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 雄介					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	授業全体の振り返り、要点のまとめ	山口雄介

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
法学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
鎌田 厚志					講義	

#### 授 業 概 要

日本国憲法は「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の3つの柱から成り立っている。日本国憲法の基本的な考え方を知り、憲法が国家や社会の基礎をなしていることを理解する。「基本的人権は」侵すことのできない永久の権利であるが、基本的人権が法の下にどのように保障されているか学び、現在起こっている身近なものと結び付け現実的に考えられるようにする。また「患者の権利」について具体的に検討し、臨地（床）の場で生じる様々な問題についても学修する。

#### 到 達 目 標

1. 憲法とは、立憲主義とはどのようなものか説明できる。
2. 人権の保障がどのように発展してきたか説明できる。
3. 法が担う役割について説明できる。

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
事後学習：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P


#### 評 価

毎回の授業への出席状況および定期試験などに基づいて総合的に成績を評価する。

#### 教 科 書

池田真朗『プレステップ法学 第5版』（弘文堂、2023年）

#### 参 考 図 書

1. 初宿正典ほか『いちばんやさしい憲法入門』（有斐閣アルマ、2020年）
2. 手嶋豊『医事法入門』（有斐閣アルマ、2022年）
3. 初川満『実践 医療と法 医療者のための医事法入門』（信山社、2016年）

#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問は授業の前後に受け付ける。

#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
法学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
鎌田 厚志					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	法学への招待	授業ガイダンス、法とはどういうものか？ 日常生活と法、法は自分を守り他人を守るもの	鎌田 厚志
2	契約は絶対に守るべき？	民法（契約法）について 契約ってどういうこと？	鎌田 厚志
3	身近な生活と法	消費者法および過失責任について クーリングオフなど、知っているのと役に立つ法律の知識	鎌田 厚志
4	民法と刑法はどう違う？	刑法および法的責任について 刑罰とは何か？どのような場合に刑罰を受けることになるのか？	鎌田 厚志
5	性的トラブルにまきこまれたら	刑法について、および関連する法律、人権について セクハラ等、何をやってはいけないと法は定めているのか。	鎌田 厚志
6	憲法で人権を保障するということ	憲法について、人権および国のしくみ 法の中で一番大事な憲法は何を定めているのか	鎌田 厚志
7	バイトも正社員も労働者	労働者の権利について、労働法について 働いている人々の身を守るための法律について	鎌田 厚志
8	患者の権利について	最近の事例から医療者と法、患者の権利について考える 授業の振り返り、最近の事例から医療者と法について考える、まとめ	鎌田 厚志

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人間関係論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
松尾 和代					講義	

#### 授 業 概 要

人間は幼少期から成長する過程で様々な人間関係を経験する。その経験は個々の心と体の「健康」に大きな影響を与える。現代社会は常に変化しており、そこで生じる多様な人間関係も複雑化している。人間関係論はホーソンの実験により、経営組織の諸状況が人間関係によって規定され、その因果関係を体系化した理論で人間関係の重要性を示したものである。医療に携わる学修者として人間関係づくりの基礎的知識を理解し、対象者となる人間理解と自己理解を深め、人々の健康課題に寄与できるように学修する。

#### 到 達 目 標

1. 自己と他者の関係を説明できる
2. 発達に関わる人間関係の問題を説明できる
3. 現代の人間関係の諸問題について説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対 応 D P


#### 評 価

レポート60% 授業取組（毎回の授業での振り返り等の課題）40%

#### 教 科 書

系統看護学講座基礎分野 人間関係論 医学書院

#### 参 考 図 書

その他、参考となる書籍、文献については適宜授業にて紹介します

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人間関係論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
松尾 和代					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	人間関係の諸相	授業ガイダンス 社会的動物としての人間と人間関係の発達	松尾和代
2	自己の仕組みと働き	自己認知, 自己評価, 自己開示, 自己呈示が人間関係にもたらす影響	松尾和代
3	対人認知と対人関係	対人認知と対人魅力 人間関係の維持と崩壊	松尾和代
4	態度と説得	態度と態度変化の理論 説得的コミュニケーション	松尾和代
5	援助と攻撃	攻撃のコントロール 援助行動	松尾和代
6	集団	集団での課題遂行 集団での問題解決と意思決定	松尾和代
7	職場の人間関係	リーダーシップとチームワーク	松尾和代
8	保険医療における人間関係	保健医療チームの人間関係 患者を支える人間関係	松尾和代

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
コミュニケーション論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
松尾 和代					講義	

#### 授業概要

コミュニケーションは私たちの生活のあらゆる場面に存在し、人間社会を成立させる重要な手段であり、人間の「考え・感情」を表現し、理解しあうことにつながる。健康課題を持つ対象に対応する医療関係者にとってこの能力は重要となる。本科目では多様なコミュニケーションにおいて、双方向の情報を正しく読み取り、適切に伝え、よりよいコミュニケーションをはかる手立てを探る力をつけることを目的に、医療に関する職業に携わる学修者として実践に活かせるように学修する。

#### 到達目標

1. コミュニケーションの概念について説明できる
2. 対人コミュニケーションの基礎について説明できる
3. コーチングについて説明できる
4. カウンセリングについて説明できる
5. コミュニケーションが社会に与える影響を説明できる

#### 事前学修・事後学修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対応DP


#### 評価

レポート60% 授業取組（毎回の授業での振り返り等の課題）40%

#### 教科書

系統看護学講座基礎分野 人間関係論 医学書院

#### 参考図書

その他、参考となる書籍、文献については適宜授業にて紹介します

#### 留意事項

#### オフィスアワー等

#### 実務経験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
コミュニケーション論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
松尾 和代					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	コミュニケーションとは	授業ガイダンス コミュニケーションとは マスメディアとソーシャルメディアの社会的影響	松尾和代
2	気持ちを分かち合う コミュニケーション	信頼関係を築く人の話の聴き方 会話を弾ませる質問と答えの仕方	松尾和代
3	仕事を進める論理的 コミュニケーション1	仕事に必要な論理的な話の組み立て方	松尾和代
4	仕事を進める論理的 コミュニケーション2	わかりやすい説明の技法	松尾和代
5	コーチングとは	コーチングの技法	松尾和代
6	カウンセリングとは	カウンセリングの技法	松尾和代
7	アサーションとは	アサーティブ コミュニケーションの技法	松尾和代
8	医療チームにおける コミュニケーション	チームエラーを防ぐためのコミュニケーション	松尾和代

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
アジアの文学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
今井 明					講義	

#### 授 業 概 要

アジアの文学と一口に言っても、アジアは非常に広大な地域なので、地域が辿ってきた歴史によって根付く文学の特徴にも違いがある。ここではアジアの世界から日本・中国を取り上げ、二つの地域における古典文学と近代文学について学ぶ。作品を通して時代背景とともに人間の生きざまや考え方、思想が日本、中国の文学にどのように影響しているか、それぞれの文学の特徴や関連について学修することで、時代背景や各地の文化が人間に及ぼす影響について深く理解する。

#### 到 達 目 標

1. 日本における古典文学と近代文学の特徴を説明できる。
2. 中国における古典文学と近代文学の特徴を説明できる。
3. 作品の背景を理解し、東アジアの文学の関連について説明できる。

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

#### 対 応 D P


#### 評 価

試験（50%）＋課題レポート（50%）

#### 教 科 書

なし

#### 参 考 図 書

講義中に指示する

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

授業終了後しばらく時間を設けるので、質問・相談はその時間を利用してください。

#### 実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
アジアの文学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
今井 明					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	文学入門	授業ガイダンス 文学入門-文学を味わう前に知って欲しいこと 文字のない日本と文字のある中国	今井 明
2	「世界」の捉え方	『今昔物語集』インド・中国・日本が世界だった「世界観」の文学。	今井 明
3	歴史と文学	『史記』と『大鏡』。歴史を人間を通して描く。現代の歴史小説にもつながる方法。司馬遼太郎生誕100年に寄せて。	今井 明
4	物語と小説	「小説」と「物語」は同じか？日本の平安時代の物語と日本の近代小説を較べて考えよう。	今井 明
5	中国の近代文学	中国近代文学の父 魯迅の作品	今井 明
6	中国文学から日本文学へ	『長恨歌』を知っておこう。そして中国の悲運の女性を主題にした日本の古典和歌。	今井 明
7	死と文学	父俊成の死を看取る歌人・藤原定家。そして、北条民雄の『いのちの初夜』	今井 明
8	まとめ	授業内容の振り返りとまとめ。	今井 明

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
福岡の歴史と文化	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
寺坂 禮治					講義	

#### 授 業 概 要

福岡市の歴史、特に博多の成り立ちを学ぶ。福岡市は九州の玄関口として、またアジアに開かれた都市として、近年とみにグローバル化している。保健医療に携わる者としてこれから大学生活をおくる福岡の歴史、生活する人々の暮らしや地域で行われている習慣を知ることが、地域の環境や文化の理解、地域で生活する人の理解につながる。地域に対する誇りを確認することにもなり大切な要素となる。自らも福岡の魅力を発信できるように多方面から学修する。

#### 到 達 目 標

1. 福岡の歴史を知り、古代から近代までの概要を説明できる。
2. 福岡の多文化共生社会の中で人権について説明できる。
3. 福岡の多文化共生社会における在日外国人の現状や課題について説明できる。

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと  
 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を理解し、理解を深める。

#### 対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。

#### 評 価

定期試験（マークシート）

#### 教 科 書

講師資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

高山倫明：メールで相談すること。  
 宮井善郎授業後1時間  
 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
福岡の歴史と文化	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
寺坂 禮治					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	福岡の先史編	アジアから流入した先史文化	宮井善郎
2	福岡の中世編	中世博多にチャイナタウンがあった！！--福岡地下鉄空港線が貢献した博多学	田上勇一朗
3	九州方言と福祉言語学	医療従事者と患者、災害救援隊と被災者、ネイティブと在日外国人、等々の間に起こりがちな、方言に起因するコミュニケーション阻害について考える。	高山倫明
4	福岡方言の歴史	日本語史の観点から福岡県内諸方言の来歴を考える。	高山倫明
5	福岡の古代編	古代日本の玄関口 大宰府と筑紫館と鴻臚館	菅波正人
6	福岡の食文化編1	福岡市の承天寺境内にある石碑「饅頭（うどん）蕎麦発祥之地」。麵王国博多「うどん」を紹介しながら博多の麵文化を講義する。	小川洋平
7	万葉筑紫歌壇1	福岡にゆかりの万葉歌（博多港編）	高山倫明
8	万葉筑紫歌壇2	福岡にゆかりの万葉歌（大宰府編）	高山倫明

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康科学入門	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
西村 泰治、宮里 邦子、近藤 敏、永崎 孝之、稲川 利光、辻 慶子、溝田 勝彦、中山 広宣					講義	

#### 授 業 概 要

日本は世界に先駆けて高齢社会となり、国民が健康でよりよく生きるかということは大きな命題でもある。「健康」とは何か、人々のより良い健康を支援する職業に携わるものとして、看護、理学療法、作業療法、各々の視点から健康を深く理解し、人間の「健康」を支える「科学」とは何かを思考する。健康科学を支える学問は多岐にわたっており、人々の健康の実現を目指していく実践的な科学である。ここでは各学科の専門基礎分野・専門分野への導入として、その礎となる「健康科学」について学修する。

#### 到 達 目 標

1. 自分が学ぶ領域における健康とはどのようなものか説明できる
2. 科学とは何か説明できる
3. 健康を科学するとは自分が学ぶ領域でどのようなことが考えられるか自分なりに説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対 応 D P


#### 評 価

講義日以外の日程で実施する記述試験

#### 教 科 書

講師資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア フ ー 等

火曜日（17時～18時）・水曜日（16時～18時）研究室

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
健康科学入門	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
西村 泰治、宮里 邦子、近藤 敏、永崎 孝之、稲川 利光、辻 慶子、溝田 勝彦、中山 広宣					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	健康とは1	授業ガイダンス 健康とは何か、科学する心、健康を科学する	西村 泰治
2	健康とは2	医学領域からみた健康	稲川 利光
3	健康とは3	理学療法領域からみた健康	永崎 孝之
4	健康とは4	作業療法領域からみた健康	近藤 敏
5	健康とは5	看護領域からみた健康	宮里 邦子
6	健康を科学する1	健康を科学する；看護学の研究より	辻 慶子
7	健康を科学する2	健康を科学する；理学療法学の研究より	溝田 勝彦
8	健康を科学する3	健康を科学する；作業療法学の研究より	中山 広宣

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医療と情報リテラシー	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担当教員				授業形態	開講形式	
藤村 直美、山下 貴範				演習		

#### 授業概要

激しく変化している社会の中で生きていくためには生涯学習が必須となり、各自がそれぞれの方法を身につけるためには情報リテラシー能力の獲得が必要である。本科目ではインターネットの概要について学び、その上で動くアプリケーションの仕組みや基礎技術を理解し、適切に使いこなせるように学ぶ。医療の現場はICT (Information and Communication Technology) の発達によって大きく変化している。しかしその一方では様々な問題や課題がある。ICTを用いた新しい医療としては遠隔での診療が可能になったり、情報の共有ができたり、災害時に活用できたりなど現在の状況や、これから充実していく5G (高速、大量の通信が可能) での医療の活用について学ぶ。さらに医療倫理的側面から、医療に関わる人々が知っておくべき課題について学修する。

#### 到達目標

1. インターネットで使える機能の仕組みを理解して、適切に使用できる
2. セキュリティについて理解し、安心・安全にインターネットとアプリを使用できる
3. インターネット上で入手できる様々なコンテンツの探索方法、活用方法を理解して活用できる
4. コンピュータの基礎知識を説明できる
5. 医療情報のリテラシーについて説明できる
6. 病院情報システムの構成について理解し、説明できる
7. ICTや情報技術、通信技術発達による医療への影響、IoT (Internet of Things) と生活の関連について説明できる
8. 個人情報の取り扱いについて説明できる

#### 事前学修・事後学修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対応DP

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。

#### 評価

毎回の課題で評価する。（藤村）

#### 教科書

講師資料

#### 参考図書

#### 留意事項

#### オフィスアワー等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実務経験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医療と情報リテラシー	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
藤村 直美、山下 貴範					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	授業ガイダンス iPadの使い方	授業ガイダンス（出席、課題、評価、成績、連絡方法） iPad、Office（Word, Excel, PowerPoint, OneDrive, Moodle）の操作	藤村直美
2	電子メールについて	電子メール（配送の仕組み、利用上の注意） セキュリティ（ウイルス、詐欺メール、フィッシング）	藤村直美
3	コンピュータとデータベース	種類、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、 クラウド（仕組み、特徴、利用方法）	藤村直美
4	インターネットの概要	インターネットの概要（構成要素、接続形態、IPアドレス、ドメイン名）	藤村直美
5	WWWとは	WWW（サーバー、クライアント、HTTP/HTTPS、検索の仕組み）	藤村直美
6	移动通信	固定電話、携帯電話、仕組み、料金	藤村直美
7	電子決済について OERについて	電子決済（仕組み、種類と特徴、メリット/デメリット） OER(Open Education Resources)（OCW、MOOC、世界の学習教材）	藤村直美
8	医療情報リテラシー	医療の情報化、医療情報の種類	山下貴範
9	情報セキュリティ	情報セキュリティにおけるリスクと対策	山下貴範
10	病院情報システム1	病院情報システムの歴史、概要、構成	山下貴範
11	病院情報システム2	医事会計システム、オーダーリングシステム、電子カルテシステム、各部門システム、様々な医療システム構成 システム開発、導入、管理、運用	山下貴範
12	病院情報システム3	医事会計システム、オーダーリングシステム、電子カルテシステム、各部門システム、様々な医療システム構成 システム開発、導入、管理、運用	山下貴範
13	医療情報標準化	医療情報標準化	山下貴範
14	個人情報保護とガイドライン	医療現場における個人情報の扱い、個人情報保護法・次世代医療基盤法・医療情報ガイドライン	山下貴範

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医療と情報リテラシー	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
藤村 直美、山下 貴範					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	これからの医療情報	近未来の医療情報を考える、授業のまとめ	山下貴範

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
論理的思考法	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
国越 道貴					講義	

#### 授 業 概 要

今日、どのような職業においても「根拠（エビデンス）にもとづいた思考と行動」が求められている。医療の領域も例外ではない。そこでは「エビデンスにもとづく治療（医療）」という言葉をよく耳にするようになった。しかし、根拠にもとづいて結論を導き出すとはいかなることなのか。ある結論をエビデンスによってサポートするとはどのようなことなのか。こうした根本的な問いを考えるのが、この講義の目的である。この講義では、「論証」の構造およびその評価の仕方を、演繹と帰納の観点から体系的に検討することによって、これらの問いにアプローチする。論理的思考を修得することは、大学におけるアカデミックスキルを身につける際にも基本となるだろう。

#### 到 達 目 標

1. 論証とは何か説明できる
2. 様々なタイプの論証に関する評価基準について説明できる
3. 身近な場面から自分自身で説得的な論証をつくらることができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対 応 D P


#### 評 価

平常点（授業への積極的な参加）と学期末試験の点数によって評価する。

#### 教 科 書

倉田 剛『論証の教室〔入門編〕 インフォーマル・ロジックへの誘い』（新曜社、2022年3月）

#### 参 考 図 書

適宜推薦する。

#### 留 意 事 項

とくになし。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

事前にメール等で連絡することが望ましい。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
論理的思考法	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
国越 道貴					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	論証とは何か	授業ガイダンス なぜ論理的思考が大切なのか	国越道貴
2	論証の構造	前提と結論	国越道貴
3	論証のタイプ	演繹と帰納、主な論証のタイプを区分する	国越道貴
4	論証の評価	妥当性と帰納的強さとの区別	国越道貴
5	仮説形成型論証	仮説の形成とその確証の仕方	国越道貴
6	帰納的一般化	サンプル（部分）から母集団（全体）の様子を推測する	国越道貴
7	因果推論	確からしい原因を特定する論証	国越道貴
8	まとめ	授業のまとめ	国越道貴

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生物学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
照屋 輝一郎					演習	

#### 授 業 概 要

医療職に必要な不可欠な生物学の基本事項を学修し、生命とは何かを考える。初めに生命の基本となる細胞の構造と機能を理解し、生体を構成する分子や恒常性維持のメカニズムについて学ぶ。また発生・分化、遺伝と生物進化、生命誕生と死に関する事項の学びを通じて、「生きるとは何か」という生命の本質を理解する。ここでは医療の基礎となる生物学を学ぶことで、私たちの生命がどのような仕組みで維持されているのかを理解し、それを専門分野に応用できる基礎的能力を養う。

#### 到 達 目 標

1. 細胞を構成する物質の特徴を説明できる
2. 遺伝の仕組みについて説明できる
3. エネルギー代謝、細胞の増殖、細胞の死について説明できる
4. 脳神経、免疫の仕組みについて説明できる
5. 生命のしくみについて説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対 応 D P


#### 評 価

成績は主に学期末テストの結果で評価するが、課題などの提出状況も含めて評価する。

#### 教 科 書

西沢いづみ 著 看護系で役立つ 生物の基本 第2版 化学同人 ISBN 978-4-7598-2065-2

#### 参 考 図 書

田村隆明 著 医療・看護系のための 生物学（改訂版） 裳華房 ISBN 978-4-7853-5233-2  
 南雲 保 編著 やさしい基礎生物学 第2版 羊土社 ISBN 978-4-7581-2051-7  
 中村桂子、松原謙一 監訳 Essential細胞生物学原書第4版 南江堂 ISBN 978-4-524-26199-4

#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生物学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
照屋 輝一郎					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	生物の最小機能単位	授業ガイダンス 生命の誕生、細胞の働き、細胞膜	照屋輝一郎
2	体液のしくみと働き	水、人体の構成成分、細胞内液、細胞外液、電解質、浸透圧	照屋輝一郎
3	遺伝情報とDNA	DNA、遺伝子、セントラルドグマ、複製、RNA、転写、翻訳	照屋輝一郎
4	遺伝情報の伝え方	細胞分裂、染色体、減数分裂	照屋輝一郎
5	遺伝と遺伝性疾患のしくみ	形質と遺伝、遺伝子型と表現型、遺伝子の変異、遺伝性疾患、DNA多型、SNP	照屋輝一郎
6	化学エネルギーと代謝	化学エネルギー、異化、同化、エネルギー代謝、ATP	照屋輝一郎
7	化学反応と酵素	酵素、活性化エネルギー、触媒、基質特異性、補酵素、フィードバック阻害	照屋輝一郎
8	糖質の代謝	グルコース、解糖系、グリコーゲン、血糖値、糖新生	照屋輝一郎
9	脂質の代謝	脂質、脂肪酸、 $\beta$ 酸化、リポタンパク質、ケトン体、コレステロール	照屋輝一郎
10	タンパク質・アミノ酸の代謝	タンパク質、アミノ酸、アミノ基転位反応、 $\alpha$ -ケト酸（炭素骨格）、アミノ基、尿素回路	照屋輝一郎
11	内分泌系による情報伝達	内分泌腺、ホルモン、ホルモン受容体、フィードバック調節	照屋輝一郎
12	神経系による情報伝達	ニューロン、活動電位、神経伝達物質、中枢神経、末梢神経	照屋輝一郎
13	血管系とリンパ系	血管系、循環系、体循環、血液の役割、リンパ系、リンパ循環	照屋輝一郎
14	免疫系のしくみ1	免疫とは、自己と非自己、物理・化学的防御、自然免疫	照屋輝一郎

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生物学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
照屋 輝一郎					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	免疫系のしくみ2	獲得免疫、免疫担当細胞の誕生、アレルギー	照屋輝一郎

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
物理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
黒木 昌一					演習	

#### 授 業 概 要

物理学は、科学技術のベースとなる重要な分野であり、さまざまな自然現象を考える上で基礎的な学問となる。本科目の目的は、力学の基本的な原理について正しい理解を得ること、看護師、理学療法士、作業療法士に必要な物理学に関連する知識を得ること、科学的または論理的な考え方を養うことである。人体の運動と物理の法則の関係を理解し、科学的な思考で人間の動きを捉えられるように学ぶことで、無理のない体の動きや力の使い方についても日常的に重力や摩擦など考えながら行動し、各分野に活かせるように学修する。

#### 到 達 目 標

1. 人体の運動と物理法則の関係を理解し、科学的な見方を身につける
2. 臨床場面における科学的思考の基礎を身につける

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：当該テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対 応 D P


#### 評 価

レポート・授業中の小テスト30% と期末試験（筆記試験）70%で評価する。

#### 教 科 書

特に指定しない。（プリント配布等で対応）

#### 参 考 図 書

- 1) 廣岡秀明・崔東学・古川裕之・吉村玲子・山本洋 共著「医療系の基礎としての物理」 学術図書出版社
- 2) 横田俊昭著 「看護と医療技術者のためのぶつり学」 第2版 共立出版
- 3) 藤城敏幸/佐藤幸一著 「医療系のための物理」 第2版 東京教学社

#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
黒木 昌一					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	物理学基礎で学習すること 物理量とその表し方(1)	物理学とは、看護学・理学療法学・作業療法学と物理学 物理量、国際単位系（基本単位と組立単位）、ベクトル量とスカラー量	黒木昌一
2	物理量とその表し方(2)	大きい数、小さい数の表し方、指数の計算、有効数字とその計算	黒木昌一
3	物理学で使うグラフと関数 (1)	数式とグラフ、三角関数	黒木昌一
4	物理学で使うグラフと関数 (2)	変化率と微分、ベクトルの計算	黒木昌一
5	いろいろな運動(1)	位置と変位、速度、加速度、等速直線運動	黒木昌一
6	いろいろな運動(2)	等加速度直線運動、自由落下、鉛直投げ上げ、水平投射	黒木昌一
7	さまざまな力(1)	力とは、力の単位、重力、張力	黒木昌一
8	さまざまな力(2)	垂直抗力、摩擦力、弾性力、圧力	黒木昌一
9	力のつり合いと運動の法則 (1)	力の合成と力のつり合い、慣性の法則、遠心力	黒木昌一
10	力のつり合いと運動の法則 (2)	運動方程式、作用反作用の法則	黒木昌一
11	物体の重心と回転運動(1)	剛体の回転運動、力のモーメントのつり合い、重心と重心の求め方	黒木昌一
12	物体の重心と回転運動(2)	剛体の運動と剛体にはたらく力、力のモーメントと3つのでこ	黒木昌一
13	運動量、仕事とエネルギー (1)	運動量と力積、仕事と仕事率、運動エネルギー	黒木昌一
14	運動量、仕事とエネルギー (2)	位置エネルギー、エネルギー保存の法則	黒木昌一

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
黒木 昌一					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	波、音と光	波の特徴、縦波と横波、照度と光度	黒木昌一

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語 I (医療英語)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
Greggory Wroblewski					演習	

#### 授 業 概 要

“Medical English 1” is the first in a series of two courses intended for 1st year students in the Faculty of Health Sciences as part of their integrated English curriculum. Through the medium of English, students will integrate listening & notetaking, vocabulary building, controlled practice, reading, and role-playing by exploring common healthcare scenarios in a Japan-specific context.

#### 到 達 目 標

By the end of this semester, students will be expected to:
 

- Understand short, level-appropriate audio texts of English dialogues in healthcare scenarios and take accurate notes
- Achieve relative mastery of the most common English vocabulary likely to appear in non-specialist healthcare contexts
- Achieve control of basic- and intermediate-level English grammatical forms and constructions
- Orally communicate basic ideas and requests using English in a comprehensible fashion, particularly in healthcare scenarios
- Understand and complete basic medical forms that includes patient information
- Participate in simple role-plays from both healthcare professional and patient viewpoints using English
- Navigate a variety of cultural obstacles likely to be encountered when dealing with non-Japanese patients

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

#### 対 応 D P


#### 評 価

Quizzes & tests 70%  
Participation/homework 30%

#### 教 科 書

Vital Signs by Vivian Morooka & Terri Sugiura (Nan' un-do) (ISBN978-4-523-17868-2)

#### 参 考 図 書

Additional materials may be made available online.

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

Study help:  
Your Teacher will share contact details during the Class Introduction

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語 I (医療英語)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
Greggory Wroblewski					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	1. Introduction / Unit 1		Greggory Wroblewski
2	2. Unit 2		Greggory Wroblewski
3	3. Unit 3		Greggory Wroblewski
4	4. Unit 4		Greggory Wroblewski
5	5. Test 1		Greggory Wroblewski
6	6. Unit 5		Greggory Wroblewski
7	7. Unit 6		Greggory Wroblewski
8	8. Unit 7		Greggory Wroblewski
9	9. Unit 8		Greggory Wroblewski
10	10. Test 2		Greggory Wroblewski
11	11. Unit 9		Greggory Wroblewski
12	12. Unit 10		Greggory Wroblewski
13	13. Unit 11		Greggory Wroblewski
14	14. Unit 12		Greggory Wroblewski

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語 I (医療英語)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
Greggory Wroblewski					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	15. Test 3		Greggory Wroblewski

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ理論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
小西 裕之					講義	

#### 授業概要

学生の健康管理の一環ともなるようスポーツについて学修する。人間にとって体を動かすことがどのような意義があるのか、スポーツがもたらす心や体への影響を考え、体力づくりや健康づくりや、スポーツ理論について学ぶ。さらに障害者のスポーツに関しても学修する。障害には身体障害、知的障害、精神障害、発達障害などがある。初めてスポーツに参加する障害者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツ活動の導入を支援できるように学修する。

#### 到達目標

1. スポーツが身体・精神に及ぼす影響について説明できる
2. 健康と体力づくりの関係について説明できる
3. スポーツに取り組む際の安全への配慮について説明できる
4. 障がい者スポーツの概要を説明できる

#### 事前学修・事後学修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対応DP


#### 評価

テストの結果により評価（テストは8回目授業内で行う）

#### 教科書

なし

#### 参考図書

適宜配布する。

#### 留意事項

携帯電話等モバイル機器の無断使用を禁止する

#### オフィスアワー等

授業終了後、もしくはメールにて問い合わせること

#### 実務経験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ理論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
小西 裕之					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	スポーツの意義と役割	授業ガイダンス 健康の概念 運動・スポーツが健康に及ぼす影響	小西裕之
2	ライフステージによる 運動・スポーツ	ライフステージ別にみた運動・スポーツ及びそれらの健康に及ぼす影響	小西裕之
3	スポーツと メンタルヘルス	運動・スポーツがメンタルヘルスに及ぼす影響	小西裕之
4	安全管理	安全管理の考え方、安全上の約束と指導、レクリエーションの工夫	小西裕之
5	運動処方	運動処方の原則、運動処方についての留意点	小西裕之
6	障害別指導の特徴	身体別障害、知的障害、精神障害、発達障害	小西裕之
7	障がい者スポーツ	障がい者スポーツ振興の経過	小西裕之
8	まとめ	ノーマライゼーションの考え方、授業の振り返り	小西裕之

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
解剖学 I (筋骨格系、神経系)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中島 民治					講義	

#### 授 業 概 要

人体を構成する器官・器官系のうち、動物性機能に関係の深い筋骨格系（骨・関節・筋）と神経系（脳・脊髄・感覚器）の基本的構造について学ぶ。人体の基本構造の知識に基づき、理学・作業療法と関連のある臨床症例の概要を理解し、人体解剖学とリハビリテーションの関連性についての理解を深める。

#### 到 達 目 標

1. 人体の骨と筋について、名称、起始、停止、神経支配、作用を述べることができる。
2. 神経系に属する各器官の名称や解剖学的区分、特徴等を説明することができる。
3. 理学・作業療法を行うにあたり人体解剖学を学ぶ意義について理解する。

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当箇所を読んでおく  
事後学修：授業内容を復習し、整理する

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版（野村 嶺 編 医学書院）
2. 講義ノート（パワーポイント）

#### 参 考 図 書

解剖生理学ワークブック 坂井建雄・岡田隆夫・宇賀貴紀 編 医学書院

#### 留 意 事 項

教科書の熟読を求める。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
解剖学 I (筋骨格系、神経系)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
中島 民治					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	解剖学総論	解剖学とは(定義・目的)、解剖学用語と人体の区分、人体の構成、人体の発生	中島民治
2	骨格	骨格総論、骨格各論(頭蓋・脊柱・上肢の骨・下肢の骨)	中島民治
3	関節と靭帯	関節靭帯総論、関節靭帯各論(頭蓋の連結・脊柱、脊柱と頭蓋および胸郭の連結・上肢の連結・下肢の連結)	中島民治
4	筋系(運動器) 1	筋系総論、筋系各論(体幹の骨格と筋)	中島民治
5	筋系(運動器) 2	筋系各論(上肢の骨格と筋)	中島民治
6	筋系(運動器) 3	筋系各論(下肢の骨格と筋)	中島民治
7	筋系(運動器) 4	筋系各論(頭頸部の骨格と筋)	中島民治
8	筋系(運動器) 5	筋の収縮による運動	中島民治
9	神経系 1	神経系総論	中島民治
10	神経系 2	中枢神経系(脊髓・脳)	中島民治
11	神経系 3	中枢神経系(神経路)	中島民治
12	神経系 4	末梢神経系(脊髓神経・脳神経)	中島民治
13	神経系 5	末梢神経系(自律神経系)	中島民治
14	感覚器系 1	外皮、視覚器の構造と機能	中島民治

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
解剖学 I (筋骨格系、神経系)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中島 民治					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	感覚器系 2	平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器の構造と機能	中島民治

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
解剖学実習	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
田中 真一、古後 晴基、坪内 優太、東 華岳					実習	

#### 授 業 概 要

人体模型や3D教材を用いた実習および顕体解剖の見学を通して、人体（運動器系・神経系）の構造を立体的に理解する。

#### 到 達 目 標

1. 上肢・下肢・頭蓋・体幹を構成する骨と筋の基本的形態について説明することができる
2. 消化器系、循環器系、呼吸器系、神経系の基本的な構造について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前に示された課題について個人学修しておくこと  
 事後学修：実習およびグループ学修で学んだことをまとめ、記録する

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（50%）、課題レポート（50%）

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版（野村 嶺 編 医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日10時～12時

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
解剖学実習	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
田中 真一、古後 晴基、坪内 優太、東 華岳					実習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション	模型・3D教材を用いた実習の目的と方法	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
2	骨と筋の構造と機能	上肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習①）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
3	骨と筋の構造と機能	上肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習②）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
4	骨と筋の構造と機能	上肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習③）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
5	骨と筋の構造と機能	上肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習④）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
6	骨と筋の構造と機能	上肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習⑤）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
7	骨と筋の構造と機能	下肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習①）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
8	骨と筋の構造と機能	下肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習②）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
9	骨と筋の構造と機能	下肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習③）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
10	骨と筋の構造と機能	下肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習④）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
11	骨と筋の構造と機能	下肢の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習⑤）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
12	骨と筋の構造と機能	頭蓋・体幹の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習①）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
13	骨と筋の構造と機能	頭蓋・体幹の骨と筋の構造と機能（模型・3D教材を用いた実習②）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
14	骨と筋の構造と機能	頭蓋・体幹の骨と筋の構造と機能③（模型・3D教材を用いた実習③）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
解剖学実習	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
田中 真一、古後 晴基、坪内 優太、東 華岳					実習	

回数	単元	内 容	担当教員
15	骨と筋の構造と機能	頭蓋・体幹の骨と筋の構造と機能③（模型・3D教材を用いた実習④）	東華岳 田中真一 古後晴基 坪内優太
16	解剖見学	献体の解剖見学①（上肢の筋骨格と神経）	東華岳
17	解剖見学	献体の解剖見学②（上肢の筋骨格と神経）	東華岳
18	解剖見学	献体の解剖見学③（上肢の筋骨格と神経）	東華岳
19	解剖見学	献体の解剖見学④（下肢の筋骨格と神経）	東華岳
20	解剖見学	献体の解剖見学⑤（下肢の筋骨格と神経）	東華岳
21	解剖見学	献体の解剖見学⑥（下肢の筋骨格と神経）	東華岳
22	解剖見学	献体の解剖見学⑦（頭蓋・体幹の筋骨格と神経）	東華岳
23	解剖見学	献体の解剖見学⑧（頭蓋・体幹の筋骨格と神経）	東華岳

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学 I (動物性機能)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中川 和憲					講義	

#### 授 業 概 要

人体を構成する器官・組織のうち、動物性機能に関係が深い筋骨格系（骨・関節・筋）と神経系（脳・脊髄・末梢神経）の基本的な生理機能について学ぶ。また、理学・作業療法と関わりが深い筋骨格系および神経系の代表的な障害（疾患）の概要について学び、生理学とリハビリテーションの関連について理解する。

#### 到 達 目 標

1. 筋骨格系と神経系に属する各器管の名称について説明することができる。
2. 筋骨格系と神経系に属する各器管の生理機能について説明することができる。
3. 感覚に関わる器官と需要のしくみについて説明することができる。
4. 理学・作業療法を行うにあたり生理学を学ぶ意義について理解する。

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：各授業のテーマに該当するテキストに目を通し、理解を深めておくと同時に、難解な箇所をまとめておき講義にのぞむこと。  
事後学習：教科書と配布資料による復習を行ない、関連分野の過去問を解くなどして、自己の知識の再確認を行うこと。

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）  
最終試験で60%以上の得点を単位取得の必須要件とする。  
評価が「D（不可）」であった場合は、1度に限り再試験を実施する。

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版（医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

学習の理解度は、次回授業にて指名して確認する場合もあるので、スライドや資料で<ポイント>とした項目、キーワードについては、自己の言葉で論述できるようまとめておくこと。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

オフィスアワー：講義日昼休み。これ以外の時間帯を希望する場合は、メールにて事前連絡の上訪ねること。  
連絡先メール：配布資料に記載。

#### 実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学 I (動物性機能)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中川 和憲					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	組織・器管・器管系、ホメオスタシス	中川和憲
2	細胞の構造と機能	細胞の構造と機能、物質の移動、静止電位と活動電位	中川和憲
3	筋と骨	筋の種類と分類、骨格筋の構造と神経支配、骨格筋の収縮、筋紡錘とGolgi器官	中川和憲
4	筋と骨	心筋の活動電位と興奮収縮連関、収縮経過と不応期、長さ-張力関係、収縮性	中川和憲
5	筋と骨	平滑筋の機能、張力の発生と収縮、骨の成長と老化	中川和憲
6	運動生理	筋力と筋持久力、筋収縮のエネルギー源	中川和憲
7	神経系	神経細胞の構造、興奮の発生と伝導、神経の種類、体性神経	中川和憲
8	神経系	自律神経、シナプスにおける興奮の伝達	中川和憲
9	神経系	中枢神経系の構成と機能、脊髄の構造と反射、脳幹の構造と機能	中川和憲
10	神経系	小脳の構造と機能、小脳への入出力、運動学習、視床および視床下部の構造と機能	中川和憲
11	神経系	大脳皮質の構造と機能、高次脳機能	中川和憲
12	神経系	大脳基底核と脳梁、大脳辺縁系、脳室と脳脊髄液、血液脳関門	中川和憲
13	感覚	体性感覚、内臓感覚	中川和憲
14	感覚	特殊感覚1	中川和憲

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学 I (動物性機能)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中川 和憲					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	感覚	特殊感覚2	中川和憲

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
運動学 I (頭頸部、上肢)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
古後 晴基					講義	

#### 授 業 概 要

上肢・頭頸部・顔面の関節構造と関節運動学について学ぶとともに、関節運動に作用する筋の形態学的特徴（起始・停止・神経支配・作用）の知識と統合して理解する。

#### 到 達 目 標

1. 関節の構造と運動方向を説明することができる
2. 運動時の関節包内運動について説明することができる
3. 運動に関わる筋とその作用を説明することができる
4. 各関節に特徴的な運動学的事象について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：関連するテキストの該当箇所を熟読しておくこと

事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深めること

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（100%）

#### 教 科 書

1. 筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版（医歯薬出版）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

大学の単位認定は、全15回の10回以上の出席がないと試験（評価）の受験資格が得られません。本科目では遅刻・早退が3回で1回欠席扱いにしますので、遅刻しないよう注意して下さい。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問・相談などは時間割で学生と教員共に空いている時間帯に遠慮なく研究室を訪ねて来て下さい。ただし、会議等で研究室を不在にしている場合もあります。その際は申し訳ありませんが、また別の時間帯に来て下さい。

#### 実 務 経 験

実務経験が17年ある教員が担当

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
運動学 I (頭頸部、上肢)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
古後 晴基					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	関節の構造と分類①	古後晴基 野中嘉代子
2	総論	関節の構造と分類②	古後晴基 野中嘉代子
3	総論	関節の構造と分類③	古後晴基 野中嘉代子
4	総論	筋の構造と機能①	古後晴基 野中嘉代子
5	総論	筋の構造と機能②	古後晴基 野中嘉代子
6	総論	筋の構造と機能③	古後晴基 野中嘉代子
7	肩関節の構造と機能	胸鎖関節・肩鎖関節・肩甲胸郭関節・肩甲上腕関節①	野中嘉代子 古後晴基
8	肩関節の構造と機能	胸鎖関節・肩鎖関節・肩甲胸郭関節・肩甲上腕関節②	野中嘉代子 古後晴基
9	肩関節の構造と機能	胸鎖関節・肩鎖関節・肩甲胸郭関節・肩甲上腕関節③	野中嘉代子 古後晴基
10	肘関節の構造と機能	腕尺関節・腕頭関節・橈尺関節①	野中嘉代子 古後晴基
11	肘関節の構造と機能	腕尺関節・腕頭関節・橈尺関節②	野中嘉代子 古後晴基
12	手根の構造と機能	橈骨手根関節・手根中央関節	古後晴基 野中嘉代子
13	手の構造と機能	手根中手関節・中手指節関節・指節間関節	古後晴基 野中嘉代子
14	顔面の構造と機能	顎関節・顔面筋	古後晴基 野中嘉代子

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学 I (頭頸部、上肢)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
古後 晴基					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	上肢・頭頸部・顔面の関節運動学と理学療法の関係	古後晴基 野中嘉代子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
人間発達学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
小西 紀一					演習	

#### 授 業 概 要

人間は生涯にわたり心身の構造、機能が変化していく。人間の各発達段階、特に乳幼児期の特徴と発達課題について知的側面（言語、認知等）、身体的側面（原始反射、姿勢反射、腹臥位・背臥位での運動等）、情緒的側面（信頼、内発的動機等）、社会的側面（遊び等）などに焦点をあてて論じる。さらにライフサイクルにおける成熟と衰退という観点を踏まえて、医療技術者としていかに人間関係を深め、援助活動に生かしていくのか学修する。

#### 到 達 目 標

1. 知的・身体的・情緒的・社会的側面における発達について理解を深める
2. ライフサイクルにおける成熟と衰退という観点を踏まえ、援助活動にどう生かすかを学修する。
3. ヒトの発達プロセスについて、人と作業の相互関係性及び対象操作技能の観点から、理解を深める

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前に配布資料がある場合があります。また、次の講義で行う内容を提示した場合は予習に取り組む  
 事後学修：レポート課題が出される場合があります。また、講義の内容を復習しておくこと

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。

#### 評 価

40%レポート課題、60%を随時行う小テストにて判定します

#### 教 科 書

シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ 人間発達学テキスト

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日（10:40～14:00）研究室  
 上記以外の時間帯でもアポイントをとってもらえれば対応します。できればリモートが助かります。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
人間発達学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小西 紀一					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	人間発達学総論	人間発達の様々な理論について、また生涯発達について	小西紀一
2	身体・姿勢・動作の発達1	身体活動の基本となる動作の発達について	小西紀一
3	身体・姿勢・動作の発達2	姿勢や上肢機能の分離・発達について	小西紀一
4	身体・姿勢・動作の発達3	移動動作や協調動作の発達について	小西紀一
5	認知機能・言語・社会性の発達1	認知機能の発達について	小西紀一
6	認知機能・言語・社会性の発達2	言語機能の発達について	小西紀一
7	認知機能・言語・社会性の発達3	社会性の発達について	小西紀一
8	社会生活活動の発達1	日常生活における諸活動の発達	小西紀一
9	社会生活活動の発達2	遊び・仕事をする能力の発達について	小西紀一
10	発達の諸段階と発達課題 胎生期～乳児期	胎生期から乳児期の発達の諸段階と発達課題について	小西紀一
11	発達の諸段階と発達課題 幼児期～児童期	幼児期から児童期の発達の諸段階と発達課題について	小西紀一
12	発達の諸段階と発達課題 青年期～老年期	青年期～老年期の発達の諸段階と発達課題について	小西紀一
13	対象操作機能と言語発達の関係1	系統発生的視点	小西紀一
14	対象操作機能と言語発達の関係2	個体発生的視点	小西紀一

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
人間発達学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
小西 紀一					演習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	人間発達学 まとめ	人間発達学のまとめを行う	小西紀一

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医学概論	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
富永 隆治					演習	

#### 授業概要

医学を「心身の病気をなおし、健康を増進させる学問」と定義し、人間と病気の歴史や健康との関係を知ることにより、医療観や倫理観、医療を担う人材の教育や診断技術、治療の進歩、今日の我が国の医療システムなどについて学ぶ。さらに、代表的な診療科の対象となる主な疾患や医師の仕事について学び、チーム医療の一翼を担い、信頼される医療専門職としての将来の自身の在り方について考える。

#### 到達目標

1. 健康と病気の定義、病気と老化との違いについて説明することができる
2. 病院で標榜できる診療科の対象となる代表的な疾患をあげることができる
3. 医療従事者として必要な倫理観について自身の考えを述べるることができる

#### 事前学修・事後学修

事前学修：テキスト、参考書で該当する内容を調べ、講義で理解する準備をする  
 事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

#### 対応DP

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。

#### 評価

筆記試験（100%）

#### 教科書

1. 医学概論：中島泉 著 南江堂
2. 配布資料

#### 参考図書

#### 留意事項

#### オフィスアワー等

富永隆治 火、木、金曜日（15時～16時）研究室

#### 実務経験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医学概論	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
富永 隆治					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	医学の基本①	医学とは何か（定義、医道、サイエンスとアート、医療）、人間の生命を考える（医の倫理、生命倫理）	蒲池真澄理事長 鶴崎直邦
2	医学の歴史②	医学の起源、医学の展開、我が国における医学の発展	中山茂春
3	環境・文化と人間の健康④ 病気の基本⑤	環境と人間、人間の本質：文化の構築、健康の概念 病気の概念、病気の分類、病気の主要症状、病理学総論	藤井茂
4	病因・病態別の病気の分類⑥	国際疾病分類、遺伝子病、外傷、中毒、感染症、アレルギー、腫瘍、代謝疾患	上野道雄
5	病気の診断⑧	診断学総論、診断学の基本、診断学各論、画像診断、病理診断	山永義之
6	病気の治療と予防⑨⑬	治療学総論、治療学各論、病気の予防、健康診断、人間ドック	山永義之
7	医療の基本⑩	医療の担い手、医療専門家間のチームワーク、課題対応チーム医療の実際	富永隆治
8	社会の医療情勢と医療体制⑭	現在の医療情勢、我が国の医療体制、諸外国の医療体制、医学教育	寺坂禮治
9	医療法規と医療行政⑮	医療法規、社会保障制度、電子カルテ、医療情報	上野道雄
10	医療の現場（1）⑦⑪	内科の診療および代表的な疾患の紹介（症候、診断、治療）	有田武史
11	医療の現場（2）⑦⑪	整形外科の診療および代表的な疾患の紹介（症候、診断、治療）	蒲池 浩文
12	医療の現場（3）⑦⑪	整形外科の診療および代表的な疾患の紹介（症候、診断、治療）	半仁田勉
13	医療の現場（4）⑦⑪	脳神経外科の診療および代表的な疾患の紹介（症候、診断、治療）	福山幸三
14	医療の現場（5）⑦⑪	産科・婦人科の診療および代表的な疾患の紹介（症候、診断、治療）	林広典

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
医学概論	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
富永 隆治					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	まとめ	富永隆治

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション概論	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
溝田 勝彦					演習	

#### 授 業 概 要

リハビリテーションの歴史、理念、領域などの基本的事項を理解するとともに、リハビリテーションを取り巻く社会や社会保障制度について学ぶ。また、リハビリテーションに関わる各種専門職とその職務内容を理解し、関連職種が協働する専門職連携（チーム医療）の重要性について考える。

#### 到 達 目 標

1. 障害やノーマライゼーションの概念、リハビリテーションの定義について説明できる
2. 代表的な障害分類について説明できる
3. リハビリテーションの関連職種の名称と主な職務内容について概説できる
4. 各種専門職が連携するチーム医療の重要性について自分の考えを述べるができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。

#### 評 価

筆記試験（80%）、課題発表（20%）

#### 教 科 書

1. リハビリテーション概論 第4版（永井書店）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日9時～12時

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション概論	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
溝田 勝彦					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	総論	障害者と社会、リハビリテーションの定義と目的	溝田勝彦
2	病気と障害	病気と障害の定義とモデル、患者と障害者を取り巻く社会	溝田勝彦
3	人間の活動と発達	人間の活動および発達とリハビリテーション	溝田勝彦
4	障害と心理	障害観と国際生活機能分類、健康と心理、医学的リハビリテーションにおける心理	溝田勝彦
5	リハビリテーションの諸段階	発症から社会生活まで、リハビリテーションの諸相	溝田勝彦
6	リハビリテーションの実際	チームアプローチと専門職①	溝田勝彦
7	リハビリテーションの実際	チームアプローチと専門職②	溝田勝彦
8	リハビリテーションの実際	チームアプローチと専門職③	溝田勝彦
9	身体障害	身体障害の特徴 視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、音声・言語機能・咀嚼機能障害、肢体不自由、内部障害	溝田勝彦
10	精神障害	精神障害の特徴 統合失調症、躁うつ病、てんかん、アルコールおよび薬物による精神障害	溝田勝彦
11	知的障害	知的障害の特徴	溝田勝彦
12	リハビリテーションと社会保障制度	保健医療制度、社会保険制度、社会福祉と公的扶助制度、介護保険制度①	溝田勝彦
13	リハビリテーションと社会保障制度	保健医療制度、社会保険制度、社会福祉と公的扶助制度、介護保険制度②	溝田勝彦
14	課題発表	リハビリテーションと健康・社会	溝田勝彦

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション概論	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
溝田 勝彦					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	課題発表	リハビリテーションと健康・社会	溝田勝彦

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
カウンセリング論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 雄介					講義	

#### 授 業 概 要

カウンセリングの基本的なテクニックについて、具体的な事例や技法を通して学ぶ。  
また、リハビリテーション医療におけるカウンセリングの重要性について理解する。

#### 到 達 目 標

1. カウンセリングの意義と過程について説明することができる
2. カウンセリングに用いられる基本的なテクニックについて説明することができる
3. リハビリテーションにおけるカウンセリングの重要性について理解する

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当する配布資料に目を通しておくこと  
事後学修：授業の内容について理解できるよう、整理しておくこと

#### 対 応 D P


#### 評 価

ミニレポート（40%）と定期試験（60%）により評価する。

#### 教 科 書

1. 配布資料

#### 参 考 図 書

1. カウンセリング・テクニック入門 プロカウンセラーの技法30（金剛出版）

#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問などは、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
カウンセリング論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
山口 雄介					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	総論	カウンセリングとは何か、カウンセリングのプロセス	山口 雄介
2	総論	カウンセリングの基本（傾聴・観察・アセスメント）	山口 雄介
3	カウンセリング・テクニック	傾聴のテクニック（パラフレーズ・リフレクト・サマライズ）	山口 雄介
4	カウンセリング・テクニック	観察のテクニック（非言語コミュニケーション）	山口 雄介
5	カウンセリング・テクニック	アセスメントのテクニック（学習理論と認知モデル）	山口 雄介
6	カウンセリング・テクニック	カウンセリングの新潮流（マインドフルネス）	山口 雄介
7	カウンセリング・テクニック	カウンセリングの多様性（グループ・アプローチ）	山口 雄介
8	まとめ	クライアントの体験、カウンセラーの人間性	山口 雄介

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
保健医療福祉制度論	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
西 貴 倫					講義	

#### 授 業 概 要

医療福祉分野の専門職として知っておくべき基本的な法令の概要とその役割について学ぶ。また、我が国における国民の健康維持・増進に寄与する各種法令と社会資源について学び、医療を取り巻く現状の諸問題や将来展望について理解する。

#### 到 達 目 標

1. 医療福祉に関する法令の名称を挙げ、その概要について説明することができる
2. 自身が目指す資格（職種）に関する法令の名称を挙げ、その概要について説明することができる
3. 国民の健康のために各種法令が果たす役割について理解する

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと  
 事後学習：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）

#### 教 科 書

1. 府川哲夫・磯部文雄（著）『保健医療福祉行政論 [改訂版]』ミネルヴァ書房、2022年1月刊
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
保健医療福祉制度論	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
西 貴 倫					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	法の概念	法の概念、衛生法の概念・沿革・分類、厚生労働行政のしくみ	西 貴 倫
2	医療従事者資格と関連法規	目的と定義、試験、養成課程、業務、義務、罰則、他	西 貴 倫
3	医事法	医療法、医師法・歯科医師法・薬剤師法・医療関係資格法・保健衛生福祉資格法	西 貴 倫
4	医事法	医療・介護の提供体制に関する法、移植医療に関する法、人の死に関する法、緊急時の医療に関する法①	西 貴 倫
5	医事法	医療・介護の提供体制に関する法、移植医療に関する法、人の死に関する法、緊急時の医療に関する法②	西 貴 倫
6	保健衛生法	共通保健法、分野別保健法、感染症に対する法①	西 貴 倫
7	保健衛生法	共通保健法、分野別保健法、感染症に対する法②	西 貴 倫
8	薬務法	薬事一般に関する法律、人などの組織を用いた医療関連法、薬害被害者の救済、麻薬・毒物などの法	西 貴 倫
9	環境衛生法	営業、環境整備に関する法	西 貴 倫
10	社会保険法	健康保険法、国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法、国民年金法、厚生年金保険法	西 貴 倫
11	福祉法	社会福祉法、生活保護法、児童分野・高齢分野・障害分野の法	西 貴 倫
12	労働法と社会基盤整備	労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、雇用保険法、その他①	西 貴 倫
13	労働法と社会基盤整備	労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、雇用保険法、その他②	西 貴 倫
14	環境法	環境保全の基本法、公害防止の法、自然保護法	西 貴 倫

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
保健医療福祉制度論	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
西 貴 倫					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	まとめ	西 貴 倫

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法学概論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担当教員					授業形態	開講形式
溝田 勝彦					講義	

#### 授業概要

理学療法の定義や歴史、各種技術、関連法規、理学療法士が活躍するフィールドや理学療法の実際を学び、リハビリテーションに寄与する専門職としての理学療法士の位置づけを理解し、理学療法士を志すために必要な基本的態度を修得する。

#### 到達目標

1. 理学療法の定義と歴史を理解する
2. 理学療法に関連する法律を理解する
3. 理学療法士に求められる専門性を理解する
4. リハビリテーションにおける理学療法の位置づけを理解する

#### 事前学修・事後学修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学修：教科書と配布資料による復習を行うこと

#### 対応DP

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評価

筆記試験（80%） 小テスト（20%）

#### 教科書

1. 理学療法学概論（九州神陵文庫）
2. 配布資料

#### 参考図書

#### 留意事項

#### オフィスアワー等

火曜日 9時～12時

#### 実務経験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法概論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
溝田 勝彦					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	理学療法とは	理学療法の定義、理学療法の各種技術、理学療法の歴史	溝田勝彦
2	理学療法士に関連する法律	国や地方自治体による法規、理学療法士及び作業療法士法	溝田勝彦
3	理学療法士の専門性①	理学療法士の使命と倫理観、理学療法の対象と領域	溝田勝彦
4	理学療法士の専門性②	理学療法士の臨床推論過程と臨床の実際	溝田勝彦
5	リハビリテーションの中の理学療法	医療施設・保健福祉施設・その他におけるリハビリテーションと理学療法	溝田勝彦
6	理学療法と障害	障害モデルと理学療法	溝田勝彦
7	理学療法士と教育・研究	我が国と世界の理学療法教育、理学療法と研究	溝田勝彦
8	総括	理学療法士としての将来	溝田勝彦

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
基礎臨床実習 I	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
永崎 孝之、玉利 誠、溝田 勝彦、古後 晴基、森下 元賀、田中 真一、齊藤 貴文、吉澤 隆志、北村 匡大、岡 真一郎、坪内 優太、野中 嘉代子、大田 瑞穂、澤田 誠、松本 典久、原田 伸哉、濱地 望					実習	

#### 授 業 概 要

理学療法士が行う理学療法業務の実際を見学することにより、理学療法士の役割や業務、理学療法士が使用する機器などについて、その概要を理解する。また、理学療法士が在籍する施設の特徴について学ぶとともに、理学療法士としての将来の自己像を形成する。

#### 到 達 目 標

1. 理学療法士が在籍する施設の特徴について説明することができる
2. 実習施設における理学療法士の役割と業務について説明することができる
3. 実習施設に設置されている機器や理学療法士が使用する機器の名称や機能について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

実習のスケジュール（授業計画）の詳細は事前学習の際にオリエンテーションを行う  
 事前学修：実習施設の概要について、ホームページ等で調べておく  
 事後学修：実習で学んだ内容をまとめ、報告する

#### 対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の基本的動作能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

#### 評 価

レポート60%、発表40%

#### 教 科 書

1. 基礎臨床実習の手引き（理学療法学科）

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フ ィ ス ア ワ ー 等

必要に応じて随時（事前に予約すること）

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
基礎臨床実習 I	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	1年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
永崎 孝之、玉利 誠、溝田 勝彦、古後 晴基、森下 元賀、田中 真一、齊藤 貴文、吉澤 隆志、北村 匡大、岡 真一郎、坪内 優太、野中 嘉代子、大田 瑞穂、澤田 誠、松本 典久、原田 伸哉、瀨地 望					実習	

内 容

- 実習前：
- ・オリエンテーションにて今後の目的や目標について理解する
  - ・実習施設の概要(病床数, 診療科, その他)について, ホームページ等から調査する
- 実習中：
- ・実習施設で働く理学療法士の役割や業務について考える
  - ・引率教員および実習指導者の指示に従い, 実習施設および理学療法業務を見学する
- 実習後：
- ・実習で学んだ内容を整理する
  - ・実習施設の概要(病床数, 診療科, その他)および理学療法士の役割や業務についてまとめる
  - ・実習で学んだ内容について報告する

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
教育学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
木村 菜太					講義	

#### 授業概要

教育は歴史・社会・文化のすべての全体的な関連の中で営まれる。そこで、教育の目的と内容を理解し、近代の学校の成立と西欧や日本の歴史の変遷を概観し、「人間のための教育」という視点から、そこに見られる主な問題、とりわけ現代的課題である貧困や福祉の現状、医療と教育について検討していく。さまざまな具体的な教育思想や実践事例などを紹介しながら医療教育についても現状や課題などを考える。本科目では教育学の基本的な概念や知識、現代の教育における問題について学修する。

#### 到達目標

1. 教育の基本概念が理解できる
2. 人間の成長と教育の意義・目的について説明できる
3. 教育の抱える現代的課題について具体的に説明できる

#### 事前学修・事後学修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対応DP


#### 評価

受講態度、提出レポート類、学期末試験から総合的に勘案して評価します。

#### 教科書

なし

#### 参考図書

授業中に適宜紹介します。

#### 留意事項

#### オフィスアワー等

質問等は授業時に行うこと。

#### 実務経験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
教育学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
木村 葉太					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	オリエンテーション	授業概要の説明、看護と教育の関係	木村 葉太
2	教育学の基礎概念①	近代化に伴う教育と子ども概念の変化	木村 葉太
3	教育学の基礎概念②	社会構造と教育の関係	木村 葉太
4	教育を構成する要素①	教授と学習の関係	木村 葉太
5	教育を構成する要素②	福祉と教育の現状	木村 葉太
6	教育の現代的課題①	不登校	木村 葉太
7	教育の現代的課題②	社会教育・生涯学習、シティズンシップ教育	木村 葉太
8	まとめ	まとめ	木村 葉太

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
発 達 心 理 学	2023年 度	理 学 療 法 学 科	1 単 位	30 時 間	選 択	1 年 後 期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 雄 介					演 習	

#### 授 業 概 要

既修の「心理学」と関連させながら、心はいつからどのように変化していくのか。受精から死を迎えるまでのライフサイクルを視野にいれながら、ここでは胎児期から乳児期、幼児期、児童期、青年期までを中心に時間の経過とともに質的及び量的に変化するさまざまな発達の特徴を理解する。発達心理学という学問大系を学ぶだけでなく、身近な子育て、教育、人としての生き方等を考える機会とし、医療の対象である人間の誕生から老年期に至る生涯発達の過程において、各期の発達と課題を学ぶことで、医療に還元できる知識や探索の仕方を学修する。

#### 到 達 目 標

1. 人間の生涯発達の理論について説明できる
2. 幼児期の発達と課題について説明できる
3. 児童期の発達と課題について説明できる
4. 思春期の発達と課題について説明できる
5. 成人期の発達と課題について説明できる
6. 中年期の発達と課題について説明できる
7. 老年期の発達と課題について説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておく  
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P

◎ 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。

#### 評 価

ミニレポート（40%）と定期試験（60%）により評価する。

#### 教 科 書

発達心理学 15講 北大路書房

#### 参 考 図 書

授業中に適宜紹介する。

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
発達心理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 雄介					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	発達心理学の基礎	授業ガイダンス 「発達概念」、「人間発達の特異性」、「発達段階と発達課題」について	山口雄介
2	発達心理学の理論①	人間の成長と成熟の過程、「学習理論」、「認知発達理論」、「社会的関係の中での発達理論」の観点	山口雄介
3	発達心理学の理論②	発達のプロセスと発達課題に関する「ライフサイクル論」と「ライフコース論」について	山口雄介
4	胎生期から新生児期まで	胎生期から新生児期までの発達 「個体発生のメカニズム」、「胎児への環境からの影響」「誕生と新生児の特徴」	山口雄介
5	乳児期の発達	乳児期の発達 「乳児期の特徴と身体発達」、「乳児期の認知的発達」、「対人関係の始まりと母子関係」について	山口雄介
6	幼児期の機能と発達	幼児期における基本的生活習慣の獲得 「知能」と「情動」と関連付けながら学習	山口雄介
7	幼児期の社会性	幼児期の社会性 「ことばの発達」や「親子関係から仲間関係」への対人関係の広がりに関連付けながら学習	山口雄介
8	児童期の発達	児童期における他者との関わりを通じた発達の様相 「身体的変化と成熟」、「学校生活の始まり」、「対人関係の発達」の観点から	山口雄介
9	乳児期から幼児期に生じる発達に関わる問題	乳児期から幼児期に生じる「発達障害」 発達障害に含まれる精神障害の分類や発達障害児への「合理的配慮」の実際について	山口雄介
10	青年期の発達	青年期の特徴と「自我同一性の獲得」について、青年期の「友人関係」「恋愛関係」	山口雄介
11	成人期の発達	青年期から成人期への移行に伴う「キャリア発達と社会生活」「キャリア発達理論」「家族の形成」	山口雄介
12	青年期以降のメンタルヘルスと精神保健	思春期・青年期の問題行動（「いじめと不登校」など）や精神病理 成人期の危機と職場のメンタルヘルス（「バーンアウト」など）	山口雄介
13	中年期の発達と危機	中年期の発達課題、「中年期のライフイベント」、そして「老い」の兆候が表れることによる心理過程	山口雄介
14	老年期の発達	老年期の発達に関して、「老いの特徴」、「老年期のパーソナリティと適応」、「老年期の不適応と障害」	山口雄介

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
発達心理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 雄介					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	「死」への対応、まとめ	「死に対する態度の発達」、「死の受容」、「残されたものの悲嘆」、「幸福な老いと最期」について 授業のまとめ	山口雄介

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
ジェンダー論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
宮崎 聖子					講義	

#### 授 業 概 要

多様性に富むグローバルな文化・社会を理解する上でジェンダーは重要な視点の一つである。医療、健康、保健に関わる人材は、人間の生と性に関するジェンダーへの深い理解が求められる。ここでは文化・社会的なありようとしてのジェンダーがどのように構築されてきたか、具体的な歴史やトピックをとりあげながら、ジェンダーに関わる諸相を理解する。自己のジェンダー観に気づき理解を深め、人権問題、社会問題にも広く対処できるような素養を身に着けることを目的とする。

#### 到 達 目 標

1. 人間の生と性の歴史や現状について知る
2. 人間の生と性の多様性について理解し、自らの専門性との関連について考えることができる。
3. 現代のジェンダーをめぐる課題を知り、それについての対応を考えることができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って復習・まとめをする

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 多様化かつ高度化する医療において、専門的な理学療法の実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

#### 評 価

授業中に提出する小レポート5割、レポート5割で評価する。

#### 教 科 書

講師資料

#### 参 考 図 書

伊藤公男、牟田和恵編；ジェンダーで学ぶ社会学（全訂新版） 世界思想社 2015

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア フ ー 等

授業の後、またはメールによる。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
ジェンダー論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
宮崎 聖子					講義	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
1	ジェンダーとは	ガイダンス、ジェンダー研究の課題、性をめぐる概念、歴史について考える。	宮崎聖子
2	近代家族の歴史	近代家族の歴史について理解し、それが現代社会とどのように繋がっているか理解する。	宮崎聖子
3	多様な性と生	セクシャリティ、LGBT	宮崎聖子
4	ドメスティック・バイオレンス1	ジェンダーと暴力の現状について理解する。	宮崎聖子
5	ドメスティック・バイオレンス2	DV防止法	宮崎聖子
6	リプロダクティブ・ヘルス・ライツ	リプロダクティブ・ヘルス・ライツの概念、その歴史的経緯について考える。	宮崎聖子
7	グローバル化とジェンダー	グローバル化の中でどのようなジェンダーの問題が出現しているのか、アジアなどの具体的事例を通して考える。	宮崎聖子
8	まとめ	これまでの振り返りとレポートの提出。	宮崎聖子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
社会学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山下 亜紀子					講義	

#### 授 業 概 要

社会学の理論と手法について体系的に学び、社会的なものの方や考え方を理解できるようになる。また集団、都市、農山村、家族、福祉の領域において展開されてきた概念や分析を検討し、社会的視点から現代社会の諸事情を読み解く力を身につける。さらに現代社会におけるさまざまな社会問題について検討し、社会学の見地から、これらの問題を理解し説明できる力を習得する。

#### 到 達 目 標

1. 社会学の理論を説明できる。
2. 現代社会の人口変動がもたらす問題を説明できる。
3. 現代社会の福祉的課題や家族について説明できる。
4. 現代社会の課題や諸問題を説明できる。

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対 応 D P


#### 評 価

平常点（出席+受講態度）、課題提出状況、レポートにより総合的に評価する。  
出席は毎回とることとする。また欠席3回以上の者は、その後の受講資格を失うものとする。

#### 教 科 書

山本努編；現代の社会的解読 新版—イントロダクション社会学— 学文社 2016年

#### 参 考 図 書

講義中に提示する。

#### 留 意 事 項

#### オ フ ィ ス ア ー 等

授業中。あるいはE-mail(yamashita.akiko.078@m.kyushu-u.ac.jp)にて連絡すること。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
社会学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
山下 亜紀子					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	社会学とは	授業ガイダンス 社会学とは何かその概要	山下亜紀子
2	現代社会1	集団・組織—集団や組織の何が問題か、その視点・論点	山下亜紀子
3	現代社会2	家族—その普遍性・多様性・現代性—	山下亜紀子
4	現代社会3	都市—都市の見方、都市の姿	山下亜紀子
5	現代社会4	農山村—過疎化と高齢化の波	山下亜紀子
6	現代社会5	福祉—生活を支え合う社会—	山下亜紀子
7	現代社会6	社会問題・社会病理	山下亜紀子
8	社会学的方法論 まとめ	社会調査—方法を理解する，作品を味わう— ・ 授業まとめ	山下亜紀子

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
倫理学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
国越 道貴					講義	

#### 授業概要

現代は科学技術と医療技術の進歩が人間の生存に関してさまざまな倫理的問題を提起している。これから人々の健康に関わる学生にとって、人間の存在そのものや、生きる意味など、状況によっては多くのジレンマにも遭遇することが考えられる。その状況をどのように捉え、考え、対応していけばいいのか。倫理学の理論、学説、方法の基本を学び、倫理的に困難な問題に突き当たったときに考え対処する力を養う。

#### 到達目標

1. 倫理とは何か説明できる
2. 倫理判断の基準と根拠について説明できる
3. 倫理的観点から具体的な事例を通して判断し説明できる

#### 事前学修・事後学修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対応DP


#### 評価

平常点（授業への積極的な参加）と学期末試験の結果によって評価する。

#### 教科書

加藤尚武『現代倫理学入門』（講談社学術文庫）1997.

#### 参考図書

適宜推薦する。

#### 留意事項

とくになし。

#### オフィスアワー等

事前にメール等で連絡することが望ましい。

#### 実務経験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
倫理学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
国越 道貴					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	倫理学とは	授業ガイダンス なぜ倫理学を学ぶのか、倫理学の起源	国越道貴
2	倫理的判断の基準と根拠	事例を用いて善悪の判断と基準がどこにあるか	国越道貴
3	代表的な倫理理論 1	代表的な倫理理論について具体的に考える、人格の倫理、義務論	国越道貴
4	代表的な倫理理論 2	代表的な倫理理論について具体的に考える、功利主義	国越道貴
5	代表的な倫理理論 3	代表的な倫理理論について具体的に考える、徳倫理学	国越道貴
6	代表的な倫理理論 4	ケアの倫理について	国越道貴
7	正義について	正義（公正）についての考え方を学ぶ	国越道貴
8	まとめ	授業のまとめ	国越道貴

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
国際関係論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山根 健至					講義	

#### 授 業 概 要

グローバル化が急速に進行している現在、世界各地で発生している問題は1国のみの問題ではなく、複数の国々や組織などの関係の上で成り立っている。他国や他地域で起きた様々な問題は、自分の身近なところに直結し生活に影響している。こうした状況を踏まえて、本科目では、国際関係論の理論的背景、歴史的経緯を理解し、紛争問題や貧困と格差など具体的な国際問題を検討することを通して、世界で起きている問題や日本の果たす役割について学修する。

#### 到 達 目 標

1. 国際社会の仕組みや国際機関の役割を説明できる
2. 世界が抱える紛争問題について説明できる
3. 世界が抱える貧困と格差について説明できる
4. 国際的な人の移動について説明できる
5. 世界の抱える問題と日本が抱える問題の相互関連について説明できる
6. 問題解決の取組みにおける日本の役割について説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
事後学修：当日の講義の該当テーマに沿って復習・まとめをする

#### 対 応 D P


#### 評 価

期末レポート（80%）、出席などの平常点（20%）

#### 教 科 書

毎回レジュメを配布します。

#### 参 考 図 書

1. 佐渡友哲他編著『国際関係論 第3版』弘文堂
2. 藤原帰一他編著『平和構築・入門』有斐閣
3. 福田保編『アジアの国際関係』春風社
4. 坂本治也編『市民社会論』法律文化社

#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
国際関係論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
山根 健至					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	国際関係論概要	授業ガイダンス 国際関係論とは、国際社会の成立、国際社会を形成するアクター	山根健至
2	国際機関とその役割	国際連合の組織と役割、その他の国際機関	山根健至
3	世界が抱える紛争問題	紛争多発地の状況・テロ（事件）の事例を通して	山根健至
4	世界が抱える貧困と格差	各国が抱える貧困と格差、日本の抱える貧困	山根健至
5	国際的な人の移動	国際労働力移動、移民、難民、日本の外国人労働者	山根健至
6	アジアの地域情勢	中国の台頭、米中の対立とアジア	山根健至
7	平和構築と日本の役割	紛争と平和構築、PKOの仕組みと活動状況、日本の取組み	山根健至
8	国際協力とODA	ODAの仕組みと日本の国際協力、授業のまとめ	山根健至

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
文化人類学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
宮崎 聖子					講義	

#### 授 業 概 要

「国際化」や「グローバル化」が進む中、自文化と異文化の理解は私たちにとって必須なものとなっている。世界各国との交流が活発な現在、医療に関わる人材には、文化による考え方や価値、生活習慣の違いなど理解し対応する必要があり、特にその能力が必要とされている。文化人類学はそのための有力なツールである。本科目では、「文化とは何か」「人間とは何か」を、多様で具体的事象や理論を紹介しながら考えていく。それにより文化理解に必要な総合的な知識を学修し、今日の世界を洞察する力を身につける。

#### 到 達 目 標

1. 文化の多様性を理解することで、他者理解の姿勢を持つことができる
2. 家族の捉え方の視点を説明できる
3. 病気や死の捉え方の普遍性と多様性を説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って復習・まとめをする

#### 対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。

#### 評 価

授業中に提出する小レポート5割、レポート5割で評価する。

#### 教 科 書

講師資料

#### 参 考 図 書

波平恵美子編：文化人類学 カレッジ版 3版 医学書院 2011  
 医療、看護に関連する文化人類学のテキストはたくさんあります。色々探してみてください。

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

授業の後、またはメールによる。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
文化人類学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
宮崎 聖子					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	文化と文化人類学	ガイダンス、文化人類学とは	宮崎聖子
2	家族と親族	諸文化における家族、親族のありようとその多様性について考える	宮崎聖子
3	人生と通過儀礼	諸文化における人生と通過儀礼理解し、医療との関わりについて考える	宮崎聖子
4	身体と病	諸文化における身体、病のあり方について理解する	宮崎聖子
5	死と葬送	諸文化における死や葬送のあり方について考える。	宮崎聖子
6	科学技術、宗教、医療	科学技術や宗教が医療とどのように関わるのか考える	宮崎聖子
7	グローバル化とフィールドワーク	グローバル化とフィールドワークの関連、現場で考えることの意味を考える	宮崎聖子
8	まとめ	まとめ、レポートの提出	宮崎聖子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
統計学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山下 貴範、奥井 佑					演習	

#### 授 業 概 要

本科目は基礎的な話が中心となる。統計学は、1つ1つの基礎を積み上げながら自分の中でイメージを描き、理解をしていくことが大事である。特に、扱うデータの種類や性質などが分かっていると、そこから先の統計学の理解が難しくなる。そのため、最初に医療データの種類や医療データ解析事例を説明する。そして前半は基礎となる特徴記述統計の理解を中心に解説する。後半の推測統計では標本の扱い、推定、検定の手法についての理解を中心に解説する。統計学は各分野での学修の基礎となる、今後の研究的思考に活かせるように学修する。

#### 到 達 目 標

1. 医療データの種類、性質を理解できる
2. データを収集するための計画・立案ができる
3. データの種類を把握し、基本統計量を求めることができる
4. 統計検定の流れを把握し、正しく検定の判断ができる
5. 統計解析デザインの重要性を理解できる
6. 目的に沿った検定手法を用いることができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対 応 D P


#### 評 価

出席 + 試験結果出席

#### 教 科 書

講師資料、基礎医学統計学改訂第7版

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア フ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統計学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
山下 貴範、奥井 佑					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	概論 医療データの現状	医療データの種類、特徴	山下貴範
2	医療データ解析の目的	解析の目的（医療データ解析事例を元に）	山下貴範
3	医療データ解析の目的	統計分析の目的、基本的な用語、研究種類、解析方法の概要	山下貴範
4	記述統計1 1変量データの記述（代表値、散布度）	代表値（最頻値・中央値・平均値）、散布度（範囲・分位点、パーセンタイル、分散、標準偏差）	山下貴範
5	記述統計2 2変量データの記述	クロス表、散布図	山下貴範
6	記述統計3 2変量データの記述	2変量データの関連指標（カイ二乗値、クラメール関連指数、相関係数）	奥井 佑
7	推測統計1 確率・確率分布	確率、確率分布（離散型、連続型）	奥井 佑
8	記述統計のまとめ	記述統計および確率について、演習問題	奥井 佑
9	推測統計2 推定	母集団と標本、推定（点推定、区間推定）	奥井 佑
10	推測統計3 検定	検定（帰無仮説、対立仮説）、独立性の検定、ノンパラメトリック検定	奥井 佑
11	推測統計のまとめ	推測統計1-3について、演習問題	奥井 佑
12	推測統計4 解析手法	単変量解析～多変量解析	奥井 佑
13	統計デザイン	統計解析におけるデザインの重要性	奥井 佑
14	統計学と医療データ	いままでの授業のまとめ、演習問題	奥井 佑

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
統計学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山下 貴範、奥井 佑					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	統計と機械学習	機械学習手法の説明と統計手法の違い	奥井 佑

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語Ⅱ（医療文献読解）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
Greggory Wroblewski					演習	

#### 授 業 概 要

“Medical English 2” is the first in a series of two courses intended for 1st year students in the Faculty of Health Sciences as part of their integrated English curriculum. Through the medium of English, students will integrate vocabulary building and recycling, reading & notetaking, controlled grammar practice, and short writing tasks via healthcare scenarios in a Japan-specific context.

#### 到 達 目 標

- ・Understand longer (relative to spring semester), level-appropriate reading texts about healthcare scenarios and be able to understand the gist of each as well as important details.
- ・Achieve mastery of the medical vocabulary encountered in Medical English 1 and relative control of newly-introduced terms.
- ・Achieve complete mastery of basic- and intermediate-level English grammatical forms and constructions encountered in Medical English 1.
- ・Write grammatically correct paragraphs that synthesize concepts, grammar, and vocabulary in end-of-unit short writing assignments.

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

#### 対 応 D P


#### 評 価

Quizzes & tests	67%
Attendance	15%
Homework	18%

#### 教 科 書

Vital Signs 2: Reading & Writing by Vivian Morooka & Terri Sugiura (Nan' un-do) (ISBN978-4-523-17755-5)

#### 参 考 図 書

Additional materials may be made available online.

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

Contact information:  
greggory.reiwa@gmail.com

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語Ⅱ（医療文献読解）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
Greggory Wroblewski					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	Introduction / Unit 2		Greggory Wroblewski
2	Unit 3		Greggory Wroblewski
3	Unit 4		Greggory Wroblewski
4	Review		Greggory Wroblewski
5	Test 1		Greggory Wroblewski
6	Unit 5		Greggory Wroblewski
7	Unit 6		Greggory Wroblewski
8	Unit 7		Greggory Wroblewski
9	Review		Greggory Wroblewski
10	Test 2		Greggory Wroblewski
11	Unit 9		Greggory Wroblewski
12	Unit 11		Greggory Wroblewski
13	Unit 12		Greggory Wroblewski
14	Review		Greggory Wroblewski

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
英語Ⅱ（医療文献読解）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
Greggory Wroblewski					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	Test 3		Greggory Wroblewski

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
スポーツ実践	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
小西 裕之、福田 潤					演習	

#### 授 業 概 要

学生の健康管理の一環ともなるよう、様々なスポーツを経験することで体を動かし健康づくりについて考えるとともに、お互いに協力してコミュニケーション力を向上させ、生涯スポーツに取り組めるように学ぶ。スポーツ実践の際はその競技のルールに従うことや、チームで行う場合は協力し、ともに仲間の力を信じてお互いの能力を最大限に発揮できるように臨むことが必要となる。各スポーツの実践を通して協調性や、目標を共有し協力しあう楽しさも学修する。

#### 到 達 目 標

1. スポーツの健康に対する意義について説明できる
2. 運動を通してチームと協力して目的を達成できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについてゲームのルール等調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマについて振り返りや自主的に練習する

#### 対 応 D P

- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の基本的動作能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

#### 評 価

出席2/3以上が基本

#### 教 科 書

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

水曜日10時～12時

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ実践	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
小西 裕之、福田 潤					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	レクリエーション運動の歴史	授業ガイダンス レクリエーション（自己紹介を兼ねる）	小西裕之
2	スポーツ実技1	バレーボール・バスケットボール 1	小西裕之
3	スポーツ実技2	バレーボール・バスケットボール 2	小西裕之
4	スポーツ実技3	バレーボール・バスケットボール 3	小西裕之
5	スポーツ実技4	バレーボール・バスケットボール・ウォーキング 1	小西裕之
6	スポーツ実技5	バレーボール・バスケットボール・ウォーキング 2	小西裕之
7	スポーツ実技6	バレーボール・バスケットボール・ウォーキング 3	小西裕之
8	スポーツ実技7	バレーボール・ドッチボール 1	小西裕之
9	スポーツ実技8	バレーボール・ドッチボール 2	小西裕之
10	スポーツ実技9	ドッチボール・バドミントン 1	小西裕之
11	スポーツ実技10	ドッチボール・バドミントン 2	小西裕之
12	スポーツ実技11	ドッチボール・バドミントン 3	小西裕之
13	スポーツ実技12	ドッチボール・バドミントン 4	小西裕之
14	スポーツ実技13	ドッチボール・バドミントン 5	小西裕之

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
スポーツ実践	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小西 裕之、福田 潤					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	スポーツと健康 まとめ	スポーツの健康に対する意義、まとめ	小西裕之

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
解剖学Ⅱ（呼吸器系、循環器系）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
王 克 鏞					講 義	

#### 授 業 概 要

人体を構成する器官・系統のうち、植物性機能に関係の深い循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器・内分泌系の基本的な構造について学ぶ。また、理学療法と関わりの深い各系の代表的な障害（疾患）の概要を学び、解剖学とリハビリテーションの関連について理解する。

#### 到 達 目 標

1. 循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器・内分泌系に属する各器管の名称や解剖学的区分、特徴を説明することができる
2. 理学療法を行うにあたり解剖学を学ぶ意義について理解する

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当箇所を読んでおく  
事後学修：授業内容を復習し、整理する

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版（野村 嶺 編 医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア フ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
解剖学Ⅱ（呼吸器系、循環器系）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
王 克 鏞					講 義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	内臓器官の基本構造	王 克 鏞
2	循環器系	心臓の構造、循環系の分類、動脈系と静脈系、胎生期の循環系①	王 克 鏞
3	循環器系	心臓の構造、循環系の分類、動脈系と静脈系、胎生期の循環系②	王 克 鏞
4	循環器系	リンパ系の構造（毛細リンパ管、リンパ管、リンパ節、リンパ本幹、リンパ性器管）	王 克 鏞
5	呼吸器系	外鼻・鼻腔・副鼻腔の構造、咽頭と喉頭の構造	王 克 鏞
6	呼吸器系	気管と気管枝の構造、肺の構造、胸膜と縦隔の構造①	王 克 鏞
7	呼吸器系	気管と気管枝の構造、肺の構造、胸膜と縦隔の構造②	王 克 鏞
8	消化器系	口腔・咽頭・食道の構造	王 克 鏞
9	消化器系	胃・小腸・大腸の構造	王 克 鏞
10	消化器系	肝臓・胆嚢・膵臓・腹膜の構造	王 克 鏞
11	泌尿生殖器	泌尿器系（腎臓・尿管・膀胱・尿道）の構造	王 克 鏞
12	泌尿生殖器	生殖器（男性生殖器・女性生殖器）の構造	王 克 鏞
13	内分泌系	ホルモン、下垂体・松果体・甲状腺・上皮小体の構造	王 克 鏞
14	内分泌系	副腎・膵島・視床下部の構造	王 克 鏞

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
解剖学Ⅱ（呼吸器系、循環器系）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
王 克 鏞					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	内分泌系	心臓・胸腺の構造	王 克 鏞

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生理学Ⅱ（植物性機能）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
中川 和憲					講義	

#### 授 業 概 要

人体を構成する器官・組織のうち、植物性機能に関係が深い循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器・内分泌系の基本的な生理機能について学ぶ。また、理学療法と関わりが深い各系の代表的な障害（疾患）の概要を学び、生理学とリハビリテーションの関連について理解する。

#### 到 達 目 標

1. 循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器・内分泌系に属する各器管の名称について説明することができる
2. 循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿生殖器・内分泌系に属する各器管の生理機能について説明することができる
3. 理学療法を行うにあたり生理学を学ぶ意義について理解し、説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通し、理解を深めておくと同時に、難解な箇所を明確にして講義にのぞむこと。  
事後学修：教科書と配布資料による復習を行ない、関連分野の過去問を解くなどして、自己の知識の再確認を行うこと。

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）  
最終試験で60%以上の得点を単位取得の必須要件とする。  
評価が「D（不可）」であった場合は、1度に限り再試験を実施する。

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版（医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

学習の理解度は、次回授業にて指名して確認する場合もあるので、スライドや資料で<ポイント>とした項目、キーワードについては、自己の言葉で論述できるようまとめておくこと。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

オフィスアワー：講義日昼休み。これ以外の時間帯を希望する場合は、メールにて事前連絡の上訪ねること。  
連絡先メール：Moodleメッセージ機能にて連絡可能です。

#### 実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生理学Ⅱ（植物性機能）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
中川 和憲					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	血液 1	血液の組成と機能、赤血球、白血球、生体防御機構	中川 和憲
2	血液 2	血小板、凝固系、血漿、血液型	中川 和憲
3	心臓と循環 1	血液の循環、心臓の興奮と刺激伝導系、心電図、血液の拍出と血圧、心周期	中川 和憲
4	心臓と循環 2	心機能曲線、血圧の調節、微小循環と物質交換、静脈還流、臓器循環、リンパ循環	中川 和憲
5	呼吸とガスの運搬 1	外呼吸と内呼吸、気道と肺胞、呼吸運動、呼吸気量	中川 和憲
6	呼吸とガスの運搬 2	ガス交換とガスの運搬、呼吸の調節、病的呼吸	中川 和憲
7	消化と吸収 1	口腔内消化、食物輸送、胃・十二指腸の機能	中川 和憲
8	消化と吸収 2	空腸・回腸・大腸・肝臓の機能	中川 和憲
9	尿の生成と排泄 1	腎臓の機能、尿の生成、クリアランス、糸球体濾過量	中川 和憲
10	尿の生成と排泄 2・酸塩基平衡	腎血漿流量、排尿の機能、血漿の酸塩基平衡、水の出納、脱水	中川 和憲
11	内分泌 1	内分泌機能とホルモン	中川 和憲
12	内分泌 2	ホルモンの作用	中川 和憲
13	生殖と発生・成長と老化 1	男性生殖機能・女性生殖機能、受精・着床・胎児の発生①	中川 和憲
14	生殖と発生・成長と老化 2	男性生殖機能・女性生殖機能、受精・着床・胎児の発生②	中川 和憲

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学Ⅱ（植物性機能）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
中川 和憲					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	代謝と体温	エネルギー代謝と体温	中川 和憲

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生理学実習	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
古後 晴基、北村 匡大、山口 浩雄、田中 裕二、濱地 望					実習	

#### 授 業 概 要

生体機能とその発現メカニズムについて学ぶことを目的に、各種機器を用いた実習を行う。  
得られた結果（客観的データ）を記録するとともに、グループワークを通し考察し、内容を発表する。

#### 到 達 目 標

生体に生じる現象を各種機器により定量することができる  
定量された結果を記録する、そのメカニズムについて考察することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前に表示された課題について個人学修しておくこと  
事後学修：実習およびグループ学修で学んだことをまとめ、記録する

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。  
 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

課題発表（50%）、レポート課題（50%）

#### 教 科 書

1. 配布資料

#### 参 考 図 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版（医学書院）  
2. 生理学 I・II で使用した配布資料

#### 留 意 事 項

大学の単位認定は、全23回の15回以上の出席がないと試験（評価）の受験資格が得られません。  
本科目では遅刻・早退が3回で1回欠席扱いにしますので、遅刻・無断早退しないよう注意して下さい。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

#### 実 務 経 験

実務経験が17年ある教員が担当

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生理学実習	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
古後 晴基、北村 匡大、山口 浩雄、田中 裕二、濱地 望					実習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション	概要, スケジュール, 機器紹介, 班編成, 事例提示	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
2	事前学習	各種機器を用いた実習の目的と方法 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
3	事前学習	各種機器を用いた実習の目的と方法 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
4	事前学習	各種機器を用いた実習の目的と方法 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
5	各種機器を用いた計測	演習 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
6	各種機器を用いた計測	演習 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
7	各種機器を用いた計測	演習 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
8	各種機器を用いた計測	演習 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
9	事後学習	発表準備、スライド・個人レポート作成 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
10	事後学習	発表準備、スライド・個人レポート作成 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
11	発表	発表、スライド・個人レポート提出 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
12	発表	発表、スライド・個人レポート提出 1) 筋電図、2) 感覚検査、3) 脳波、4) 超音波	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
13	事前学習	各種機器を用いた実習の目的と方法 5) スパイロメトリー、6) 呼吸音聴診、7) NIRS、8) 心電図	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
14	事前学習	各種機器を用いた実習の目的と方法 5) スパイロメトリー、6) 呼吸音聴診、7) NIRS、8) 心電図	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生理学実習	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
古後 晴基、北村 匡大、山口 浩雄、田中 裕二、濱地 望					実習	

回数	単元	内容	担当教員
15	各種機器を用いた計測	演習 5) スパイロメトリー、6) 呼吸音聴診、7) NIRS、8) 心電図	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
16	各種機器を用いた計測	演習 5) スパイロメトリー、6) 呼吸音聴診、7) NIRS、8) 心電図	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
17	各種機器を用いた計測	演習 5) スパイロメトリー、6) 呼吸音聴診、7) NIRS、8) 心電図	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
18	各種機器を用いた計測	演習 5) スパイロメトリー、6) 呼吸音聴診、7) NIRS、8) 心電図	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
19	事後学習	発表準備、スライド・個人レポート作成 5) スパイロメトリー、6) 呼吸音聴診、7) NIRS、8) 心電図	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
20	事後学習	発表準備、スライド・個人レポート作成 5) スパイロメトリー、6) 呼吸音聴診、7) NIRS、8) 心電図	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
21	発表	発表、スライド・個人レポート提出 5) スパイロメトリー、6) 呼吸音聴診、7) NIRS、8) 心電図	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
22	発表	発表、スライド・個人レポート提出 5) スパイロメトリー、6) 呼吸音聴診、7) NIRS、8) 心電図	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員
23	統括	各種機器の測定や発表を通しての振り返り、統括	古後晴基 北村匡大 山口浩雄 他教員

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
病理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
鬼丸 満穂					講義	

#### 授 業 概 要

疾病の原因や生体への影響について理解を深めるために、病因や細胞の傷害に伴う生体反応（炎症・免疫・循環障害等）の基礎を学ぶとともに、遺伝・感染・環境・栄養・腫瘍・生活習慣などに起因する生体反応について学ぶ。また、代表的な疾病の進行と病理形態学的な変化に関する知識を通して、疾病の原因とその成り立ちについて理解を深める。

#### 到 達 目 標

1. 病因の分類と老化に伴う形態的变化について説明することができる
2. 細胞・組織の形態と機能および炎症の概要について説明することができる
3. 各臓器の代表的な疾病と、その病理形態学の概要について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し理解を深めておくと同時に、難解な箇所を明確にして授業に臨むこと  
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深く関連分野の過去問を解くなどして、自己の知識の再確認に努めること

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）  
 最終試験で60%以上の得点を単位取得の必須要件とする。  
 評価が「D（不可）」であった場合は、1度に限り再試験を実施する。

#### 教 科 書

1. はじめの一步の病理学 第2版（羊土社）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

医学書院 病理学 疾病のなりたちと回復の促進①

#### 留 意 事 項

学習の理解度は、次回授業にて指名して確認する場合もあるので、スライドや資料で<ポイント>とした項目、キーワードについては、自己の言葉で論述できるようまとめておくこと。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

オフィスアワー：講義日昼休み。これ以外の時間帯を希望する場合は、メールにて事前連絡の上訪ねること。  
 連絡先メール：配布資料に記載

#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
病理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
鬼丸 満穂					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	病理学とは 細胞障害と再生 1	病気の発生病因の内因と外因 適応と傷害、変性と細胞死、酸化ストレス、生体内色素、鉄代謝と赤血球、 萎縮・肥大・化性、細胞・組織の形成 教科書14ページ～40ページ	鬼丸 満穂
2	細胞傷害と再生2	適応と傷害、変性と細胞死、酸化ストレス、生体内色素、鉄代謝と赤血球、 萎縮・肥大・化性、細胞・組織の形成 教科書25ページ～40ページ	鬼丸 満穂
3	循環障害1	浮腫、充血・うっ血、出血、血栓・血栓症、塞栓・梗塞、ショック 教科書83ページ～97ページ	鬼丸 満穂
4	循環障害2	浮腫、充血・うっ血、出血、血栓・血栓症、塞栓・梗塞、ショック 教科書83ページ～97ページ  炎症の概念・原因・反応、炎症の分類、炎症の形態像	鬼丸 満穂
5	炎症1	炎症の概念・原因・反応、炎症の分類、炎症の形態像 教科書41ページ～59ページ	鬼丸 満穂
6	炎症2	炎症の概念・原因・反応、炎症の分類、炎症の形態像 教科書41ページ～59ページ	鬼丸 満穂
7	免疫1	免疫系の概要、アレルギー、自己免疫疾患、移植免疫、免疫不全 教科書60ページ～82ページ  メンデルの法則、先天異常	鬼丸 満穂
8	免疫2	免疫系の概要、アレルギー、自己免疫疾患、移植免疫、免疫不全 教科書60ページ～82ページ	鬼丸 満穂
9	感染症1	感染症の概要、感染症の病原体・治療・予防 教科書111ページ～131ページ	鬼丸 満穂
10	感染症2	感染症の概要、感染症の病原体・治療・予防 教科書111ページ～131ページ	鬼丸 満穂
11	環境因子・栄養	化学因子・物理的因子・生物学的因子による疾病、栄養欠乏・過多による疾病 教科書132ページ～144ページ	鬼丸 満穂
12	腫瘍1	腫瘍の名称・形態的特徴・分類・種類、腫瘍の増殖 教科書145ページ～166ページ	鬼丸 満穂
13	腫瘍2	腫瘍に起因する病態、悪性度と病期、腫瘍の原因と発生メカニズム、腫瘍と 臨床病理学 教科書145ページ～166ページ	鬼丸 満穂
14	先天異常・遺伝性疾患	メンデルの法則・先天異常の種類 教科書98ページ～110ページ	鬼丸 満穂

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
病理学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
鬼丸 満穂					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	代表的疾患の病態	代表的な臓器疾患の病態概要	鬼丸 満穂

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
運動学Ⅱ（体幹、下肢）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
古後 晴基					講義	

#### 授 業 概 要

体幹・下肢の関節構造と関節運動学について学ぶとともに、関節運動に作用する筋の形態学的特徴（起始・停止・神経支配・作用）の知識と統合して理解する。

#### 到 達 目 標

1. 関節の構造と運動方向を説明することができる
2. 運動時の関節包内運動について説明することができる
3. 運動に関わる筋とその作用を説明することができる
4. 各関節に特徴的な運動学的事象について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：関連するテキストの該当箇所を熟読しておくこと

事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深めること

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（100%）

#### 教 科 書

1. 筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版（医歯薬出版）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

大学の単位認定は、全15回の10回以上の出席がないと試験（評価）の受験資格が得られません。本科目では遅刻・早退が3回で1回欠席扱いにしますので、遅刻しないよう注意して下さい。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問・相談などは時間割で学生と教員共に空いている時間帯に遠慮なく研究室を訪ねて来て下さい。ただし、会議等で研究室を不在にしている場合もあります。その際は申し訳ありませんが、また別の時間帯に来て下さい。

#### 実 務 経 験

実務経験が17年ある教員が担当

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学Ⅱ（体幹、下肢）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
古後 晴基					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	体幹の構造と機能	環椎後頭関節・環軸関節・椎体関節・仙腸関節①	古後 晴基 野中嘉代子
2	体幹の構造と機能	環椎後頭関節・環軸関節・椎体関節・仙腸関節②	古後 晴基 野中嘉代子
3	体幹の構造と機能	環椎後頭関節・環軸関節・椎体関節・仙腸関節③	古後 晴基 野中嘉代子
4	股関節の構造と機能	股関節①	野中嘉代子 古後 晴基
5	股関節の構造と機能	股関節②	野中嘉代子 古後 晴基
6	股関節の構造と機能	股関節③	野中嘉代子 古後 晴基
7	膝関節の構造と機能	脛骨大腿関節・膝蓋大腿関節①	古後 晴基 野中嘉代子
8	膝関節の構造と機能	脛骨大腿関節・膝蓋大腿関節②	古後 晴基 野中嘉代子
9	足関節の構造と機能	距腿関節・距骨下関節・横足根関節・趾節間関節①	古後 晴基 野中嘉代子
10	足関節の構造と機能	距腿関節・距骨下関節・横足根関節・趾節間関節②	野中嘉代子 古後 晴基
11	足関節の構造と機能	距腿関節・距骨下関節・横足根関節・趾節間関節③	野中嘉代子 古後 晴基
12	歩行の身体運動学	歩行の空間的・時間的指標	古後 晴基 野中嘉代子
13	歩行の身体運動学	歩行の重心移動と制御	古後 晴基 野中嘉代子
14	歩行の身体運動学	歩行の筋活動・異常歩行	古後 晴基 野中嘉代子

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学Ⅱ（体幹、下肢）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
古後 晴基					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	体幹・下肢の関節運動学と歩行	古後 晴基 野中嘉代子

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
公衆衛生学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
二宮 利治					講義	

#### 授 業 概 要

医学・医療を通して疾病予防や健康増進を図るために必要な公衆衛生学の基礎知識について学ぶとともに、代表的な保健活動（環境保健・母子保健・学校保健・産業保健・高齢者保健・精神保健・国際保健）の概要を理解し、個人または社会における保健医療福祉を多面的視点で捉える。

#### 到 達 目 標

1. 公衆衛生の理解に必要な基礎知識について説明することができる
2. 様々な対象の保健概要について説明することができる
3. 保健医療制度の概要について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

#### 対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

定期試験（100%）

#### 教 科 書

配布資料

#### 参 考 図 書

シンプル衛生公衆衛生学（南江堂）

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア フ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
公衆衛生学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
二宮 利治					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論、公衆衛生活動のプロセス	公衆衛生と医療の歴史、公衆衛生活動、生命倫理と保健医療福祉の倫理 地域保健活動、保健医療行政の概要、保健所の役割	二宮
2	総論、公衆衛生活動のプロセス	公衆衛生と医療の歴史、公衆衛生活動、生命倫理と保健医療福祉の倫理 地域保健活動、保健医療行政の概要、保健所の役割	二宮
3	疫学	疫学調査の概要、疾病の分類、疾病量の把握、疫学の方法、スクリーニング	二宮
4	疫学	疫学調査の概要、疾病の分類、疾病量の把握、疫学の方法、スクリーニング	二宮
5	保健統計	健康の測定と健康指標、人口統計	石田
6	成人保健	疾病リスクと予防医学、健康管理と健康増進、健康日本21	石田
7	高齢者保健	高齢者の生活・健康・保健・医療、認知症と対策、介護保険と地域包括ケアシステム	二宮
8	感染症	感染経路、感染症予防	二宮
9	障害者保健	国際生活機能分類、障害者総合支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者虐待防止法、障害者雇用促進法	石田
10	障害者保健	国際生活機能分類、障害者総合支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者虐待防止法、障害者雇用促進法	石田
11	母子保健・学校保健	母子保健の水準と課題、母子保健活動と行政、子どもの健康、学校保健の概要、学校環境管理、学校保健教育	木村
12	国民栄養・食品衛生	国民栄養の現状、食事摂取基準、国民健康・栄養調査、食品衛生法、食中毒対策、食品の安全性、食品添加物	木村
13	産業保健	労働者の健康、労働災害と事故、職業病、健康診断と健康増進、労働時間と余暇	吉田
14	環境保健	環境の把握と評価、物理的環境、化学的環境、生物的環境、大気汚染、水質汚濁、廃棄物、衣食住の衛生、公害	吉田

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
公衆衛生学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
二宮 利治					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	試験	二宮

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
リハビリテーション医学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
稲川 利光					演習	

#### 授 業 概 要

リハビリテーション医学・医療は多くの診療科に関係する疾患と障害を対象とするため、近年の高齢化に伴う疾病構造の変化（複合疾患等）を理解するとともに、代表的な疾患や障害（脳血管障害・頭部外傷・運動器疾患・脊髄損傷・神経筋疾患・切断・小児疾患・循環器疾患・呼吸器疾患・腎疾患・内分泌代謝性疾患・摂食嚥下障害・がん・その他）に対するリハビリテーション医療の概要について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. リハビリテーション医学・医療の意義について理解する
2. 代表的な疾患に対するリハビリテーション医療の流れについて概説することができる
3. 障害や病期（急性期・回復期・維持期）に応じたリハビリテーションの重要性について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）

#### 教 科 書

1. リハビリテーションビジュアルブック（学研メディカル秀潤社）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション医学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
稲川 利光					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論：リハビリテーションの理解	リハビリテーション医学・医療の概念、意義、現状、歴史、ICFに基づく考え方 活動・参加（復職・就労支援・障がい者スポーツ）	稲川 利光
2	診断と治療	各種検査（X線・エコー・CT・MRI・心電図など）と診断 リハビリテーション治療の概要（解剖・整理・運動・精神）	稲川 利光
3	脳血管障害・頭部外傷	脳卒中総論（脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血）、脳卒中へのアプローチ（急性期・回復期・生活期） 脳神経系の解剖と生理、高次脳機能障害など、水頭症	稲川 利光 作業療法士 甲斐 慎介
4	神経筋疾患	ALS、SCD、多発性硬化症、ギランバレー症候群、パーキンソン病、パーキンソニズム、などの病態・障害・リハビリの実際	稲川 利光 理学療法士 池田 健介
5	運動器疾患	上肢・下肢・脊柱の疾患と外傷（骨折・靭帯損傷・腱生障害・鍵盤断裂・半月板損傷・アキレス腱断裂・変形性関節症・椎間板ヘルニア・腰椎分離症と滑り症・関節リウマチ・末梢神経損傷・肩関節周囲炎脊柱管狭窄症）外傷性脊髄損傷、馬尾損傷	稲川 利光 理学療法士 東房 佑樹
6	脊髄損傷	疾患概要・障害像・アプローチの概要（急性期・回復期） リスク管理・復職・就労・社会参加	稲川 利光 理学療法士 松尾 幸徳
7	切断・小児疾患	上肢切断・下肢切断 脳性麻痺・筋ジストロフィー、二分脊椎、発達障害	稲川 利光 理学療法士 押条 未希
8	呼吸器疾患・循環器疾患	呼吸器の解剖と生理、肺炎、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎 循環器の解剖と生理、虚血性心疾患、心不全、下肢閉塞性動脈疾患 開心術後（大動脈解離・心臓弁膜症）	稲川 利光 理学療法士 門脇 敬
9	内分泌代謝性疾患 腎疾患	糖尿病、肥満症、メタボリックシンドローム 腎臓の解剖と生理、腎不全	稲川 利光 理学療法士 矢坂 望
10	摂食嚥下障害 排泄管理	摂食嚥下の解剖と生理、嚥下障害の評価 摂食嚥下障害に対するリハビリテーション診療ジショニング 排泄管理（ポジショニング・環境改善）	稲川 利光 言語聴覚士 橋本 由貴
11	がん 廃用症候群	がんに対するリハビリテーション医療の意義と実際（各種のがんの特徴リスク管理） 廃用症候群の特徴と障害像・フレイル・サルコペニア・NST活動	稲川 利光 作業療法士 福永 梨香
12	スポーツ障害・外傷	スポーツ障害・外傷に対するリハビリテーション医療の意義と実際 障害予防	稲川 利光 理学療法士 渡口 龍太
13	骨粗鬆症・栄養・その他	骨粗鬆症に対するリハビリテーション医療の意義と実際 疾病予防・運動・栄養管理、転倒予防、その他	稲川 利光 作業療法士 谷岡 亮平
14	在宅支援・社会貢献 社会参加・復職就労支援	在宅復帰・環境設定（家屋評価・家屋改造） 障害者スポーツ、大規模災害リハビリテーション支援	稲川 利光 理学療法士 上田 厚志

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
リハビリテーション医学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
稲川 利光					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	リハビリテーションの展開 (先進医療とリハビリ)	ロボット、再生医療、BMI、電気刺激療法、痙縮治療、障害者の自動車運転	稲川 利光 理学療法士 根津 貴敏

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
栄 養 学	2023年 度	理 学 療 法 学 科	1単 位	15時 間	必 修	1年 後 期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
岩 本 昌 子					講 義	講 義

#### 授 業 概 要

栄養素の種類と化学的性質、生理的機能、消化吸収、栄養素間の代謝における相互作用、栄養素を供給する食品について学ぶことにより、健康を維持増進し、疾病を予防するために適切な栄養摂取について理解する。また、リハビリテーション医療における栄養の重要性について理解する。

#### 到 達 目 標

1. 栄養の意義や各栄養素の働きについて概説できる
2. 健康の保持・増進、疾病の予防における栄養の役割について理解する
3. リハビリテーション医療における栄養の重要性について理解する

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：当日テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学習：当日の講義から復習・まとめをする

#### 対 応 D P

- ◎ 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- ◎ 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

定期試験（80%）及び課題等（20%）

#### 教 科 書

栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第4版（羊土社）

#### 参 考 図 書

授業時に提示  
 系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能③ 医学書院

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
栄養学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
岩本 昌子					講義	講義

回数	単元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション 総論	栄養の定義、栄養と健康・疾患、 食欲と満腹感・空腹感、食事のリズムとタイミング	岩本 昌子
2	消化・吸収と栄養素の体内 動態	消化・吸収と栄養、消化過程、 栄養素別の消化・吸収、栄養素の体内動態	岩本 昌子
3	炭水化物の栄養	炭水化物の概要、糖質の分類、 エネルギー源としての作用、血糖、体内代謝	岩本 昌子
4	脂質の栄養	脂質の概要、脂質の臓器間輸送と体内代謝、 貯蔵エネルギー作用、生理活性物質	岩本 昌子
5	たんぱく質の栄養	たんぱく質の概要、たんぱく質の合成と分解、 体内代謝、アミノ酸の臓器間輸送	岩本 昌子
6	ビタミンの栄養	ビタミンの概要、ビタミンの栄養学的機能、 ビタミンの生物学的利用度	岩本 昌子
7	ミネラルの栄養	ミネラルの概要、硬組織におけるはたらき、 生体機能の調節機構、酵素の働き	岩本 昌子
8	水・電解質の栄養的意義	水の出納、脱水、浮腫、電解質代謝と栄養	岩本 昌子

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
薬理学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小林 英幸					講義	

#### 授 業 概 要

人体の構造と機能の講義と関連させながら、薬物がどのように人体に作用し吸収されるのか学ぶ。さらに具体的な個々の薬物について、その使用目的、作用、副作用、禁忌について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 人体(各器官)のしくみとそれに関連する薬物の種類について説明できる。
2. 薬の作用機序・薬理作用・有害作用についての知識を活用することができる。
3. リハビリテーション業務に必要な薬の作用・副作用等の知識について説明できる。

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：講義内容に関連する項目を予習して授業に臨む。  
事後学修：講義資料を参照して復習・まとめをする。

#### 対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験、授業態度及び出席状況等により総合的に判定する。100点中60点以上が合格

#### 教 科 書

内山靖他【編】リハビリテーション薬理学・臨床薬理学 第1版 医歯薬出版 2021  
講義資料を配付する

#### 参 考 図 書

吉岡充弘他【著】系統看護学講座 専門基礎分野 『疾病のなりたちと回復の促進〔3〕薬理学』 第15版 医学書院2023

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問は随時受け付けます。口頭、メール等で質問して下さい。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
薬理学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
小林 英幸					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	薬理学総論 1	薬理学を学ぶにあたって、薬が作用するしくみ	小林 英幸
2	薬理学総論 2	薬の体内挙動、薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性	小林 英幸
3	感染・炎症	感染と炎症の病態、抗炎症薬	小林 英幸
4	神経疾患	神経疾患の発生机序と薬物療法	小林 英幸
5	精神疾患	精神疾患の発生机序と薬物療法	小林 英幸
6	循環器系疾患	循環器系疾患の発生机序と薬物療法	小林 英幸
7	疼痛の制御と薬物療法	疼痛の発生机序と鎮痛薬	小林 英幸
8	頻用される薬物	代謝性疾患治療薬、血液凝固抑制薬、睡眠薬	小林 英幸

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
専門職連携教育 I (専門職連携の基礎)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
白石 裕子、竹元 仁美、池田 敏子、寺岡 祥子、玉利 誠、松本 典久、中山 広宣、江口 喜久雄					演習	

#### 授 業 概 要

保健・医療・福祉の統合が進む社会状況にあつて、その場で働く職種には各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し、利用者に総合的に支援することが求められる。全人的支援を行うには、関連職種連携が不可欠であり、その実践のためには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性やチーム医療やチームケアについて学び、関連職種との協働に必要なコミュニケーション能力を身につけられるようにする。本科目では、専門職連携についての基本的な考え方を学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. チーム医療・チームケアの必要性や意義を説明できる
2. チームビルディングの理論と実際について説明できる
3. 各医療専門職の種類と機能について説明できる
4. 事例を通して、チーム形成について説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の基本的動作能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

#### 評 価

課題レポート(100%)

#### 教 科 書

講師資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育 I (専門職連携の基礎)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
白石 裕子、竹元 仁美、池田 敏子、寺岡 祥子、玉利 誠、松本 典久、中山 広宣、江口 喜久雄					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	専門職連携に求められる心構え	専門職連携協働推進への誓いのつどい (別紙)	白石
2	専門職連携に求められる心構え	専門職連携協働推進への誓いのつどい (別紙)	白石
3	オリエンテーション IPEの基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ関連職種連携教育を学ばなければならないか?</li> <li>保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携</li> <li>IPE展開のための基礎知識</li> </ul>	白石
4	国際疾病分類の理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職種間連携教育 (IPE) の展開のための基礎知識 1</li> <li>国際疾病分類 (WHO ICF) の理念</li> </ul>	白石
5	チーム医療とチームビルディング	<ul style="list-style-type: none"> <li>チーム医療のあり方</li> <li>チームビルディングの理論と実際</li> </ul>	白石
6	専門職連携に求められるコンピテンシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ専門職連携が必要なのか</li> <li>専門職連携教育の重要性</li> <li>専門職連携の定義 ・ 専門職連携の利点 他</li> </ul>	白石
7	リーダーシップ、メンバーシップ	リーダーシップ、メンバーシップ (講義) 8回以降の事前学習について説明	竹元
8	医療専門職の機能と連携 ①看護師：宮里邦子 助産師：寺岡祥子 保健師：猪狩明日香	(事前学習：医療専門職の種類、教育制度、機能・役割について調べる) 看護師・助産師・保健師の体験 (教育制度、機能・役割 事例など) (講義)	池田 寺岡 竹元 玉利 中山 江口 松本
9	医療専門職の機能と連携 ②理学療法士 玉利誠 作業療法士 谷川良博	(事前学習：医療専門職の種類、教育制度、機能・役割について調べる) 理学療法士、作業療法士の体験 (教育制度、機能・役割 事例など) (講義)	中山 竹元 池田 寺岡 中山 江口 松本
10	医療専門職の機能と連携 ③福岡和白病院 言語聴覚士	(事前学習：医療専門職の種類、教育制度、機能・役割について調べる) 言語聴覚士の体験 (教育制度、機能・役割、事例等) (講義)	ST/玉利 竹元 池田 寺岡 玉利 江口 松本
11	医療専門職の機能と連携 ④福岡和白病院 薬局長薬剤師	(事前学習：薬剤師の種類、教育制度、機能・役割について調べる) 薬剤師の体験 (教育制度、機能・役割、事例等) (講義)	薬剤師/江口 竹元 池田 寺岡 玉利 中山 松本
12	医療専門職の機能と連携 ⑤福岡和白病院 管理栄養士	(事前学習：栄養士の種類、教育制度、機能・役割について調べる) 管理栄養士の体験 (教育制度、機能・役割、事例等) (講義)	管理栄養士/池田 竹元 寺岡 玉利 中山 江口 松本
13	医療専門職と福祉専門職の連携 福岡和白病院入退院支援室 ソーシャルワーカー	(事前学習：ソーシャルワーカーの教育制度、機能・役割について調べる) <ul style="list-style-type: none"> <li>医療と福祉の専門職に関する知識 (種類、法・制度)</li> <li>医療と福祉の接点 (連携) (講義)</li> </ul>	/寺岡 池田 竹元 玉利 中山 江口 松本
14	グループのまとめ	専門職について調べたことや体験談をきいて、実際との違い、新たに発見したことについてグループでまとめ、次週の発表の準備をする (GW)	白石 竹元 池田 寺岡 玉利 中山 江口 松本

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育 I (専門職連携の基礎)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
白石 裕子、竹元 仁美、池田 敏子、寺岡 祥子、玉利 誠、松本 典久、中山 広宣、江口 喜久雄					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	グループ発表 総括	グループのまとめを発表する (GW) 発表 : 5分/1G×15G(75分) 総括 : 15分	白石 竹元 池田 寺岡 玉利 中山 江口 松本

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
体表解剖学演習	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
永崎 孝之、田中 真一、岡 真一郎、濱地 望					演習	

#### 授 業 概 要

理学療法に必要な上肢・体幹・下肢の筋骨格の構造と機能に関する基礎的な知識を整理するとともに、体表から触察可能な筋骨格の触察法について演習形式で学ぶ。また、理学療法士が触察法を修得する目的や意義について理解する。

#### 到 達 目 標

1. 上肢・体幹・下肢の骨指標の名称と位置を説明することができる
2. 上肢・下肢・体幹の筋の名称と位置を説明することができる
3. 上肢・体幹・下肢の代表的な筋を触診することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと  
 事後学修：教科書、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理する

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（40%）、実技試験（60%）  
 受験資格：授業総回数（15回）の2/3以上（6回の欠席で失効）を有すること

#### 教 科 書

1. 運動療法のための機能解剖学的 触診技術 上肢・下肢・体幹
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

事前に予約することで急なキャンセル以外は対応します。  
 また予約なしでも在室時に対応可能な場合も受け付けます。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
体表解剖学演習	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
永崎 孝之、田中 真一、岡 真一郎、濱地 望					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション 総論 上肢の骨指標・筋の触診 (導入)	オリエンテーション 総論：触診とは(意義)、触診の基本手技 上肢の骨指標・筋の触診(導入)：上腕二頭筋の起始停止(骨指標)と筋の触診	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
2	上肢の骨指標(1)	上肢の骨指標(1) 肩甲骨・鎖骨・胸骨・上腕骨・肋骨	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
3	上肢の骨指標(2)	上肢の骨指標(2) 上腕骨・橈骨・尺骨・手根骨・指骨	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
4	上肢の筋の触診(1)	上肢の筋の触診(1) 三角筋・棘上筋・棘下筋・小円筋・大円筋・(肩甲下筋)	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
5	上肢の筋の触診(2)	上肢の筋の触診(2) 上腕二頭筋・上腕筋・腕橈骨筋・上腕三頭筋・尺側手根伸筋・長(短)橈側手根伸筋	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
6	上肢の筋の触診(3)	上肢の筋の触診(3) 橈側手根屈筋・尺側手根屈筋・円回内筋・回外筋・長掌筋・浅(深)指屈筋	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
7	上肢の筋の触診(4)	上肢の筋の触診(4) 総指伸筋・示指伸筋・小指伸筋・長(短)母指伸筋・長母指外転筋	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
8	上肢の骨指標・筋の触診 (まとめ) 振り返り	上肢の骨指標・筋の触診(まとめ) 振り返り	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
9	体幹・下肢の骨指標(1)	体幹・下肢の骨指標(1) 頭蓋骨・脊柱・(肩甲骨・鎖骨・胸骨・肋骨)・骨盤(腸骨・恥骨・坐骨)・大腿骨	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
10	体幹・下肢の骨指標(2)	体幹・下肢の骨指標(2) 大腿骨・膝蓋骨・脛骨・腓骨・足根骨・趾骨	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
11	体幹・下肢の筋の触診(1)	体幹・下肢の筋の触診(1) 僧帽筋(上部・中部・下部)・広背筋・大(小)菱形筋・胸鎖乳突筋・前鋸筋	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
12	体幹・下肢の筋の触診(2)	体幹・下肢の筋の触診(2) 腰方形筋・腹直筋・内腹斜筋・外腹斜筋・大殿筋・中殿筋・大腿筋膜張筋	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
13	体幹・下肢の筋の触診(3)	体幹・下肢の筋の触診(3) 大腿四頭筋・縫工筋・薄筋・半腱様筋(鷲足)・半膜様筋・大腿二頭筋・大内転筋	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望
14	体幹・下肢の筋の触診(4)	体幹・下肢の筋の触診(4) 前脛骨筋・長趾伸筋・長母趾伸筋・長腓骨筋・短腓骨筋・後脛骨筋・腓腹筋・ひらめ筋	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
体表解剖学演習	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
永崎 孝之、田中 真一、岡 真一郎、濱地 望					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	体幹・下肢の骨指標・筋の触診（まとめ） 振り返り	体幹・下肢の骨指標・筋の触診（まとめ） 振り返り	永崎孝之 田中真一 岡真一郎 濱地 望

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
バイオメカニクス	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
永崎 孝之、田中 真一、岡本 伸弘					講義	

#### 授 業 概 要

身体運動を理解するために必要なバイオメカニクスの基礎について学ぶとともに、基本動作（起居動作・立ち上がり動作・移乗動作・入浴動作・歩行・車椅子操作）の介助法を学ぶ。また、介助者と被介助者の立場から介助を体験することにより、介助機器を適切に設定する意義について理解する。

#### 到 達 目 標

1. 身体運動の基礎（運動面、体位と構え、重心と支持基底面）について説明することができる
2. 起居動作・立ち上がり動作・移乗動作・歩行のバイオメカニクスと適切な介助方法について説明することができる
3. 杖や歩行器、車椅子の特性を理解し、対象者に適切な高さや角度に調整することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前に表示された課題について資料を作成する  
 事後学修：テキストや講義資料などを用いて、学修した内容について理解を深める

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

1. レポート課題（100%）
2. 評価資格：授業総回数（8回）の2/3以上の出席を有すること

#### 教 科 書

1. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

事前に予約することで急なキャンセル以外は対応します。  
 また予約なしでも在室時で対応可能な場合も受け付けます。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
バイオメカニクス	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
永崎 孝之、田中 真一、岡本 伸弘					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	オリエンテーション 総論	オリエンテーション 総論：身体運動とバイオメカニクス、動作介助の基礎	永崎孝之 田中真一 岡本伸弘
2	起居動作 (1)	起居動作 (臥位～坐位) 介助とバイオメカニクス (1)	永崎孝之 田中真一 岡本伸弘
3	起居動作 (2)	起居動作 (臥位～坐位) 介助とバイオメカニクス (2)	永崎孝之 田中真一 岡本伸弘
4	移乗動作 (1)	移乗動作 (坐位～立位) 介助とバイオメカニクス (1)	永崎孝之 田中真一 岡本伸弘
5	移乗動作 (2)	移乗動作 (坐位～立位) 介助とバイオメカニクス (2)	永崎孝之 田中真一 岡本伸弘
6	移動補助具 (1)	移動補助具 (車いす・松葉杖・歩行器) を用いた介助とバイオメカニクス (1)	永崎孝之 田中真一 岡本伸弘
7	移動補助具 (2)	移動補助具 (車いす・松葉杖・歩行器) を用いた介助とバイオメカニクス (2)	永崎孝之 田中真一 岡本伸弘
8	移動補助具 (3)	移動補助具 (車いす・松葉杖・歩行器) を用いた介助とバイオメカニクス (3)	永崎孝之 田中真一 岡本伸弘

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
基礎理学療法演習Ⅰ（キャリアデザイン）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
田中 真一、北村 匡大、齊藤 貴文、大田 瑞穂					演習	

#### 授 業 概 要

理学療法士が関わる代表的疾患の理学療法について情報収集し、カリキュラムとの関連を含めてプレゼンテーションを行う。  
また、自身の将来のキャリアについて考えるとともに、理学療法を通して人々の健康や地域社会に貢献する意義について考える。

#### 到 達 目 標

1. 理学療法士が対象とする代表的な疾患について情報収集することができる
2. 自身の将来のキャリアと生き方について考えるとともに、カリキュラムとの関係を理解する
3. 情報を収集し、得られた情報を他者に分かりやすくまとめ、プレゼンテーションする能力を身につける
4. 他者との協同作業を通してコミュニケーション能力を高めるとともに、協同の意義や効果について理解を深める

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：提示した事前課題をまとめ、概要を整理しておく  
事後学修：課題レポートをまとめる

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

課題発表（50%）、課題レポート（50%）

#### 教 科 書

配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日10時～12時

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
基礎理学療法演習Ⅰ（キャリアデザイン）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
田中 真一、北村 匡大、齊藤 貴文、大田 瑞穂					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	理学療法の対象領域	理学療法の対象領域を知る①	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
2	理学療法の対象領域	理学療法の対象領域を知る②	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
3	理学療法の対象領域	理学療法の対象領域を知る③	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
4	理学療法の対象領域	理学療法の対象領域を知る④	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
5	代表的疾患に対する理学療法	代表的疾患の理学療法（情報収集）①	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
6	代表的疾患に対する理学療法	代表的疾患の理学療法（情報収集）②	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
7	代表的疾患に対する理学療法	代表的疾患の理学療法（情報収集）③	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
8	代表的疾患に対する理学療法	代表的疾患の理学療法（情報収集）④	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
9	代表的疾患に対する理学療法	発表会①	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
10	代表的疾患に対する理学療法	発表会②	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
11	代表的疾患に対する理学療法	発表会③	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
12	代表的疾患に対する理学療法	発表会④	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
13	キャリアデザイン	キャリアデザインとカリキュラムツリーの作成①	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂
14	キャリアデザイン	キャリアデザインとカリキュラムツリーの作成②	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
基礎理学療法演習 I (キャリアデザイン)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
田中 真一、北村 匡大、齊藤 貴文、大田 瑞穂					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	キャリアデザイン	キャリアデザインとカリキュラムツリーの作成③	田中真一 北村匡大 齊藤貴文 大田瑞穂

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
理学療法評価法	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
北村 匡大、吉澤 隆志					演習	

#### 授 業 概 要

理学療法評価の目的や意義について学ぶとともに、医療面接や基本的な検査・測定の種類と方法を理解する。  
また、これまでに学んだ解剖学や生理学の知識を用い、疾病により生じる症候および障害とその評価方法について知識を整理することにより、症候と障害の関係についても理解を深める。

#### 到 達 目 標

1. 理学療法における評価の意義と評価時のリスク管理の必要性について説明することができる
2. 各種検査・測定の必要性と具体的方法について説明することができる
3. 代表的な疾患や障害に適応する理学療法評価の項目を列挙することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（100%）

#### 教 科 書

1. 理学療法評価学 障害別・関節別評価のポイントと実際（文光堂）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

授業については講義と演習を組み合わせる効果的に実施する。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

木曜14時40分～16時10分

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法評価法	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担当教員					授業形態	開講形式
北村 匡大、吉澤 隆志					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	理学療法評価総論	理学療法評価の目的と流れ、症候学と障害学	北村匡大 吉澤隆志
2	医療面接	医療面接の目的と収集すべき情報、観察上の注意点、医学的情報と他部門情報	北村匡大 吉澤隆志
3	意識障害とバイタルサイン	意識レベルの分類、バイタルサインの評価	北村匡大 吉澤隆志
4	形態測定	身長・体重・BMIの評価、四肢長・四肢周径の評価	北村匡大 吉澤隆志
5	日常生活活動（ADL）と生活の質（QOL）	ADLの概念と構成、IADLとAPDL、ADLの評価、QOLの定義、QOLの評価	北村匡大 吉澤隆志
6	姿勢と動作の観察	定性的評価と定量的評価、姿勢および動作の観察と分析	北村匡大 吉澤隆志
7	関節可動域	関節可動域制限の原因、関節可動域の評価、制限因子の評価	北村匡大 吉澤隆志
8	筋緊張、筋力、筋持久力	筋力低下の評価、筋持久力低下の評価	北村匡大 吉澤隆志
9	運動麻痺	下行性伝導路、弛緩性麻痺と痙性麻痺、運動麻痺の評価	北村匡大 吉澤隆志
10	感覚障害	上行性伝導路、感覚の種類と感覚障害の評価	北村匡大 吉澤隆志
11	バランスと協調性	バランス能力および協調性低下の原因と評価	北村匡大 吉澤隆志
12	高次脳機能	高次脳機能障害の原因と評価	北村匡大 吉澤隆志
13	痛み	痛みの種類と伝導路、痛みの原因と評価	北村匡大 吉澤隆志
14	内部障害	内部障害の原因と評価	北村匡大 吉澤隆志

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法評価法	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
北村 匡大、吉澤 隆志					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	加齢による機能障害	加齢による機能障害の原因と評価	北村匡大 吉澤隆志

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
基礎臨床実習Ⅱ	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
永崎 孝之、玉利 誠、溝田 勝彦、古後 晴基、森下 元賀、田中 真一、齊藤 貴文、吉澤 隆志、岡真一郎、北村 匡大、坪内 優太、野中 嘉代子、大田 瑞穂、澤田 誠、松本 典久、原田 伸哉、濱地 望					実習	

#### 授 業 概 要

理学療法士が行う理学療法業務の実際を見学することにより、理学療法士の役割や業務、理学療法士が使用する機器などについて、その概要を理解する。また、理学療法士と他の職種との関係について学び、理学療法士としての将来の自己像を形成する。

#### 到 達 目 標

1. 理学療法士が在籍する施設の特徴について説明することができる
2. 実習施設における理学療法士と他の職種との関係や協働について説明することができる
3. 実習施設に設置されている機器や理学療法士が使用する機器の名称や機能について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

実習のスケジュール（授業計画）の詳細は事前学修の際にオリエンテーションする  
 事前学修：実習施設の概要について、ホームページ等で調べておく  
 事後学修：実習で学んだ内容をまとめ、報告する

#### 対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の基本的動作能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

#### 評 価

レポート（60%）、発表（40%）

#### 教 科 書

1. 基礎臨床実習の手引き（理学療法学科）

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

必要に応じて随時（事前に予約すること）

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
基礎臨床実習Ⅱ	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	1年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
永崎 孝之、玉利 誠、溝田 勝彦、古後 晴基、森下 元賀、田中 真一、齊藤 貴文、吉澤 隆志、岡真一郎、北村 匡大、坪内 優太、野中 嘉代子、大田 瑞穂、澤田 誠、松本 典久、原田 伸哉、濱地 望					実習	

内 容
<p>実習前：・オリエンテーションにて今後の目的や目標について理解する  ・実習施設の概要(病床数, 診療科, その他)について調査する  ・提示された課題を実施する</p> <p>実習中：・実習指導者の指示に従い, 実習施設および理学療法業務を見学する</p> <p>実習後：・実習の振り返りを実施し, 学習した内容を整理する  ・レポート課題に取り組み提出する  ・発表の準備を行い, 実習の成果を発表する</p>

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
経営学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
加藤 佳奈					講義	

#### 授 業 概 要

本科目では、企業や経営についての基本的知識を学修すると共に、現代社会におけるその役割と意味について考え、社会における経営の問題に興味・関心を抱き、専門学修へと展開していかれるような力を育成することを目的とする。経営について学修することで、経営的なものの見方・考え方を身につける。社会状況に応じた戦略的な考え方を学び、組織の基本形態とその特徴を学ぶことで、組織を機能させる思考や、資源をいかに活用するかなど、将来的に施設運営に参画できるような基礎的能力を養う。

#### 到 達 目 標

1. 現代社会の重要な機関としての「企業」に焦点をあて、その社会的な役割・目的・責任などを理解する
2. 企業の存続と発展にとって不可欠な「経営」について説明できる
3. 経営の基礎理論について説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学習：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P

- ◎ 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。  
 ○ 多様化かつ高度化する医療において、専門的な理学療法の実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

#### 評 価

課題レポート（100%）

#### 教 科 書

講師資料

#### 参 考 図 書

適宜紹介する。

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
経営学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
加藤 佳奈					講義	

回数	単元	内容	担当教員
1	イントロダクション 経営学とは何か	講義の目的、内容・範囲、進め方、評価、経営学の目的および意義	加藤佳奈
2	事業とは	「生産・営利」などの目的を伴う活動としての事業	加藤佳奈
3	企業とは	企業の役割、制度、形態	加藤佳奈
4	経営理論と 企業の諸形態	企管理論、企業・会社・病院・施設の諸形態	加藤佳奈
5	戦略とは 経営戦略	経営戦略の3つのレベル、企業戦略・事業戦略・機能戦略	加藤佳奈
6	組織とは 基本形態とその特徴	事務部制組織、職能別組織	加藤佳奈
7	経営資源とは ヒト・モノ・カネ・情報	人的資源(ヒト)、物的資源(モノ)、財務的資源(カネ)、情報の資源(情報)	加藤佳奈
8	復習・まとめ	全講義の復習を行う。	加藤佳奈

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
韓国語 I (日常会話)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
金 活 蘭、張 命 姫、趙 賢 眞					演 習	

#### 授 業 概 要

2000年代の初め、韓流ブームが日本国内で沸騰し、2018年度には韓国人訪日客は約750万人、日本人訪韓客は約300万人に達した。韓国語を学ぶ人口も飛躍的に伸びた。韓国語を初めて学ぶ学生諸君を対象に、韓国語の基本である発音を身につけ、簡単な日常会話（挨拶等）ができるように韓国語に関する体系的な基礎知識を学ぶ。韓国語と日本語は基本的な語順が同一であるので、学生諸君はその修得スピードに驚くだろう。併せて、韓国文化の理解と共に、韓国語で簡単なコミュニケーションを可能にする。

#### 到 達 目 標

1. 基本的な発音ルールを取得する
2. 韓国語であいさつができる
3. 韓国語で簡単な日常会話ができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと  
 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める

#### 対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。

#### 評 価

筆記試験（60％）、毎回の小テスト（40％）

#### 教 科 書

『ポイントレッスン韓国語』東方書店

#### 参 考 図 書

『コスモス朝和辞典』白水社

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日（17時～18時）・水曜日（16時～18時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
韓国語 I (日常会話)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
金 活 蘭、張 命 姫、趙 賢 眞					演 習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	ハングルの仕組みと文の構造	授業ガイダンス、母音字と子音字 ①体言と語尾 ② 母音+子音 ③子音+子音	松原孝俊 李恩珠
2	合成母音字と終声字	合成母音字と終声字を学ぶ ①終声字とその発音、②2文字終声字の発音、③終声の初声化	松原孝俊 李恩珠
3	私は学生です。	①口音+平音 ②口音+激音もしくは濃音 ③口音 ④指定詞	松原孝俊 李恩珠
4	キムチが辛いです	①流音の鼻音化 ②Lの流音化 ③体言+体言語尾 ④存在詞	松原孝俊 李恩珠
5	これは何ですか	①3種類の語幹(母音語幹、己語幹、子音語幹) ②指示代名詞③疑問詞名数詞 ②数詞につく接尾辞 ③意思=推量形	松原孝俊 李恩珠
6	今日は何月何日ですか	①漢字語数詞と固有語数詞、第1語基名数詞 ②数詞につく接尾辞 ③意思=推量形	松原孝俊 李恩珠
7	時間があるならば、一緒に行きましょう。	①第2語基、②仮定形「ㄷ+면」③形容詞の連体形	松原孝俊 李恩珠
8	韓国に行きました。	①第3語基 ②過去形 ③さまざまな体言語尾	松原孝俊 李恩珠
9	話し言葉と書き言葉	①I+요 ② 있어요/없어요	松原孝俊 李恩珠
10	いくらですか	①生活用語 ②文化用語③願望形	松原孝俊 李恩珠
11	韓国語を教えてください	①依頼形②尊敬形③推量形	松原孝俊 李恩珠
12	昨日 学校へ行きませんでした	①肯定と否定 ②不可能形못 ~、~지 못 하다、~ㄹ 수 없다	松原孝俊 李恩珠
13	この本はよく売れます	①接尾辞「-이」、「-히」、「-리」、「-기」②語尾「-이/어지다」	松原孝俊 李恩珠
14	主な文法的な形	① I +는 것 같다 ② II +ㄴ 적이 없다③ III +서는 안 되다	松原孝俊 李恩珠

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語 I (日常会話)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
金 活蘭、張 命姫、趙 賢眞					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	これまでの学修項目のまとめ	これまでの学修項目のまとめ	松原孝俊 李恩珠

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
中国語 I (日常会話)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
黄 冬 柏					演 習	

#### 授 業 概 要

アジア圏の中で中国のエネルギーはすさまじいものがある。人口も13億と多く、多くの人が世界中を旅したり、留学したりと、日常的に私たちが中国語を耳にする機会も増えてきている。福岡の地は中国からの旅行者も多くみられる。中国語の基本である発音を身につけ、会話を通して簡単な日常会話（挨拶 他）ができるように学ぶ。また日常会話を通して現代中国の文化や社会について理解できるように概説する。学修を通してお互いの文化や考え方の理解につながるように学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 基本的な子音や母音が発音できる
2. 中国語であいさつができる
3. 中国語で簡単な日常会話ができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対 応 D P

- ◎ 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。  
 ○ 多様化かつ高度化する医療において、専門的な理学療法の実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

#### 評 価

- 1) 授業到達目標への到達努力の評価
- 2) 最終到達度の評価

#### 教 科 書

黄 冬 柏『やさしい中国語10課』 中国書店

#### 参 考 図 書

芦 益 平・黄 冬 柏『漢語生活会話』 白帝社

#### 留 意 事 項

朗読や練習など、日常の学習が非常に大切なので、必ず予習と復習を行うこと。中国語のリズムや抑揚を体得するには、ヒアリングが一番重要なので、教科書に付いているCDを繰り返し聴くこと。授業中は積極的に声を出して練習すること。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅰ（日常会話）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
黄冬柏					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	ガイダンス	シラバスを配付し、授業の内容や進め方、および成績評価などについて詳しく説明する。	黄冬柏
2	発音（1）：声調と単母音	声調と単母音の発音要領を説明し、練習を行う。（教科書p1-p3）	黄冬柏
3	発音（2）：子音	子音の発音要領を説明し、練習を行う。（教科書p4-p5）	黄冬柏
4	発音（3）：複合母音	複合母音の発音要領を説明し、練習を行う。（教科書p6-p7）	黄冬柏
5	発音（4）：発音の規則	発音の規則を説明し、挨拶の練習を行う。（教科書p8-p10）	黄冬柏
6	第1課：お名前は	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p12-p13）	黄冬柏
7	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p14-p16）	黄冬柏
8	復習と中間テスト	これまで勉強した内容を復習した後、中間テストを行う。	黄冬柏
9	第2課：私は日本からの留学生	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p17-p18）	黄冬柏
10	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p19-p21）	黄冬柏
11	第3課：あなたは毎日何時に大学へ行くの	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p22-p23）	黄冬柏
12	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p24-p27）	黄冬柏
13	第4課：実家は福岡市にある	単語と本文を説明し、発音を練習する。（教科書p28-p29）	黄冬柏
14	文法の学習と練習問題	文法を解説し、練習問題を解く。（教科書p30-p32）	黄冬柏

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語 I (日常会話)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
黄 冬 柏					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	復習、まとめ	復習や質疑応答を行った後、まとめのテストを実施し、テストを解説する。	黄 冬 柏

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動生理学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
北村 匡大					講義	

#### 授 業 概 要

生理学Ⅰ・Ⅱで学んだ知識をもとに、運動によって筋・呼吸・循環・体温・内分泌などに生じる生理反応の基本的なメカニズムについて学ぶとともに、理学療法やトレーニングを実践する上で留意することについて理解する。

#### 到 達 目 標

1. 運動に関係する各系の基本的な構造と機能について説明することができる
2. 運動によって生じる各系の生理反応について説明することができる
3. 理学療法やトレーニングを実践するうえで留意する事項について理解する

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと  
 事後学修：授業の内容について理解できるよう、整理しておくこと

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。  
 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（70%）、課題レポート（30%）

#### 教 科 書

1. リハビリテーション運動生理学（メジカルビュー社）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火曜日（13時～14時）・木曜日（17時～18時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動生理学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
北村 匡大					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	筋の運動生理学	筋収縮とエネルギー供給、筋収縮における神経の役割、筋の種類と収縮様式	北村匡大
2	呼吸の運動生理学	換気とガス交換のメカニズム、運動時の呼吸循環応答	北村匡大
3	循環の運動生理学	心周期、一回拍出量、心拍出量、心血管の機能と血圧、運動時の循環反応	北村匡大
4	体温の運動生理学	体温と体熱バランス、体温調節と外部環境、運動と体温調節	北村匡大
5	栄養の運動生理学	エネルギー代謝、栄養とリハビリテーション	北村匡大
6	内分泌の運動生理学	運動時のホルモン調節	北村匡大
7	身体組成とトレーニング	身体組成の指標と測定、トレーニングの原則	北村匡大
8	運動負荷試験	運動負荷試験の目的と方法	北村匡大

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学実習	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
玉利 誠、岡 真一郎、坪内 優太、大田 瑞穂					実習	

#### 授 業 概 要

バイオメカニクスの基礎知識を理解するとともに、三次元動作解析装置を用いて計測された基本動作（立ち上がり・歩き始め・歩行・ジョギング・昇段動作）の解析演習を通して身体運動のメカニズムについて学ぶ。また、解析演習で学んだ知識と1年次に運動学で学んだ知識を統合し、理学療法評価で必要となる動作観察のポイントと記録方法について理解する。

#### 到 達 目 標

1. バイオメカニクスの基礎知識を理解する
2. 三次元動作解析装置を用いて計測された基本動作の解析方法を理解する
3. 基本動作のメカニズムについて、バイオメカニクスの観点から説明することができる
4. 基本動作を観察し、記録することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前に示された課題について資料を作成する  
 事後学修：課題レポートをまとめる

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

課題発表（40%）、課題レポート（60%）

#### 教 科 書

1. 配布資料

#### 参 考 図 書

1. 動作分析（メジカルビュー）
2. 新ボディダイナミクス入門 立ち上がりと歩行の分析（医歯薬出版）

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア フ ー 等

月曜日（16時～17時）・火、木曜日（11時～12時）研究室

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学実習	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
玉利 誠、岡 真一郎、坪内 優太、大田 瑞穂					実習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論	バイオメカニクスの基礎知識 重心・支持基底面・速度・加速度・躍度・床反力・関節モーメント・パワー	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
2	三次元動作解析装置による動作計測	立ち上がり・歩き始め・歩行・ジョギング・昇段動作の計測	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
3	姿勢観察	背臥位・側臥位・座位・立位の観察と記録 演習	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
4	起居動作	起居動作の観察と記録 演習	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
5	立ち上がり動作	立ち上がり動作の観察方法	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
6	立ち上がり動作	立ち上がり動作の観察と記録 演習	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
7	バランス	立位バランスの評価方法	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
8	バランス	立位バランスの評価と記録 演習	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
9	歩行	歩行の観察方法	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
10	歩行	歩行の観察と記録 演習	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
11	計測データの解析	計測データの解析演習①	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
12	計測データの解析	計測データの解析演習②	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
13	計測データの解析	計測データの解析演習③	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
14	計測データの解析	計測データの解析演習④	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動学実習	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
玉利 誠、岡 真一郎、坪内 優太、大田 瑞穂					実習	

回数	単元	内 容	担当教員
15	計測データの解析	計測データの解析演習⑤	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
16	計測データの解析	計測データの解析演習⑥	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
17	計測データの解析	計測データの解析演習⑦	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
18	計測データの解析	計測データの解析演習⑧	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
19	計測データの解析	計測データの解析演習⑨	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
20	計測データの解析	計測データの解析演習⑩	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
21	課題発表	解析結果の発表①	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
22	課題発表	解析結果の発表②	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂
23	総括	基本動作のメカニズムと理学療法の関係	玉利誠 岡真一郎 坪内優太 大田瑞穂

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
内科学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

#### 授 業 概 要

代表的な内科疾患（循環器疾患、血液・造血器疾患、アレルギー疾患、膠原病、免疫不全、感染症）について、関連する解剖学・生理学・症候・検査法の基礎的な知識について学ぶ。また、各疾患を有する患者のリハビリテーションを行う際に留意すべきことについて考える。

#### 到 達 目 標

1. 各疾患に関連する器管の解剖と生理について説明することができる
2. 各疾患の代表的な症候について説明することができる
3. 各疾患を有する患者のリハビリテーションを行う際に、留意すべきことについて考える

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学習：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深めること

#### 対 応 D P


#### 評 価

期末試験（100%）

#### 教 科 書

1. PTOT標準理学療法学・作業療法学 内科学 第3版（医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フ ィ ス ア ワ ー 等


#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
内科学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	総論	病態・疾患の総論、内科的診断と治療、各種症候の総論①	有田 武史
2	総論	病態・疾患の総論、内科的診断と治療、各種症候の総論②	有田 武史
3	循環器疾患	循環器系の解剖と生理、主要な症候、検査法、循環器疾患各論①(循環器総論)	有田 武史
4	循環器疾患	循環器系の解剖と生理、主要な症候、検査法、循環器疾患各論②(虚血)	有田 武史
5	循環器疾患	循環器系の解剖と生理、主要な症候、検査法、循環器疾患各論③(心不全)	有田 武史
6	循環器疾患	循環器系の解剖と生理、主要な症候、検査法、循環器疾患各論④(不整脈)	有田 武史
7	血液・造血器疾患	血液の成分と生理、造血と分化、主要な症候、検査法、血液疾患各論①	熊野 孝
8	血液・造血器疾患	血液の成分と生理、造血と分化、主要な症候、検査法、血液疾患各論②	熊野 孝
9	血液・造血器疾患	血液の成分と生理、造血と分化、主要な症候、検査法、血液疾患各論③	熊野 孝
10	アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患、免疫不全症	免疫系の働き、アレルギー疾患、膠原病、リウマチ性疾患、免疫不全症①	藤井 勇佑
11	アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患、免疫不全症	免疫系の働き、アレルギー疾患、膠原病、リウマチ性疾患、免疫不全症②	藤井 勇佑
12	アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患、免疫不全症	免疫系の働き、アレルギー疾患、膠原病、リウマチ性疾患、免疫不全症③	藤井 勇佑
13	感染症	感染症総論(感染症とは、病原体、感染経路、感染部位、生体反応、臨床症状) 感染症各論(細菌感染症、真菌症、ウイルス感染症、寄生虫病、プリオン病)①	岩坂 翔
14	感染症	感染症総論(感染症とは、病原体、感染経路、感染部位、生体反応、臨床症状) 感染症各論(細菌感染症、真菌症、ウイルス感染症、寄生虫病、プリオン病)②	岩坂 翔

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
内科学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	感染症	感染症総論 (感染症とは、病原体、感染経路、感染部位、生体反応、臨床症状) 感染症各論 (細菌感染症、真菌症、ウイルス感染症、寄生虫病、プリオン病) ③	岩坂 翔

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
神経内科学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 浩雄					演習	

#### 授 業 概 要

神経内科領域の臨床症候について、神経解剖学と神経生理学の観点から全般的に学ぶ。また、各症候とリハビリテーションに関連する事項について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 神経系の構造と機能について概説することができる
2. 神経学的診断の意義と検査法について説明することができる
3. 各症候の概念や特徴について説明することができる
4. 各症候とリハビリテーションに関連する事項について理解する

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：テキスト、参考書で該当する内容を調べ、講義で理解する準備をする  
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。

#### 評 価

筆記試験 (100%)

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第5版 (医学書院)
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火、木曜日 (15時～16時) 研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
神経内科学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 浩雄					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	中枢神経系の解剖と機能	神経の発達と加齢、中枢神経・末梢神経の構造と機能、神経の再生と可塑性	山口浩雄
2	神経学的診断法	神経学的診断と評価、神経学的検査法	山口浩雄
3	神経症候学	意識障害、脳死、植物状態、頭痛、めまい、失神の概念・分類・特徴	山口浩雄
4	神経症候学	運動麻痺、錐体路徴候、筋萎縮の概念・分類・特徴	山口浩雄
5	神経症候学	錐体外路徴候、不随意運動の概念・分類・特徴	山口浩雄
6	神経症候学	運動失調、感覚障害の概念・分類・特徴	山口浩雄
7	神経症候学	高次脳機能障害（失語）の概念・分類・特徴	山口浩雄
8	神経症候学	高次脳機能障害（失認）の概念・分類・特徴	山口浩雄
9	神経症候学	高次脳機能障害（失行）の概念・分類・特徴	山口浩雄
10	神経症候学	高次脳機能障害（記憶障害）の概念・分類・特徴	山口浩雄
11	神経症候学	高次脳機能障害（注意障害）の概念・分類・特徴	山口浩雄
12	神経症候学	高次脳機能障害（遂行機能障害）の概念・分類・特徴	山口浩雄
13	神経症候学	構音障害、嚥下傷害の概念・分類・特徴	山口浩雄
14	神経症候学	頭蓋内圧亢進、脳浮腫、脳ヘルニア、髄膜刺激症状の特徴	山口浩雄

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
神経内科学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 浩雄					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	まとめ	山口浩雄

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
整形外科学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
関矢 仁					演習	

#### 授 業 概 要

運動機能や日常生活活動を障害する代表的な整形外科疾患の病因や病態生理、診断と治療の総論を学ぶことにより、整形外科疾患のリハビリテーションを行うために必要な基礎知識を修得する。

#### 到 達 目 標

1. 運動器の構造と機能について説明することができる
2. 整形外科疾患に対する検査と診断の概要について説明することができる
3. 代表的な疾患の概要について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：講義時、関連するテキストの該当箇所を熟読して出席する  
事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。

#### 評 価

筆記試験 (100%)

#### 教 科 書

1. 標準整形外科学 第14版 (医学書院)
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火、木曜日 (15時～16時) 研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
整形外科学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
関矢 仁					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	骨	骨の構造・生理・生化学・発生・成長・維持・病態・病理、骨の修復と再生	関矢仁
2	関節	関節の構造・生理・生化学・病態・病理、関節軟骨の修復と再生	関矢仁
3	筋骨格の構造と痛み	骨格筋および神経の構造と機能、痛みの定義・分類・生理学・評価・治療	関矢仁
4	検査と診断	視診、触診、四肢の計測と筋力評価、神経学的検査、機能評価、画像検査、検体検査、生体検査、他	関矢仁
5	保存療法と手術療法	保存療法の種類（安静、薬物療法、徒手整復、牽引法、固定法、他） 整形外科領域における手術の特徴、特殊な器具を用いた手術（関節鏡、内視鏡、他）	関矢仁
6	軟部組織・骨・関節の感染症	軟部組織感染症、骨髄炎、感染性関節炎、その他の骨関節感染症	関矢仁
7	関節リウマチと類縁疾患	関節リウマチ、脊椎関節炎、リウマチ性多発筋痛、突発性関節炎、線維筋痛症、他	関矢仁
8	変形性関節症と類縁疾患	変形性関節症、結晶誘発性関節炎、神経病性関節症、代謝異常症による関節疾患、他	関矢仁
9	四肢循環障害と阻血壊死性疾患	四肢循環障害をきたす疾患、外傷後血管障害、骨壊死、他	関矢仁
10	先天性骨系統疾患と先天異常症候群	先天性骨系統疾患の概要、先天異常症候群の概要	関矢仁
11	代謝性骨疾患	骨粗鬆症、くる病、骨軟化症、腎性骨ジストロフィー、甲状腺機能異常、成長ホルモン異常、他	関矢仁
12	骨腫瘍	骨腫瘍の分類、原発性良性骨腫瘍、骨腫瘍類似疾患、原発性悪性骨腫瘍、続発性悪性骨腫瘍、他	関矢仁
13	軟部腫瘍	軟部腫瘍の分類、良性軟部腫瘍、悪性軟部腫瘍	関矢仁
14	神経・筋疾患	中枢神経疾患、末梢神経障害、筋疾患	関矢仁

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
整形外科学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
関矢 仁					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	ロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドロームの背景・定義・概念、評価と対策	関矢仁

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神医学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

#### 授 業 概 要

精神疾患や精神障害を有する患者理解に必要な精神医学の基礎について学ぶ。特に臨床上頻度の多い疾患や障害を取り上げ、その症状・診断・治療・リハビリテーションの概要について理解するとともに、精神障害を有する対象者へのチーム医療の在り方について考える。

#### 到 達 目 標

1. 精神障害を生じる代表的な疾患の症状・診断・治療の概要について説明することができる
2. 精神障害を有する対象者への医療的支援について、チーム医療の観点から説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：講義時、関連するテキストの該当箇所を熟読して出席する  
 事後学習：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験 (100%)

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版 (医学書院)
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フ ィ ス ア ワ ー 等


#### 実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神医学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	精神医学の定義と歴史、精神障害の概念と成因、精神障害の分類	
2	精神機能の障害と精神症状	各種障害（意識、注意、見当識、知能、性格、記憶、感情、欲動と意志、自我意識、知覚、思考、病識）、主な精神状態像、神経心理学的症状①	
3	精神機能の障害と精神症状	各種障害（意識、注意、見当識、知能、性格、記憶、感情、欲動と意志、自我意識、知覚、思考、病識）、主な精神状態像、神経心理学的症状②	
4	精神障害の診断と評価	身体的検査法、心理検査法、精神症状の評価、社会生活の評価、主観的QOL評価	
5	脳器質性精神障害	認知症、大脳皮質の変性疾患、大脳基底核の変性疾患、感染症	
6	脳器質性精神障害	外傷、中毒、腫瘍、脱髄性疾患、代謝障害、正常圧水頭症	
7	症状性精神障害 精神作用物質	代謝および栄養障害、膠原病、内分泌障害、アルコール依存、薬物依存	
8	てんかん	てんかんの発作床状と精神症状、てんかんの経過・予後・治療・リハビリテーション	
9	統合失調症	精神症状の特徴、病型、病態、社会生活、経過・予後・治療・リハビリテーション	
10	気分障害	うつ病・躁うつ病・持続性気分障害の経過・予後・治療・リハビリテーション	
11	神経症性障害	不安・恐怖を中心とする障害、ストレス関連障害、解離、身体表現性障害	
12	生理的障害および身体要因 関連障害	摂食障害、睡眠障害	
13	パーソナリティ・行動・性 の障害	パーソナリティ障害の類型と治療、行動障害（賭博・放火・窃盗・抜毛）、性同一性障害、性嗜好障害	
14	知的障害	精神遅滞の概念と分類、頻度の高い精神遅滞の概要・治療・リハビリテーション	

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神医学 I (総論)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	心理的発達障害	特異的発達障害、広汎性発達障害	

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
小児科学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

#### 授 業 概 要

小児を取り巻く諸問題について、医学的および社会的な観点から学ぶ。胎児期から学童期までの成長と発達に関する基礎的事項を理解するとともに、神経・筋・骨格・循環器・呼吸器・消化器・腎泌尿器といった臓器および系統別に疾患の特徴を学ぶ。さらに、理学療法士や作業療法士が携わる機会が増えている重症心身障害児を対象とした療育制度について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 小児の発育および発達について説明できる
2. 小児と関係の深い疾患概要（症状、検査、発生頻度、要因、治療、その他）について説明できる
3. 療育の意義および体制について説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学習：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学 第5版（医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア ワ ー 等


#### 実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
小児科学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	小児の成長・発育と発達	大賀 正一
2	新生児・未熟児	新生児の評価と問題、早産児の神経学的所見、異常症状、中枢神経障害と疾患	李 守永
3	先天異常と遺伝病	遺伝と病気、染色体異常、先天奇型、先天代謝異常症	李 守永
4	神経・筋・骨系疾患	中枢神経疾患、てんかん、発達遅延を伴う疾患、発達障害、脊髄性疾患、末梢神経性疾患、筋疾患、骨・関節疾患①	李 守永
5	神経・筋・骨系疾患	中枢神経疾患、てんかん、発達遅延を伴う疾患、発達障害、脊髄性疾患、末梢神経性疾患、筋疾患、骨・関節疾患②	李 守永
6	循環器疾患	症状と検査、発症頻度と要因、先天性心疾患、後天性心疾患	李 守永
7	感染症	感染症の症状、診断と治療、周産期および新生児・乳児・幼児・学童期の感染症	李 守永
8	内分泌・代謝疾患	視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、性腺疾患、糖尿病、低血糖、肥満の症状・診断・治療	中山 秀樹
9	血液疾患	赤血球系の異常、白血球系の異常、出血性・血栓性疾患の症状・診断・治療	中山 秀樹
10	呼吸器疾患	症状と検査、治療と処置、上気道疾患、下気道疾患	本荘 哲
11	重症心身障害児	重症心身障害児の諸問題（運動障害・知的障害・神経学的障害）、療育体制	本荘 哲
12	免疫・アレルギー疾患、膠原病	免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患および自己炎症性疾患の症状・診断・治療	中山 秀樹
13	腫瘍性疾患、その他	悪性腫瘍の発生頻度、神経芽腫、網膜芽腫の症状・診断・治療	中山 秀樹
14	消化器疾患	口腔疾患、食道疾患、胃・腸疾患、肝・胆道系疾患、その他の疾患	李 守永

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児科学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	腎・泌尿器系、生殖器疾患	尿路感染症、血尿・蛋白尿を主とした腎疾患、生殖器疾患の症状・診断・治療	李 守永

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
臨床心理学概論	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 雄介					演習	

#### 授 業 概 要

心に問題を有する人たちに対する心理学的援助の理論について学ぶ。また、具体的な事例を通して各種理論に基づいた実践方法を学ぶことにより、医療福祉の現場において対峙する対象者の心の問題について関心を深める。

#### 到 達 目 標

1. 臨床心理学の基本的な理論と技法について説明することができる
2. 対人援助における臨床心理学の重要性について理解する
3. 医療福祉の現場で対峙する対象者が抱える心の問題について考える

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学習：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P


#### 評 価

ミニレポート (40%) 定期試験 (60%)

#### 教 科 書

1. 臨床心理学概論
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

授業中に適宜紹介する。

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

質問等は、授業時に行うこと。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
臨床心理学概論	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
山口 雄介					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論	臨床心理学の定義・構造・歴史・実践活動	山口 雄介
2	生物・心理・社会モデル	生物・心理・社会モデルの概要、メンタルヘルスの捉え方、チームアプローチ①	山口 雄介
3	生物・心理・社会モデル	生物・心理・社会モデルの概要、メンタルヘルスの捉え方、チームアプローチ②	山口 雄介
4	クライアント中心療法	クライアント中心療法の理論と実践、クライアント中心療法の適応と限界と発展①	山口 雄介
5	クライアント中心療法	クライアント中心療法の理論と実践、クライアント中心療法の適応と限界と発展②	山口 雄介
6	精神力動的アプローチ	精神分析学の概要、力動的心理療法の種類、精神力動的アプローチの実際①	山口 雄介
7	精神力動的アプローチ	精神分析学の概要、力動的心理療法の種類、精神力動的アプローチの実際②	山口 雄介
8	行動療法	行動主義の概要、学習の原理と行動療法、行動療法の実際	山口 雄介
9	認知行動療法	認知モデルの概要、認知の変容技法、認知療法・認知行動療法の実際①	山口 雄介
10	認知行動療法	認知モデルの概要、認知の変容技法、認知療法・認知行動療法の実際②	山口 雄介
11	システムアプローチ	システム論の概要、システムとしての家族、家族療法・カップルセラピーの実際①	山口 雄介
12	システムアプローチ	システム論の概要、システムとしての家族、家族療法・カップルセラピーの実際②	山口 雄介
13	コミュニティアプローチ	コミュニティ心理学の概要、コミュニティに必要な心理的援助の実際	山口 雄介
14	ナラティブアプローチ	社会構成主義の概要、物語のもつ力、ナラティブアプローチの実際	山口 雄介

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
臨床心理学概論	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
山口 雄介					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	対人援助における臨床心理学の重要性	山口 雄介

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅱ（専門職連携の構築）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
白石 裕子、田中 裕二、竹元 仁美、寺岡 祥子、松本 宗賢、池田 敏子、岩倉 真由美、永崎 孝之、溝田 勝彦、田中 真一、森下 元賀、古後 晴基、中山 広宣、小西 紀一、山根 伸吾、江口 喜久					演習	
授業概要						
<p>保健・医療・福祉に携わる職種の専門性や関連性、チーム医療・ケアの理念と実践方法を理解し、各職種が連携して課題を解決し、患者・利用者中心の専門的サービスを提供する技能を修得する。ICFの概念を活用しチーム医療の中で自らの役割を発見し、メンバーとして協力の必要性を学ぶ。具体的には事例を通して、チームメンバーと協働し他職種のアプローチを尊重しながら、自職種としての意見やその根拠を明確に述べるとともに、各々の役割や責任についても学修する。</p>						
到達目標						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ICFの概念を活用して事例の課題を抽出することができる</li> <li>2. 現実的・実践的な総合サービス計画が立案できる</li> <li>3. 事例の検討を通して、チームビルディングのステップを踏んでチームを形成できる</li> <li>4. チームにおける自らの役割を発見・理解し、メンバーシップを発揮できる</li> <li>5. 他職種の意見を尊重しながら、自職種の意見を根拠に基づいて述べるができる</li> </ol>						
事前学修・事後学修						
<p>事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む          事後学修：当日の該当テーマに沿って復習し、まとめを行いレポートを作成する</p>						
対応DP						
○ 多様化かつ高度化する医療において、専門的な理学療法の実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。						
◎ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の基本的動作能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。						
評価						
課題レポート（100%）						
教科書						
講師資料						
参考文献						
留意事項						
オフィスアワー等						
水曜日（17時～19時）・木曜日（17時～18時）研究室						
実務経験						

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅱ（専門職連携の構築）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員				授業形態	開講形式	
白石 裕子、田中 裕二、竹元 仁美、寺岡 祥子、松本 宗賢、池田 敏子、岩倉 真由美、永崎 孝之、溝田 勝彦、田中 真一、森下 元賀、古後 晴基、中山 広宣、小西 紀一、山根 伸吾、江口 喜久				演習		

回数	単元	内 容	担当教員
1	授業ガイダンス	授業の概要 グループワークの進め方	白石
2	レポート作成	レポートの書き方の基本、課題についてレポートを作成する	松原
3	チーム作りの基礎的知識	ICF（国際生活機能分類）について 講義と事例を用いた演習	白石 全員
4	チームビルディング演習①	チームビルディングの基本演習（役割の明確化）とリフレクション	白石 全員
5	チームビルディング演習②	チームビルディングの基本演習（役割の明確化）とリフレクション	白石 全員
6	チームビルディング演習③	コンフリクトマネジメントについて（講義と演習）	白石 全員
7	チームビルディング演習④	コンフリクトマネジメント演習のリフレクション	白石 全員
8	専門職連携協働の実際	医療と福祉の連携強化の事例検討	白石 全員
9	専門職連携協働の実際	医療と福祉の連携強化の事例検討	白石 全員
10	専門職連携協働の実際	医療と福祉の連携強化の事例検討	白石 全員
11	専門職連携協働の実際	医療と福祉の連携強化の事例検討についてのグループワーク レポート作成	白石 全員
12	チームビルディング演習⑤	コンセンサスビルディング（講義とゲームを用いた演習）	白石 全員
13	チームビルディング演習⑥	コンセンサスビルディング演習のリフレクション	白石 全員
14	チームビルディング演習まとめ	チームビルディング演習体験のまとめ	白石 全員

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
専門職連携教育Ⅱ（専門職連携の構築）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員				授業形態	開講形式	
白石 裕子、田中 裕二、竹元 仁美、寺岡 祥子、松本 宗賢、池田 敏子、岩倉 真由美、永崎 孝之、溝田 勝彦、田中 真一、森下 元賀、古後 晴基、中山 広宣、小西 紀一、山根 伸吾、江口 喜久				演習		
回数	単元	内容			担当教員	
15	総合評価	全体発表会での優秀なグループを選出し、表彰する			白石 全員	

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法評価演習Ⅰ（運動器系）	2023年度	理学療法学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
吉澤 隆志、坪内 優太、岡本 伸弘					演習	

#### 授 業 概 要

1年次に学んだ理学療法評価に必要な検査・測定（血圧測定、形態測定、関節可動域測定、徒手筋力検査）について、演習形式でスキルの修得を目指す。また、検者・被検者の立場から検査・測定を体験することにより、検査・測定時に生じるリスクとその管理について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 血圧測定、形態測定、関節可動域測定、徒手筋力検査の目的と意義について説明することができる
2. 各種検査測定の手法を理解し、健常人を対象に検査・測定を実施することができる
3. 検査・測定実施時の注意点（リスク管理含む）を説明することができる
4. 検査・測定の結果を記録することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと、事前に動画を視聴しておくこと  
事後学修：技術の修得のため、自己学修を行うこと

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（50%）、実技試験（50%）

#### 教 科 書

1. PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学（羊土社）
2. 新・徒手筋力検査法（協同医書出版社）

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日（13時～14時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法評価演習Ⅰ（運動器系）	2023年度	理学療法学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
吉澤 隆志、坪内 優太、岡本 伸弘					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	評価総論	形態測定・関節可動域測定・徒手筋力検査の目的と意義、検査測定に必要な基礎知識の確認	吉澤隆志 坪内優太
2	バイタルサイン	バイタルサインとリスク管理、血圧・脈拍の測定演習	吉澤隆志 坪内優太
3	形態測定	形態測定演習（四肢長）①	吉澤隆志 坪内優太
4	形態測定	形態測定演習（周径）②	吉澤隆志 坪内優太
5	関節可動域測定	関節可動域測定演習（上肢）①	吉澤隆志 坪内優太
6	関節可動域測定	関節可動域測定演習（上肢）②	吉澤隆志 坪内優太
7	関節可動域測定	関節可動域測定演習（上肢）③	吉澤隆志 坪内優太
8	関節可動域測定	関節可動域測定演習（下肢）①	吉澤隆志 坪内優太
9	関節可動域測定	関節可動域測定演習（下肢）②	吉澤隆志 坪内優太
10	関節可動域測定	関節可動域測定演習（下肢）③	吉澤隆志 坪内優太
11	関節可動域測定	関節可動域測定演習（頭頸部・体幹）①	吉澤隆志 坪内優太
12	関節可動域測定	関節可動域測定演習（頭頸部・体幹）②	吉澤隆志 坪内優太
13	形態測定・関節可動域測定のまとめ	形態測定・関節可動域測定のスキル確認①	吉澤隆志 坪内優太
14	形態測定・関節可動域測定のまとめ	形態測定・関節可動域測定のスキル確認②	吉澤隆志 坪内優太

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法評価演習Ⅰ（運動器系）	2023年度	理学療法学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
吉澤 隆志、坪内 優太、岡本 伸弘					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
15	徒手筋力検査	基本説明	吉澤隆志 坪内優太
16	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（肩関節）①	吉澤隆志 坪内優太
17	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（肩関節）②	吉澤隆志 坪内優太
18	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（肘関節・手関節）①	吉澤隆志 坪内優太
19	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（手指）① 徒手筋力検査演習（肩甲帯）①	吉澤隆志 坪内優太
20	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（肩甲帯）②	吉澤隆志 坪内優太
21	徒手筋力検査	演習の復習①	吉澤隆志 坪内優太
22	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（股関節）①	吉澤隆志 坪内優太
23	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（股関節）②	吉澤隆志 坪内優太
24	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（膝関節・足関節）①	吉澤隆志 坪内優太
25	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（膝関節・足関節）②	吉澤隆志 坪内優太
26	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（頭頸部・顔面）	吉澤隆志 坪内優太
27	徒手筋力検査	徒手筋力検査演習（体幹）	吉澤隆志 坪内優太
28	徒手筋力検査	演習の復習②	吉澤隆志 坪内優太

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法評価演習Ⅰ（運動器系）	2023年度	理学療法学科	2単位	60時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
吉澤 隆志、坪内 優太、岡本 伸弘					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
29	徒手筋力検査のまとめ	徒手筋力検査のスキル確認①	吉澤隆志 坪内優太
30	徒手筋力検査のまとめ	徒手筋力検査のスキル確認②	吉澤隆志 坪内優太

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
理学療法評価演習Ⅱ（神経系）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
玉利 誠、岡 真一郎、澤田 誠					演習	

#### 授 業 概 要

1年次に学んだ理学療法評価に必要な検査（脳神経検査、反射検査、感覚検査、協調性検査、筋緊張検査、疼痛検査、バランス検査）について、演習形式でスキルの修得を目指す。また、検者および被検者の立場から検査・測定を体験することにより、検査・測定時に生じるリスクとその管理について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 脳神経検査、反射検査、感覚検査、協調性検査、筋緊張検査、疼痛検査、バランス検査の目的と意義について説明することができる
2. 各種検査の手法を理解し、健常人を対象に検査を実施することができる
3. 検査時の注意点（リスク管理含む）を説明することができる
4. 検査の結果を記録することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
事後学修：技術の修得のため、自己学修を行うこと

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（70%）、実技試験（30%）

#### 教 科 書

1. 病気がみえるvol.7 脳・神経（メディックメディア）
2. PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学（羊土社）
3. 理学療法評価学 障害別・関節別評価のポイントと実際（文光堂）

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア フ ー 等

月曜日（16時～17時）・火、木曜日（11時～12時）研究室

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法評価演習Ⅱ（神経系）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
玉利 誠、岡 真一郎、澤田 誠					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	反射検査	反射のメカニズム、反射検査の目的と意義、反射検査演習	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
2	反射検査	反射検査演習①	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
3	反射検査	反射検査演習②	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
4	感覚検査	感覚（表在・深部）のメカニズム、感覚検査の目的と意義	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
5	感覚検査	感覚検査演習	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
6	疼痛検査	疼痛のメカニズム、疼痛検査の目的と意義、疼痛検査演習	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
7	脳神経検査	脳神経の構造と機能、脳神経検査の目的と意義	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
8	脳神経検査	脳神経検査演習①	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
9	脳神経検査	脳神経検査演習②	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
10	協調性検査	協調性のメカニズム、協調性検査の目的と意義	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
11	協調性検査	協調性検査演習	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
12	筋緊張検査	筋緊張のメカニズム、筋緊張検査の目的と意義	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
13	筋緊張検査	筋緊張検査演習	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠
14	バランス検査	バランスのメカニズム、バランス検査の目的と意義、バランス検査演習	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法評価演習Ⅱ（神経系）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
玉利 誠、岡 真一郎、澤田 誠					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	脳神経検査・反射検査・感覚検査・協調性検査・筋緊張検査・疼痛検査・バランス検査のスキル確認	玉利 誠 岡 真一郎 澤田 誠

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
物理療法 I (温熱・寒冷・水治・牽引)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
岡 真 一 郎					演 習	

#### 授 業 概 要

物理療法（温熱療法、寒冷療法、水治療法、牽引療法）の原理と生理学的作用、疾患の適応、禁忌について学ぶとともに、演習を通して各種物理療法機器の使用方法を修得する。

#### 到 達 目 標

1. 物理療法の定義と分類について説明できる。
2. 物理療法（温熱療法、寒冷療法、水治療法、牽引療法）の原理と生理学的作用、疾患の適応、禁忌について説明できる。
3. 物理療法（温熱療法、寒冷療法、水治療法、牽引療法）機器を使用できる。

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学修：教科書と配布資料による復習を行うこと

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。  
 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（60%）、実技試験（30%）、演習レポート（10%）

#### 教 科 書

1. Crosslink理学療法学テキスト 物理療法（メジカルビュー）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

授業については講義と演習を組み合わせる効果的に実施する。演習ではチェックリストに基づいて実技を実施して演習レポートを提出する。そのため、必ず実技が行える服装で参加すること。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月～金曜日（12時～13時）、岡：2809研究室、大田：共同研究室

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理療法 I (温熱・寒冷・水治・牽引)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
岡 真一郎					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	物理療法総論	物理療法の定義と分類、鎮痛のメカニズムと効果の特徴	岡真一郎 大田瑞穂
2	温熱療法	温熱療法総論、温熱療法（ホットパック、パラフィン）の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
3	演習1	温熱療法（ホットパック、パラフィン）の演習	岡真一郎 大田瑞穂
4	演習2	温熱療法（ホットパック、パラフィン）の演習	岡真一郎 大田瑞穂
5	温熱療法	温熱療法（極超短波・超短波）の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
6	超音波療法	超音波療法の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
7	演習3	温熱療法（極超短波・超短波）、超音波の演習	岡真一郎 大田瑞穂
8	寒冷療法	寒冷療法（アイスパック、コールドパック、クリッカー）の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
9	演習4	寒冷療法（アイスパック、コールドパック、クリッカー）の演習	岡真一郎 大田瑞穂
10	水治療法	水治療法（気泡浴・渦流浴）の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
11	牽引療法	牽引療法（頸椎牽引・腰椎牽引）の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
12	演習5	水治療法（気泡浴・渦流浴）、牽引療法（頸椎牽引・腰椎牽引）の演習	岡真一郎 大田瑞穂
13	演習6	水治療法（気泡浴・渦流浴）、牽引療法（頸椎牽引・腰椎牽引）の演習	岡真一郎 大田瑞穂
14	演習7	物理療法1演習まとめ	岡真一郎 大田瑞穂

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理療法 I (温熱・寒冷・水治・牽引)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
岡 真一郎					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	演習8	物理療法ケーススタディ	岡真一郎 大田瑞穂

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
運動療法学	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
永崎 孝之、齊藤 貴文					講義	

#### 授 業 概 要

理学療法士が対象とする代表的な機能障害の改善を目的とした基礎的な運動療法について、その理論や評価のポイント、適応と禁忌などについて学ぶ。また、一部演習を取り入れ、各種運動療法技術を体験する。

#### 到 達 目 標

1. 各種運動療法の目的を説明することができる
2. 各種運動療法の基本的な実施方法を理解する
3. 各種運動療法を行うための評価のポイントや禁忌について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：テキスト、参考書で該当する内容を調べ、講義で理解する準備をする  
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。  
 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

各单元ごとで実施する小テスト（40％）、定期試験（60％）  
 受験資格：授業総回数（15回）の2/3以上（6回の欠席で失効）を有すること

#### 教 科 書

1. 運動療法学テキスト 改訂第3版（南江堂）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

事前に予約することで急なキャンセル以外は対応します。  
 また予約なしでも在室時で対応可能な場合も受け付けます。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
運動療法学	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
永崎 孝之、齊藤 貴文					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	運動療法 総論1	運動療法の定義、運動療法の目的（対象）と技術 理学療法における運動療法の位置づけ、運動療法の歴史	永崎孝之 齊藤貴文
2	運動療法 総論2	運動の種類とその効果 運動が身体に及ぼす影響	永崎孝之 齊藤貴文
3	関節可動域運動1	関節の機能と障害 関節可動域制限の分類、関節可動域制限に対する運動療法	齊藤貴文 永崎孝之
4	関節可動域運動2	他動的関節可動域運動	齊藤貴文 永崎孝之
5	関節可動域運動3	ストレッチング・関節モビライゼーション	齊藤貴文 永崎孝之
6	筋力増強運動1	筋の機能と障害 筋力低下の分類、筋力低下に対する運動療法	齊藤貴文 永崎孝之
7	筋力増強運動2	筋力増強運動	齊藤貴文 永崎孝之
8	持久力運動	筋持久力運動、全身持久力運動	齊藤貴文 永崎孝之
9	呼吸理学療法1	呼吸の機能と障害 呼吸障害の分類、呼吸障害に対する運動療法（理学療法）	永崎孝之 齊藤貴文
10	呼吸理学療法2	呼吸理学療法	永崎孝之 齊藤貴文
11	神経筋再教育1	神経の機能と障害 運動麻痺の分類、運動麻痺に対する運動療法	永崎孝之 齊藤貴文
12	神経筋再教育2	神経筋再教育（中枢性・末梢性）	永崎孝之 齊藤貴文
13	各種治療体操1	姿勢障害・協調性障害・バランス障害・リラクゼーション	齊藤貴文 永崎孝之
14	各種治療体操2	その他の治療体操	齊藤貴文 永崎孝之

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
運動療法学	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
永崎 孝之、齊藤 貴文					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	疼痛理学療法	ペインリハビリテーション	齊藤貴文 永崎孝之

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
装具学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
遠藤 正英					演習	

#### 授 業 概 要

装具の定義と目的について理解するとともに、上肢・下肢・体幹の各種装具の構造と機能について学ぶ。また、各種疾患に適応となる装具の種類やチェックアウト、リハビリテーションにおける装具療法について学ぶとともに、医療用装具や医療用仮装具、更正用装具などの給付制度について理解する。

#### 到 達 目 標

1. 装具の定義と目的、装具固定のメカニズムや装具制作の流れについて理解する
2. 各種装具の部品の構造と機能について説明することができる
3. 各種疾患に適応する上肢装具・体幹装具・下肢装具の種類や機能について説明できる
4. 各種装具のチェックアウト項目と方法を説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学習：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学習：授業の内容について理解できるよう、整理しておくこと

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）

#### 教 科 書

1. 理学療法学テキストVI 義肢装具学第2版（神陵文庫）
2. 脳卒中の装具のミカタ（医学書院）
3. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フ ィ ス ア ワ ー 等


#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
装具学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
遠藤 正英					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者の障害から義肢装具の必要性を学ぶ</li> <li>義肢装具の定義と目的を理解する</li> </ul>	遠藤正英
2	総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>義肢装具クリニックの必要性和意味を理解する</li> </ul>	遠藤正英
3	総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>義肢装具の支給体系を理解する</li> </ul>	遠藤正英
4	総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>義肢装具の作製過程を理解する</li> </ul>	遠藤正英
5	総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>義肢装具の材料の特性を理解する</li> </ul>	遠藤正英
6	総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>義肢装具におけるバイオメカニクスを理解する</li> </ul>	遠藤正英
7	義肢総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>切断と断端の定義と社会的背景を理解する</li> <li>切断の目的と原因、切断手技を理解する</li> </ul>	遠藤正英
8	義肢総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>断端管理について理解する</li> <li>切断の合併症を理解する</li> </ul>	遠藤正英
9	義手	<ul style="list-style-type: none"> <li>装飾用義手の使用目的を理解する</li> <li>能動用義手の構造と使用目的を理解する</li> </ul>	遠藤正英
10	義手	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業用義手の構造と使用目的を理解する</li> <li>筋電義手の構造と使用目的を理解する</li> </ul>	遠藤正英
11	義足	<ul style="list-style-type: none"> <li>義足の種類を理解する。</li> </ul>	遠藤正英
12	義足	<ul style="list-style-type: none"> <li>義足の構造と構成要素を理解する。</li> <li>義足の装着練習を理解する。</li> </ul>	遠藤正英
13	義足	<ul style="list-style-type: none"> <li>装具の定義と目的を理解する</li> <li>固定の原理を理解する</li> </ul>	遠藤正英
14	装具総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>素材の違いを理解する</li> <li>装具の機能（遊動、制限、制動、補助）を理解する</li> </ul>	遠藤正英

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
装具学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
遠藤 正英					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	上肢装具	・上肢装具の分類を理解する	遠藤正英

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生活環境論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
溝田 勝彦					講義	

#### 授 業 概 要

対象者の居住環境の制約を改善するために必要な基礎知識を修得することを目的として、住宅設計の基本や増改築に関する知識、福祉用具の知識、各種疾患特性に応じた適切な住環境整備の知識、住環境整備に関する行政や福祉制度の知識について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 地域社会の居住環境について説明することができる
2. 福祉用具の種類と法制度について説明することができる
3. 住宅改修及び福祉用具導入における理学療法士の役割について説明することができる
4. 高齢者・障害者の生活継続のために適切な住環境の整備について提案することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：テキスト、参考書で該当する内容を調べ、講義で理解する準備をする  
事後学修：教科書と配布資料による復習を行うこと

#### 対 応 D P

- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。
- 多様化かつ高度化する医療において、専門的な理学療法の実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

#### 評 価

筆記試験（100%）

#### 教 科 書

1. PT. OTのための住環境整備論 第2版（三輪書店）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日（11時～12時）・火、金曜日（15時～16時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生活環境論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
溝田 勝彦					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論	住環境整備の意義	溝田勝彦
2	住環境整備の進め方	バリアフリーとユニバーサルデザイン、住環境整備の進め方	溝田勝彦
3	住環境整備の進め方	住環境整備における理学療法士の役割	溝田勝彦
4	住環境整備と法制度	介護保険制度における住環境整備	溝田勝彦
5	福祉用具	福祉用具の種類と機能①	溝田勝彦
6	福祉用具	福祉用具の種類と機能②	溝田勝彦
7	住環境整備の実際	疾患別にみた住環境整備の実際①	溝田勝彦
8	住環境整備の実際	疾患別にみた住環境整備の実際①	溝田勝彦

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
福祉住環境論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
溝田 勝彦					講義	

#### 授 業 概 要

各種福祉用具の名称や機能を理解するとともに、実際の体験を通して福祉用具の役割や意義について学ぶ。また、一部演習を通して、対象者の身体機能や生活環境の評価や評価結果に基づいた適切な福祉用具の選定方法について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 各種福祉用具の機能について説明することができる
2. 対象者の身体機能や生活環境を評価する方法について説明することができる
3. 対象者の身体機能や生活環境に基づいて適切な福祉用具を選定することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：テキスト、参考書で該当する内容を調べ、講義で理解する準備をする  
事後学修：教科書と配布資料による復習を行うこと

#### 対 応 D P

- ◎ 多様化かつ高度化する医療において、専門的な理学療法の実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。  
○ 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の基本的動作能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

#### 評 価

課題レポート (100%)

#### 教 科 書

1. 日常生活活動学 (ADL) 第2版 (九州神陵文庫)
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月曜日 (11時～12時) ・ 火、金曜日 (15時～16時) 研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
福祉住環境論	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	2年前期
担当教員					授業形態	開講形式
溝田 勝彦					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論	各種福祉用具の種類と機能	溝田勝彦
2	福使用具の実際	各種福祉用具の体験①	溝田勝彦
3	福使用具の実際	各種福祉用具の体験②	溝田勝彦
4	福使用具の実際	各種福祉用具の体験③	溝田勝彦
5	福祉用具の選択	PBL①	溝田勝彦
6	福祉用具の選択	PBL②	溝田勝彦
7	福祉用具の選択	PBL③	溝田勝彦
8	総括	対象者の住環境福祉と理学療法士の関係	溝田勝彦

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
韓国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
					演習	

#### 授 業 概 要

韓国語Ⅰでの学びを基に、ここでのポイントは臨地の様々な現場で患者との韓国語によるコミュニケーションを実現するための基礎となる慣用表現を学ぶ。韓国語の場合は平音・濃音・激音の発音トレーニングが重要なので、発音練習の中で、フレーズ、イントネーションなども知り、基本的単語と簡単な構文を駆使した会話が成立することを目指す。医療者として実務で話す機会が多い内容で構成し、実務に役立つ会話ができるように学修する。

#### 到 達 目 標

1. 韓国語で症状に関する会話ができる
2. 韓国語で入院中の生活に関する会話ができる
3. 韓国語で退院の案内と留意点が説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと  
 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める

#### 対 応 D P

- 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。

#### 評 価

筆記試験（50%）、リスニング試験（50%）

#### 教 科 書

講師資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア フ ァ ー 等

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅱ (医療会話)	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
					演習	

回数	単元	内容	担当教員
1	身体の基本部位	授業ガイダンス 身体の基本部位の名称	郭 路鶯
2	心配しないで걱정하지 마세요	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
3	どうしましょうか 어떻게 도와 드릴까요?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
4	いかがですか 기분이 어때요?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
5	いくつかの診察の質問 이 의료 설문지를 작성해 주시겠습니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
6	エレベーターでどうぞ 엘리베이터를 타십시오	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
7	何か症状はありますか 증상이 무엇입니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
8	どこが痛いですか 어디가 아픈니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
9	どれくらい症状が続いてま すか 이러한 증상이 얼마나 오래 있었습니까?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
10	How long have you had these symptoms? 你什么时候开始头痛?	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
11	採血します 혈액 샘플을 채취하려고 해 요	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
12	あした手術です 수술은 내일이 될것입니 다。	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
13	3種類の薬があります 약에는 세 종류가 있습니다	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯
14	心配事がありますか걱정거 리가 있나요	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路鶯

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
韓国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	뭔가 걱정거리가 있나요 총 정리	リーディング、リスニング演習、会話練習	郭 路 篤

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
黄冬柏					演習	

#### 授業概要

中国語Ⅰでの学びを基に、ここでのポイントは臨地の様々な現場で患者との中国語によるコミュニケーションを実現するための基礎となる慣用表現を学ぶ。中国の場合は四声の発音が重要なので、発音練習の中でアクセント、フレーズ、イントネーションなども知り、基本的単語と簡単な構文を駆使した会話が成立することを目指す。健康課題がある人に対し、医療者として実務で話す機会が多い内容で構成し、実務に役立つ会話ができるように学修する。

#### 到達目標

1. 中国語で症状に関する会話ができる
2. 中国語で入院中の生活に関する会話ができる
3. 中国語で退院の案内と留意点が説明できる

#### 事前学修・事後学修

事前学修：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む  
 事後学修：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする

#### 対応DP

- ◎ 幅広い教養と人間愛（倫理観）を身につけ、主体的に学修する態度を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評価

- 1) 授業到達目標への到達努力の評価
- 2) 最終到達度の評価

#### 教科書

黄冬柏『やさしい中国語10課』 中国書店

#### 参考図書

芦益平・黄冬柏『漢語生活会話』 白帝社

#### 留意事項

朗読や練習など、日常の学習が非常に大切なので、必ず予習と復習を行うこと。中国語のリズムや抑揚を体得するには、ヒアリングが一番重要なので、教科書に付いているCDを繰り返し聴くこと。授業中は積極的に声を出して練習すること。

#### オフィスアワー等

#### 実務経験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
黄 冬 柏					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	身体の基本部位	授業ガイダンス 身体の基本部位の名称	黄 冬 柏
2	心配しないで 別緊張	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
3	どうしましょうか 你需要帮忙吗？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
4	いかがですか 你哪儿不舒服？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
5	いくつかの診察の質問 请您填一下问诊表	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
6	エレベーターでどうぞ 乘坐电梯去到诊断室吧。	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
7	何か症状はありますか 你有什么症状？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
8	どこが痛いですか 你那儿痛？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
9	どれくらい症状が続いてま すか 这种状况有几天了？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
10	いつから頭が痛くなりました か 你什么时候开始头痛？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
11	採血します 抽血检查一下	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
12	あした手術です 明天要做手术	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
13	3種類の薬があります 有三种药	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏
14	心配事がありますか 你还有什么不明白的地方？	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
中国語Ⅱ（医療会話）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
黄 冬 柏					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ 総合練習	リーディング、リスニング演習、会話練習	黄 冬 柏

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
内科学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
北園 孝成					演習	

#### 授 業 概 要

代表的な内科疾患（呼吸器疾患、消化管疾患、肝胆膵疾患、代謝性疾患、内分泌疾患、腎臓泌尿器疾患）について、関連する解剖学・生理学・症候・検査法などの基礎的な知識について学ぶ。また、各疾患を有する患者のリハビリテーションを行う際に、留意すべきことについて考える。

#### 到 達 目 標

1. 各疾患に関連する器管の解剖と生理について説明することができる
2. 各疾患の代表的な症候について説明することができる
3. 各疾患を有する患者のリハビリテーションを行う際に、留意すべきことについて考える

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学修：テキスト、講義資料、参考資料などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深めること

#### 対 応 D P


#### 評 価

期末試験（100%）

#### 教 科 書

1. PTOT標準理学療法学・作業療法学 内科学 第3版（医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フ ィ ス ア フ ー 等


#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
内科学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
北園 孝成					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	呼吸器疾患	肺の解剖と生理、主要な症候、検査所見、呼吸器疾患各論①	山岡 賢俊
2	呼吸器疾患	肺の解剖と生理、主要な症候、検査所見、呼吸器疾患各論②	山岡 賢俊
3	呼吸器疾患	肺の解剖と生理、主要な症候、検査所見、呼吸器疾患各論③	山岡 賢俊
4	消化管疾患	消化管の解剖と生理、主要な症候、検査法、消化管疾患各論①	川崎 啓祐
5	消化管疾患	消化管の解剖と生理、主要な症候、検査法、消化管疾患各論②	川崎 啓祐
6	消化管疾患	消化管の解剖と生理、主要な症候、検査法、消化管疾患各論③	川崎 啓祐
7	肝胆膵疾患	肝臓・胆道・膵臓の解剖と生理、検査法、肝胆膵疾患各論①	蒲地 浩文
8	肝胆膵疾患	肝臓・胆道・膵臓の解剖と生理、検査法、肝胆膵疾患各論②	蒲地 浩文
9	肝胆膵疾患	肝臓・胆道・膵臓の解剖と生理、検査法、肝胆膵疾患各論③	蒲地 浩文
10	代謝性疾患	代謝調節の仕組み、代謝性疾患各論①	大隈 俊明
11	代謝性疾患	代謝調節の仕組み、代謝性疾患各論②	大隈 俊明
12	内分泌疾患	内分泌系とホルモンの解剖と生理、検査法、内分泌疾患各論①	石井 正夫
13	内分泌疾患	内分泌系とホルモンの解剖と生理、検査法、内分泌疾患各論②	石井 正夫
14	腎疾患	腎臓の解剖と生理、主要な症候、検査法、腎疾患各論	恒吉 章治

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
内科学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
北園 孝成					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	泌尿器疾患	泌尿器の解剖と生理、主要な症候、検査法、泌尿器疾患各論	吉田 毅

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
神経内科学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 浩雄					演習	

#### 授 業 概 要

神経内科領域の疾患について理解を深めることを目的に、神経内科学Ⅰで学んだ知識に基づき、各神経疾患の病因・症状・診断・治療・予後について学ぶ。また、各疾患とリハビリテーションに関連する事項について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 各疾患に関係する神経系の構造と機能について説明することができる
2. 各疾患の病因・病状・診断・治療・予後について説明することができる
3. 各疾患とリハビリテーションに関連する事項について理解する

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：テキスト、参考書で該当する内容を調べ、講義で理解する準備をする  
事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。

#### 評 価

筆記試験（100%）

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第5版（医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火、木曜日（15時～16時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
神経内科学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 浩雄					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	脳血管障害	脳血管障害の病因・症状・診断・治療・予後①	山口浩雄
2	脳血管障害	脳血管障害の病因・症状・診断・治療・予後②	山口浩雄
3	認知症	認知症の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
4	脳腫瘍	脳腫瘍の病因・症状・診断・治療・予後	福山幸三
5	外傷性脳損傷	外傷性脳損傷の病因・症状・診断・治療・予後	福山幸三
6	脊髄疾患	脊髄疾患の病因・症状・診断・治療・予後	整形外科医
7	変性疾患と脱髄疾患	変性疾患と脱髄疾患の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
8	錐体外路の変性疾患	錐体外路の変性疾患の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
9	末梢神経障害	末梢神経障害の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
10	てんかん	てんかんの病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
11	筋疾患	筋疾患の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
12	感染性疾患	感染性疾患の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
13	中毒性疾患と栄養欠乏	中毒性疾患および栄養欠乏による神経疾患の病因・症状・診断・治療・予後	山口浩雄
14	小児神経疾患	脳性麻痺、二分脊椎、ダウン症候群、先天性代謝異常の病因・症状・診断・治療・予後	小児科医

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
神経内科学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
山口 浩雄					演習	

回 数	単 元	内 容	担 当 教 員
15	合併症	廃用症候群、誤用症候群、排尿障害、性機能障害	山口浩雄

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
整形外科学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
関矢 仁					演習	

#### 授 業 概 要

整形外科学Ⅰ（総論）で学んだ知識を踏まえ、人体の各関節における代表的な疾患や外傷に関する病態や診断、治療方法についてより詳細に学ぶ。また、各関節疾患のリハビリテーションを行うにあたり、留意すべき事項について理解する。

#### 到 達 目 標

1. 各関節における代表的な疾患の病態について説明することができる
2. 各関節疾患における検査および治療について説明することができる
3. 各関節疾患のリハビリテーションを行う際に留意すべき事項について理解する

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：講義時、関連するテキストの該当箇所を熟読して出席する  
 事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うこと

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。

#### 評 価

筆記試験（100%）

#### 教 科 書

1. 標準整形外科学 第14版（医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月、火、木曜日（15時～16時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
整形外科学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
関矢 仁					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	肩関節	肩関節の機能解剖、診察・検査法、肩関節の疾患（先天異常、不安定症、変性疾患、関節症、スポーツによる障害、他）	半仁田 勉
2	肘関節	肘関節の機能解剖、診察・検査法、肘関節の疾患（小児に好発する疾患、成人以降に好発する疾患、先天異常、他）	半仁田 勉
3	股関節	股関節の機能解剖、診察・検査法、股関節の疾患（小児・成人の疾患）と手術	半仁田 勉
4	手関節と手	手の機能解剖、診察・検査法、手の疾患（外傷、拘縮と変形、炎症性疾患、骨壊死、神経麻痺、循環障害、CRPS、腫瘍、先天異常、他）	関矢 仁
5	頸椎	脊柱の機能解剖、診察・検査法、頸椎疾患（斜頸、先天異常、変性疾患、炎症性疾患、破壊性疾患）	関矢 仁
6	胸郭・胸椎・腰椎	胸郭・胸椎・腰椎の機能解剖、診察・検査法、疾患（先天異常、変形、変性疾患、分離症、すべり症、炎症性疾患、腫瘍、他）	半仁田 勉
7	外傷総論	外傷の概要、捻挫と脱臼、骨折	半仁田 勉
8	軟部組織損傷	皮膚・皮下組織損傷、筋・腱損傷、血管損傷、靭帯損傷、区画症候群、捻挫症候群	半仁田 勉
9	膝関節	膝関節の機能解剖、診察・検査法、膝関節の疾患（半月板損傷、靭帯損傷、膝外大腿関節障害、関節症、炎症性疾患、腫瘍、他）	関矢 仁
10	足関節と足	足関節の機能解剖、診察・検査法、足関節の疾患（足部変形、麻痺、過剰骨障害、絞扼性神経障害、骨端症、無腐生壊死、外傷後足障害、他）	関矢 仁
11	骨折・脱臼	肩関節・上腕骨骨幹部・肘関節・前腕部・手の骨折と脱臼	半仁田 勉
12	骨折・脱臼	胸郭・骨盤・股関節・大腿骨骨幹部・膝関節・下腿骨・足関節・足部の骨折と脱臼	半仁田 勉
13	脊椎・脊髄損傷	脊椎と脊髄の解剖、脊髄損傷、脊椎損傷	半仁田 勉
14	末梢神経損傷	末梢神経損傷の病態・原因・診断・治療、代表的な末梢神経損傷	関矢 仁

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
整形外科学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
関矢 仁					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	スポーツと整形外科	代表的なスポーツ外傷とスポーツ障害	関矢 仁

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神医学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
西村 良二					演習	

#### 授 業 概 要

精神医学Ⅰで学んだ精神疾患や精神障害に関する基礎的知識に基づき、ライフサイクルも含めたより広い社会的支援の観点から精神障害を有する対象者へのアプローチについて学ぶ。また、医療施設のみならず、学校や地域社会におけるメンタルヘルス問題について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 精神障害を有する対象者への医療的支援および社会的支援の概要について説明することができる
2. ライフサイクルにおける精神医学の特徴について説明することができる
3. 学校や社会におけるメンタルヘルスの問題について説明することができる。

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：講義時、関連するテキストの該当箇所を熟読して出席する  
 事後学修：講義当日の配布資料やノートを読み返し、学びを深める

#### 対 応 D P


#### 評 価

レポート(20%) 定期試験 (80%)

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版（医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア ワ ー 等


#### 実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
精神医学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
西村 良二					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	コンサルテーション・リエゾン精神医学	西村 良二
2	心身症	心身医学の概念、心身症の定義と概要、心身症の診断と治療①	
3	心身症	心身医学の概念、心身症の定義と概要、心身症の診断と治療②	
4	ライフサイクルにおける精神医学	小児期・青年期の精神医学	
5	ライフサイクルにおける精神医学	成人期の精神医学	
6	ライフサイクルにおける精神医学	初老期および老年期の精神医学	
7	精神障害の治療とリハビリテーション	治療とリハビリテーションの目標・方法・種類・場・流れ	
8	精神障害の治療とリハビリテーション	薬物療法（向精神薬療法）	
9	精神障害の治療とリハビリテーション	身体療法と精神療法、社会的治療とリハビリテーション	
10	精神科保健医療と福祉	精神障害者の処遇の歴史、精神保健福祉法、障害者総合支援法	
11	精神科保健医療と福祉	精神科医療の現状と課題	
12	精神科保健医療と福祉	職業リハビリテーション、障害者雇用・就労の形態、雇用政策	
13	社会・文化とメンタルヘルス	精神の病と社会、学校におけるメンタルヘルス、職場のメンタルヘルス	
14	社会・文化とメンタルヘルス	家庭のメンタルヘルス、社会現象とメンタルヘルス	

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
精神医学Ⅱ（各論）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
西村 良二					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	定期試験テスト	

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
大中 佳三					演習	

#### 授 業 概 要

加齢による身体の各系および器官の機能的変化について学ぶとともに、高齢者に多い疾患や症候の概要を理解し、健康長寿のための医療的および社会的アプローチの重要性について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 加齢による身体機能の変化について説明することができる
2. 高齢者に多い疾患の概要について説明することができる
3. 高齢者を取り巻く社会福祉について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと

事後学修：教科書と配布プリントによる復習を行うとともに、各回の講義終了時に指示される課題についてまとめること

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（80%）、各回の課題レポート（20%）

#### 教 科 書

1. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 老年学 第5版（医学書院）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア ワ ー 等


#### 実 務 経 験

--

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
大中 佳三					演習	

回数	単元	内 容	担当教員
1	老化と老年病の考え方	老化の定義と機序、高齢者の定義と分類、平均寿命・平均余命・健康寿命、老年病の成り立ち	大中 佳三
2	加齢に伴う生理機能の変化	高齢者の生理機能の特徴、感覚機能・自律機能・高次脳機能の加齢変化	大中 佳三
3	加齢に伴う運動機能の変化	高齢者の運動機能の特徴、神経系・骨格筋の加齢変化	大中 佳三
4	高齢者に多い症候と老年症候群	老年症候群の概念、代表的な老年症候群（各種症候と障害）	大中 佳三
5	老化と循環器疾患	血圧異常、不整脈、虚血性心疾患、弁膜症、心筋・心疾患、心不全、フレイルと循環器疾患、高齢者の血管疾患	山口 浩雄
6	老化と呼吸器疾患	呼吸器感染症、誤嚥性肺炎、肺癌、閉塞性肺疾患、間質性肺炎	山岡 賢俊
7	老化と消化器疾患	消化器癌、上部・下部消化管疾患、肝疾患、胆道・膵疾患	寺坂 禮治
8	老化と神経疾患	脳血管障害、パーキンソン病、びまん性Lewy小体型認知症、血管障害性パーキンソニズム、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、末梢神経障害	山口 浩雄
9	老化と内分泌疾患	糖尿病、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、原発性副腎不全	石井 正夫
10	老化と血液・免疫疾患	血液疾患（AML・MDS・リンパ腫・他）、膠原病（RA・PMR・GCA・他）	田口 文博
11	老化と運動器疾患	骨粗鬆症、変形性関節症、腰部脊柱管狭窄症、後縦靭帯骨化症、関節リウマチ	半仁田 勉
12	老化と感染症	感染症の特徴と原因、各臓器の特徴的な感染症	鄭 湧
13	老化と眼疾患	加齢白内障、緑内障、糖尿病性網膜症、網膜動脈閉塞症、加齢黄斑性症	村田 浩司
14	高齢者福祉と社会資源	高齢者医療の特徴と諸問題、高齢者のリハビリテーションを取り巻く社会資源	大中 佳三

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
老年学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
大中 佳三					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	まとめ 老年医学とリハビリテーション	大中 佳三

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
救急救命医学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
角 秀 秋					講義	

#### 授 業 概 要

救急医療に関する基礎的な知識（救急医療体制、医学的処置）について理解を深めるとともに、救急疾患の概要（病態、診断および治療）を学ぶ。また、救急医療の現場における理学療法士・作業療法士の役割について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 救急医療体制と法的諸問題、リハビリテーションの役割について説明することができる
2. 救急初療で行われる各種処置の概要について理解する
3. 救急疾患の病態、治療の概要について理解する
4. 患者急変時の初期対応、理学療法士・作業療法士が関わる救急救命処置について理解する

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：事前に示された資料を予習する  
 事後学修：学修した内容を整理し、理解を深める

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。

#### 評 価

筆記試験（100%）

#### 教 科 書

配布資料

#### 参 考 図 書

1. 標準救急医学（医学書院）、2. リハベーシック安全管理学・救急医療学（医歯薬出版）、3. リハビリテーションリスク管理ハンドブック（medical view）

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
救急救命医学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
角 秀秋					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論	救急救命医学の概要、救急医療体制、法的諸問題 救急・集中医療におけるリハビリテーション総論、医療安全	角 秀秋
2	救急初療に必要な処置	一次・二次救命処置、気道確保、静脈路確保、中心静脈・動脈カニューレ ション、胃チューブ、SBチューブ、尿道カテーテル、心嚢穿刺、胸腔穿刺、 輸液、輸血、救急医薬品	角 秀秋
3	症状・兆候からみた救急疾患①	救急診断、バイタルサイン、緊急度・重症度評価、トリアージ、治療 緊急検査、画像検査	角 秀秋
4	症状・兆候からみた救急疾患②	ショック、呼吸困難、意識障害、頭痛、胸痛、腹痛、腰背部痛、嘔吐、吐 血、下痢、脱水、下血、尿異常	角 秀秋
5	重症救急患者の管理	生体侵襲と生体反応、循環管理、呼吸管理、意識障害患者の管理、体液管 理、血液浄化	角 秀秋
6	内因性の救急疾患	中枢神経系、呼吸器系、循環器系、消化器系、内分泌代謝系、腎泌尿器系 産婦人科	角 秀秋
7	外傷、災害医療	外傷、熱傷、急性中毒、熱中症 災害医療総論、医療体制、自然災害	角 秀秋
8	小児の救急疾患 リハビリテーション安全管理 ICUリハビリテーション	小児救急の全身評価、小児の心肺蘇生、発熱、けいれん、腹痛、呼吸障害、 血糖異常、小児虐待 安全管理・推進のガイドライン、ICU早期リハ	角 秀秋

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
基礎理学療法演習Ⅱ（検査・測定）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
澤田 誠、松本 典久、岡本 伸弘					演習	

#### 授 業 概 要

模擬症例に対する検査・測定項目の想起と技術演習を通して、これまでに学んだ検査・測定技術（形態測定、関節可動域、筋力、感覚、反射、協調性、筋緊張、疼痛、バランス）の修得を目指す。また、各技術を検者および被検者の立場から体験するとともに、グループワークを通して注意点をまとめ、検査・測定臨床実習に向けた臨床的実践能力の向上を目指す。

#### 到 達 目 標

1. 模擬症例に必要な検査・測定項目を列挙することができる
2. 模擬症例に必要な検査・測定を正しい手法で実施することができる
3. 検査・測定の結果を記録し、正常値と比較照合することができる
4. 検査・測定時の留意点（リスク管理）について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：提示した事前課題をまとめておく  
事後学修：技術の修得のため、自己学修を行うこと

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（60%）、実技試験（40%）

#### 教 科 書

1. 配布資料

#### 参 考 図 書

1. PT・OT ビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学第2版（羊土社）
2. ベッドサイドの神経の診方 改訂18版
3. 理学療法評価学 障害別・関節別評価のポイントと実際（文光堂）

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア フ ー 等

火、木曜日（13時～14時）・金曜日（17時～18時）研究室

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
基礎理学療法演習Ⅱ（検査・測定）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
澤田 誠、松本 典久、岡本 伸弘					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	検査・測定技術総論	検査・測定の目的、理学療法評価のための各種検査・測定技術	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
2	検査・測定演習	模擬症例【A】に対する検査・測定の想起	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
3	検査・測定演習	模擬症例【A】に対する検査・測定の実践①	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
4	検査・測定演習	模擬症例【A】に対する検査・測定の実践②	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
5	検査・測定演習	模擬症例【B】に対する検査・測定の想起	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
6	検査・測定演習	模擬症例【B】に対する検査・測定の実践①	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
7	検査・測定演習	模擬症例【B】に対する検査・測定の実践②	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
8	検査・測定演習	模擬症例【C】に対する検査・測定の想起	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
9	検査・測定演習	模擬症例【C】に対する検査・測定の実践①	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
10	検査・測定演習	模擬症例【C】に対する検査・測定の実践②	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
11	検査・測定演習	模擬症例【D】に対する検査・測定の想起	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
12	検査・測定演習	模擬症例【D】に対する検査・測定の実践①	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
13	検査・測定演習	模擬症例【D】に対する検査・測定の実践②	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘
14	総括	検査・測定時の留意点 グループワークのまとめ（発表会）	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
基礎理学療法演習Ⅱ（検査・測定）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
澤田 誠、松本 典久、岡本 伸弘					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	検査・測定時の留意点 グループワークのまとめ（発表会）	澤田 誠 松本典久 岡本伸弘

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
理学療法評価演習Ⅲ（疾患別評価）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
永崎 孝之、北村 匡大、澤田 誠					演習	

#### 授 業 概 要

模擬症例の情報に基づいた演習を通して、①検査・測定項目の想起、②検査・測定結果に対する症候学的分析および障害学的分析、③理学療法プログラムの立案、④リスク管理、に関する能力の修得を目指す。また、グループワークを通して問題解決のために必要な思考法を学び、評価臨床実習に向けた臨床的実践能力の向上を目指す。

#### 到 達 目 標

1. 疾患情報に基づいて必要と考えられる検査・測定項目を想起し、選定することができる
2. 検査・測定結果に対して症候障害学の観点から考察する方法（症候学的分析・障害学的分析）を理解する
3. 各種ガイドラインを参考に理学療法プログラムを検討することができる
4. 理学療法評価および理学療法プログラムの立案に伴うリスクについて説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：提示した事前課題をまとめておく  
 事後学修：技術の修得のため、自己学修を行うこと

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

課題発表（60%）、レポート課題（40%）  
 受験資格：授業総回数（15回）の2/3以上（6回の欠席で失効）を有すること

#### 教 科 書

1. 症例動画でわかる理学療法臨床推論 統合と解釈実践テキスト（羊土社）他科目とも併用
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

事前に予約することで急なキャンセル以外は対応します。  
 また予約なしでも在室時で対応可能な場合も受け付けます。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
理学療法評価演習Ⅲ（疾患別評価）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
永崎 孝之、北村 匡大、澤田 誠					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論 1	オリエンテーション 理学療法における評価とは（目的） 評価の思考過程と必要項目	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
2	総論 2	症候学と障害学 物理医学としての思考過程とリハビリテーションとしての思考過程（ICD、ICIDH、ICF）	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
3	骨・関節疾患における症候と障害	骨・関節疾患により生じる症候、機能障害と能力障害（ICD、ICIDHに準拠）	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
4	神経・筋疾患における症候と障害	神経・筋疾患により生じる症候、機能障害と能力障害（ICD、ICIDHに準拠）	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
5	呼吸・循環疾患における症候と障害	呼吸・循環疾患により生じる症候、機能障害と能力障害（ICD、ICIDHに準拠）	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
6	模擬症例A	模擬症例に基づく、理学療法評価に必要な症候、障害の想起（物理医学的思考過程）	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
7	模擬症例A	課題発表	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
8	模擬症例A 情報追加	模擬症例に基づく、理学療法評価に必要な症候、障害の想起（リハビリテーション的思考過程）	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
9	模擬症例B	模擬症例に基づく、理学療法評価に必要な症候、障害の想起（物理医学的思考過程）	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
10	模擬症例B	課題発表	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
11	模擬症例B 情報追加	模擬症例に基づく、理学療法評価に必要な症候、障害の想起（リハビリテーション的思考過程）	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
12	模擬症例C	模擬症例に基づく、理学療法評価に必要な症候、障害の想起（物理医学的思考過程）	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
13	模擬症例C	課題発表	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠
14	模擬症例C 情報追加	模擬症例に基づく、理学療法評価に必要な症候、障害の想起（リハビリテーション的思考過程）	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
理学療法評価演習Ⅲ（疾患別評価）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
永崎 孝之、北村 匡大、澤田 誠					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	まとめ	理学療法評価とICF	永崎孝之 北村匡大 澤田 誠

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
動作分析学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
玉利 誠、坪内 優太					講義	

#### 授 業 概 要

三次元動作解析装置により得られたデータに基づき、理学療法士が対象とする基本動作（立ち上がり動作・歩行）のメカニズムについて理解する。また、健常者と患者の差異について学ぶことにより、動作観察のポイントを理解する。

#### 到 達 目 標

1. 運動および動作の成り立ちについて説明することができる
2. 立ち上がり動作のバイオメカニクスと動作観察のポイントについて説明することができる
3. 歩行のバイオメカニクスと動作観察のポイントについて説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：運動学実習にて使用したデータと資料を確認しておく  
 事後学修：講義の内容にもとづき、各種グラフ波形の解釈についてまとめる

#### 対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 多様化かつ高度化する医療において、専門的な理学療法の実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

#### 評 価

課題レポート（100%）

#### 教 科 書

1. 配布資料

#### 参 考 図 書

1. モーターコントロール 原著第4版（医歯薬出版）
2. ペリー歩行分析原著第2版正常歩行と異常歩行（医歯薬出版）
3. 新ボディダイナミクス入門 立ち上がりと歩行の分析（医歯薬出版）

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

火曜日（13時～14時）・木、金曜日（15時～16時）研究室

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
動作分析学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
玉利 誠、坪内 優太					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	運動・動作・行為の定義、個体・課題・環境の関係、バイオメカニクスの基礎知識	玉利誠 坪内優太
2	立ち上がり動作	立ち上がり動作のバイオメカニクス① 重心位置・重心加速度・床反力・関節角度・関節モーメント・関節パワー	玉利誠 坪内優太
3	立ち上がり動作	立ち上がり動作のバイオメカニクス② 重心位置・重心加速度・床反力・関節角度・関節モーメント・関節パワー	玉利誠 坪内優太
4	歩行	歩行のバイオメカニクス① 重心位置・重心加速度・床反力・関節角度・関節モーメント・関節パワー	玉利誠 坪内優太
5	歩行	歩行のバイオメカニクス② 重心位置・重心加速度・床反力・関節角度・関節モーメント・関節パワー	玉利誠 坪内優太
6	歩行	歩行のバイオメカニクス③ 重心位置・重心加速度・床反力・関節角度・関節モーメント・関節パワー	玉利誠 坪内優太
7	病的歩行	病的歩行のバイオメカニクス① 重心位置・重心加速度・床反力・関節角度・関節モーメント・関節パワー	玉利誠 坪内優太
8	病的歩行	病的歩行のバイオメカニクス② 重心位置・重心加速度・床反力・関節角度・関節モーメント・関節パワー	玉利誠 坪内優太

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
物理療法Ⅱ（電気・光線・振動）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
岡 真一郎、大田 瑞穂					演習	

#### 授 業 概 要

物理療法（電気刺激療法、光線療法、筋電図バイオフィードバック療法、振動刺激療法、衝撃波療法、ロボットリハビリテーション）の原理と生理学的作用、疾患の適応、禁忌について学ぶとともに、演習を通して各種物理療法機器の使用方法を習得する。

#### 到 達 目 標

1. 物理療法（電気刺激療法、光線療法、筋電図バイオフィードバック療法、振動刺激療法、衝撃波療法、ロボットリハビリテーション）の原理と生理学的作用、疾患の適応、禁忌について理解し、説明できる。
2. 物理療法（電気刺激療法、光線療法、筋電図バイオフィードバック療法、振動刺激療法）の機器を使用できる。

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
事後学修：教科書と配布資料による復習を行うこと

#### 対 応 D P

- ◎ 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

筆記試験（60%）、実技試験（30%）、演習レポート（10%）

#### 教 科 書

1. Crosslink理学療法学テキスト 物理療法（メジカルビュー）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

授業については講義と演習を組み合わせる効果的に実施する。演習では、チェックリストに基づいて実技を実施して演習レポートを提出する。そのため、必ず実技が行える服装で参加すること。

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月～金曜日（12時～13時）、岡：2809研究室、大田：共同研究室

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理療法Ⅱ（電気・光線・振動）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
岡 真一郎、大田 瑞穂					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	電気刺激療法	電気刺激療法総論（定義、生理学的作用、目的と名称、刺激設定、効果とメカニズム）	岡真一郎 大田瑞穂
2	電気刺激療法	経皮的電気刺激（TENS）と干渉電流療法（IFCS）の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
3	電気刺激療法	神経筋電気刺激（NMES）の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
4	電気刺激療法	機能的電気刺激（FES）の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
5	電気刺激療法	末梢神経電気刺激（PNS）と微弱電流刺激（MES）の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
6	演習1	経皮的電気刺激（TENS）、干渉電流療法（IFCS） 神経筋電気刺激（NMES）、機能的電気刺激（FES）、末梢神経電気刺激（PNS）	岡真一郎 大田瑞穂
7	演習2	経皮的電気刺激（TENS）、干渉電流療法（IFCS） 神経筋電気刺激（NMES）、機能的電気刺激（FES）、末梢神経電気刺激（PNS）	岡真一郎 大田瑞穂
8	光線療法	赤外線療法・レーザー療法・紫外線療法の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
9	筋電図バイオフィードバック療法	筋電図バイオフィードバックの原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
10	振動刺激療法	振動刺激療法の原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
11	演習3	光線療法、筋電図バイオフィードバック、振動刺激療法	岡真一郎 大田瑞穂
12	演習4	光線療法、筋電図バイオフィードバック、振動刺激療法	岡真一郎 大田瑞穂
13	衝撃波療法・ロボットリハビリテーション	衝撃波療法とロボットリハビリテーションの原理と生理学的作用、適応と禁忌	岡真一郎 大田瑞穂
14	演習5	物理療法2演習まとめ	岡真一郎 大田瑞穂

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
物理療法Ⅱ（電気・光線・振動）	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
岡 真一郎、大田 瑞穂					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	最新の物理療法	最新の物理療法トピックス	岡真一郎 大田瑞穂

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
疼痛理学療法	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
齊藤 貴文					講義	

#### 授 業 概 要

痛みについて生物学的モデルと生物心理社会モデルの観点から理解を深め、治療的な理学療法から集学的なリハビリテーションまで幅広いアプローチを展開するための理論を学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 痛みの神経生理学について理解する
2. 急性痛のメカニズムを理解し、生物学的モデルに基づいた痛みの治療展開について考えることができる
3. 慢性痛のメカニズムを理解し、生物心理社会モデルに基づいた痛みのマネジメント戦略について考えることができる
4. ペインリハビリテーションおよび慢性痛治療ガイドラインについて理解する

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：提示した事前課題をまとめ、概要を整理しておく  
 事後学修：課題レポートをまとめる

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。  
 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。

#### 評 価

課題レポート (100%)

#### 教 科 書

1. ペインリハビリテーション入門
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

1. 慢性疼痛治療ガイドライン
2. 痛みの集学的診療：痛みの教育コアカリキュラム

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
疼痛理学療法学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	選択	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
齊藤 貴文					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	総論	痛みの疫学、定義、急性痛と慢性痛、生物学的モデルと生物心理社会モデル	齊藤貴文
2	痛みの分類	侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛、痛覚変調性疼痛について	齊藤貴文
3	痛みの評価	痛みの多面的評価、痛みの尺度・質問紙	齊藤貴文
4	急性の痛み	急性痛のメカニズムとその治療展開	齊藤貴文
5	慢性の痛み	慢性痛のメカニズムとそのマネジメント戦略	齊藤貴文
6	痛みの薬物療法・心理療法	痛みに対する薬物療法・心理療法の基礎	齊藤貴文
7	ペインリハビリテーション	ペインリハビリテーションの理論と実際	齊藤貴文
8	慢性痛治療ガイドライン	診療ガイドライン	齊藤貴文

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
小児理学療法学	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
水野 健太郎					講義	

#### 授 業 概 要

小児理学療法の対象となる代表的疾患（脳性麻痺・二分脊椎・ダウン症・進行性筋ジストロフィー）の症候・治療・障害・評価について学ぶ。また、小児患者の重症度や発達に応じた適切な理学療法およびリハビリテーションの理論と実際について学ぶとともに、科学的根拠に基づいた小児理学療法の在り方について考える。

#### 到 達 目 標

1. 脳性麻痺の定義と分類を説明することができる
2. タイプ別脳性麻痺児の発達上の特徴を理解し、必要な理学療法評価と理学療法のポイントを説明することができる
3. 二分脊椎，染色体異常症（ダウン症候群），重症心身障害児・者の理学療法評価と理学療法のポイントを説明することができる
4. 発達期に特化した評価表（GMFM, GMFCS, WeeFIM, PEDI）の概要を説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと  
 事後学修：教科書と講義資料を用いて学習内容を整理し、理解を深める

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）

#### 教 科 書

1. 小児理学療法学テキスト改訂3版（南江堂）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フ ィ ス ア ワ ー 等


#### 実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
小児理学療法学	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
水野 健太郎					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	正常運動発達	運動発達の原則と各姿勢での粗大運動の発達	水野健太郎
2	発達・運動発達の評価と正常運動発達	代表的な発達評価、および日常生活と能力障害の評価	水野健太郎
3	運動発達の理論	神経学的、生物学的、行動学的観点に基づいた運動発達理論	水野健太郎
4	姿勢反射の発達	姿勢反射の発達と運動発達の関連	水野健太郎
5	脳性麻痺総論①	脳性麻痺の定義、原因、分類、および脳性麻痺を持つ児の臨床像	水野健太郎
6	脳性麻痺総論②	脳性麻痺を持つ児の理学療法評価と理学療法（治療）	水野健太郎
7	痙直型四肢麻痺	痙直型四肢麻痺を持つ児の発達と理学療法	水野健太郎
8	痙直型両麻痺	痙直型両麻痺を持つ児の発達と理学療法	水野健太郎
9	アテトーゼ型脳性麻痺	アテトーゼ型脳性麻痺を持つ児の発達と理学療法	水野健太郎
10	子どもの整形外科疾患	子どもの整形外科疾患と理学療法	水野健太郎
11	神経発達症	神経発達症の特性と理学療法	水野健太郎
12	子どもの遺伝性疾患	筋ジストロフィーやダウン症候群の特徴と理学療法	水野健太郎
13	重症心身障害児（者）	重症心身障害児（者）の臨床像と理学療法	水野健太郎
14	子どもの呼吸障害	子どもの呼吸障害の特徴と理学療法	水野健太郎

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
小児理学療法学	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
水野 健太郎					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	運動発達障害の療育体系と療育指導	療育における理学療法士の役割	水野健太郎

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
義肢学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
遠藤 正英					演習	

#### 授 業 概 要

義肢の定義と目的について理解するとともに、義肢の構造と機能について学ぶ。また、断端レベルに応じた義肢の種類やチェックアウト、切断者のリハビリテーションについて学ぶとともに、義肢の処方や制作に係る法制度について理解する。

#### 到 達 目 標

1. 義肢の定義と目的、義肢のメカニズムや制作の流れについて理解する
2. 各種義肢の構造と機能について説明することができる
3. 切断に関する基礎知識を理解し、切断者のリハビリテーションについて説明することができる
4. 各種義肢の適合判定や不適合による異常動作について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学修：授業の内容について理解できるよう、整理しておくこと

#### 対 応 D P


#### 評 価

定期試験（100%）

#### 教 科 書

1. 理学療法学テキストVI 義肢装具学第2版（神陵文庫）
2. 脳卒中の装具のミカタ（医学書院）
3. 配布資料

#### 参 考 図 書


#### 留 意 事 項

--

#### オ フィ ス ア フ ー 等


#### 実 務 経 験

--

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
義肢学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
遠藤 正英					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
1	上肢装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>指装具の使用目的と種類を理解する</li> <li>対立装具の使用目的と種類を理解する</li> </ul>	遠藤正英
2	上肢装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>手関節装具の使用目的と種類を理解する</li> </ul>	遠藤正英
3	上肢装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>把持装具の使用目的と種類を理解する</li> <li>肘装具、肩装具の使用目的と種類を理解する</li> </ul>	遠藤正英
4	下肢装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>下肢装具を使用する目的を理解する</li> <li>下肢装具の分類を理解する</li> </ul>	遠藤正英
5	下肢装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>下肢装具の適応を理解する</li> <li>下肢装具の部品、継手の位置を理解する</li> </ul>	遠藤正英
6	体幹装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>体幹装具の目的と分類を理解する</li> <li>頸椎装具、頸胸椎装具、胸腰仙椎装具、腰仙椎装具、仙腸装具の使用目的と構造を理解する</li> </ul>	遠藤正英
7	疾患別の装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中患者の特徴を理解する</li> <li>脳卒中患者の歩行と下肢装具での対応を理解する</li> </ul>	遠藤正英
8	疾患別の装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中患者の上肢の特徴を理解する</li> <li>脳卒中患者の肩装具、手関節装具、指装具、肘装具の使用目的と種類を理解する</li> </ul>	遠藤正英
9	疾患別の装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>脊髄損傷患者の体幹装具の特徴を理解する</li> </ul>	遠藤正英
10	疾患別の装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>脊髄損傷患者の上肢装具の特徴を理解する</li> <li>脊髄損傷患者の下肢装具の特徴を理解する</li> </ul>	遠藤正英
11	疾患別の装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨関節疾患患者の上肢の特徴を理解する</li> <li>骨関節疾患患者の下肢の特徴を理解する</li> </ul>	遠藤正英
12	疾患別の装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳性麻痺患者に対する装具の種類と使用目的を理解する</li> <li>側弯症患者に対する体幹装具の構造と使用目的を理解する</li> </ul>	遠藤正英
13	靴型装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>靴型装具の定義を理解する</li> <li>靴型装具の基本構造と分類を理解する</li> </ul>	遠藤正英
14	靴型装具	<ul style="list-style-type: none"> <li>靴型装具の各種補正方法について理解する</li> <li>アーチの障害、糖尿病足、リウマチによる靴型装具の対応を理解する</li> </ul>	遠藤正英

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
義肢学	2023年度	理学療法学科	1単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
遠藤 正英					演習	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括	リハビリテーションにおける義肢装具の役割	遠藤正英

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
生活技術学	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
田中 真一					講義	

#### 授 業 概 要

理学療法士が関わることの多い代表的な日常生活動作（食事・整容・行為・入浴・排泄・移乗）の成り立ちについて理解するとともに、対象者の日常生活動作を適切に評価する方法について学ぶ。また、日常生活動作に役立つ自助具の名称や機能について理解し、対象者の機能障害や能力障害に応じて適切な自助具を提案するための基礎知識を学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 日常生活動作(ADL)の概念を説明することができる
2. 代表的な日常生活動作の評価（BI・FIM）を実施できる
3. 代表的な日常生活動作に必要な運動の構成について説明することができる
4. 各種自助具の名称と機能について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：各授業のテーマに該当するテキストに目を通しておくこと  
 事後学修：授業の内容について理解できるよう、整理しておくこと

#### 対 応 D P

- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。
- 多様化かつ高度化する医療において、専門的な理学療法の実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

#### 評 価

筆記試験（100%）

#### 教 科 書

1. 日常生活活動学テキスト改訂第3版（南江堂）
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オフィスアワー等

月、木曜日（13時～14時）・火曜日（17時～18時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生活技術学	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
田中 真一					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論	日常生活活動(ADL)の概念、ADLとICF、ADLとQOL	田中真一
2	総論	ADL評価の目的と意義、ADL評価の種類とポイント	田中真一
3	ADLの評価尺度	Barthel Index	田中真一
4	ADLの評価尺度	機能的自立度評価法 (FIM)	田中真一
5	自助具の種類と使用方法	各種自助具の種類と使用方法①	田中真一
6	自助具の種類と使用方法	各種自助具の種類と使用方法②	田中真一
7	ADLの評価の実際	食事動作の分析と評価	田中真一
8	ADLの評価の実際	整容・清拭動作の分析と評価	田中真一
9	ADLの評価の実際	更衣動作の分析と評価	田中真一
10	ADLの評価の実際	入浴動作の分析と評価	田中真一
11	ADLの評価の実際	排泄動作の分析と評価	田中真一
12	ADLの評価の実際	移乗動作の分析と評価	田中真一
13	ADLの評価の実際	事例を通したADL評価①	田中真一
14	ADLの評価の実際	事例を通したADL評価②	田中真一

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
生活技術学	2023年度	理学療法学科	2単位	30時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
田中 真一					講義	

回数	単 元	内 容	担当教員
15	総括		田中真一

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
地域理学療法学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
溝田 勝彦、濱地 望					講義	

#### 授 業 概 要

高齢者の身体機能および精神機能の特徴や加齢変化を理解するとともに、高齢者に対する理学療法評価や理学療法を実施する際のポイントについて学ぶ。また、高齢者を取り巻く地域社会の現状や現行の諸制度を理解するとともに、介護予防事業や介護保険下のサービス（入所リハビリテーション・通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション）の概要と実際について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 高齢者の身体機能と精神機能の特徴について説明することができる
2. 高齢者に多い疾患特性を理解し、必要な理学療法評価や理学療法について理解する
3. 介護老人保健施設・通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションの概要について説明できる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

事前学修：教科書と関連する該当箇所を予習し授業に臨むこと  
 事後学修：教科書と配布資料による復習を行うこと

#### 対 応 D P

- 疾病・障害の発症及び再発の予防を目指した理学療法が実践できる。
- 多様化かつ高度化する医療において、専門的な理学療法の実践をとおして広く社会に貢献する能力を有している。

#### 評 価

筆記試験（100%）

#### 教 科 書

1. シンプル理学療法学シリーズ 高齢者理学療法学テキスト
2. 配布資料

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フィ ス ア ワ ー 等

月、金曜日（13時～14時）・木曜日（17時～18時）研究室 メール等で2日前までに事前に予約を取ることとする。

#### 実 務 経 験

授業科目名	開講年度	学科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
地域理学療法学	2023年度	理学療法学科	1単位	15時間	必修	2年後期
担当教員					授業形態	開講形式
溝田 勝彦、濱地 望					講義	

回数	単元	内 容	担当教員
1	総論	ライフステージと高齢者像、加齢に伴う心身機能の変化	溝田勝彦
2	老年症候群	老年症候群の概要と分類 フレイル、低栄養、摂食嚥下障害、尿失禁、認知症、うつ、睡眠障害、転倒、寝たきり	溝田勝彦
3	高齢者の生活機能評価	認知・精神機能の評価、日常生活動作の評価、生活環境の評価、QOLの評価	溝田勝彦
4	高齢者の健康寿命の延伸	介護予防の概要と実際	溝田勝彦
5	高齢者の理学療法	高齢者に対する理学療法のポイント	溝田勝彦
6	地域理学療法の実際	入所リハビリテーションサービスの概要と実際、理学療法士の役割	溝田勝彦
7	地域理学療法の実際	通所リハビリテーションサービスの概要と実際、理学療法士の役割	溝田勝彦
8	地域理学療法の実際	訪問リハビリテーションサービスの概要と実際、理学療法士の役割	溝田勝彦

授 業 科 目 名	開 講 年 度	学 科	単 位 数	時 間 数	必 修 ・ 選 択	配 当 年 次
検 査 測 定 臨 床 実 習 I	2023年 度	理 学 療 法 学 科	1単 位	45時 間	必 修	2年 後 期
担 当 教 員					授 業 形 態	開 講 形 式
永 崎 孝 之、玉 利 誠、溝 田 勝 彦、古 後 晴 基、森 下 元 賀、田 中 真 一、齊 藤 貴 文、吉 澤 隆 志、岡 真 一 郎、北 村 匡 大、坪 内 優 太、野 中 嘉 代 子、大 田 瑞 穂、澤 田 誠、松 本 典 久、原 田 伸 哉、濱 地 望					実 習	

#### 授 業 概 要

理学療法評価法や理学療法評価演習Ⅰ（運動器系）およびⅡ（神経系）で学んだ検査測定（血圧測定、形態測定、関節可動域測定、徒手筋力検査、脳神経検査、反射検査、感覚検査、協調性検査、筋緊張検査、疼痛検査、バランス検査、等）について、実際の臨床現場における実践を通して理解を深めるとともに、技術の修得を目指す。また、医療人としての倫理観や接遇について学ぶ。

#### 到 達 目 標

1. 医療および理学療法の倫理に関する規範について説明することができる
2. 実習指導者の指導・助言・監督のもとに、基本的な検査測定項目（血圧測定、形態測定、関節可動域測定、徒手筋力検査、脳神経検査、反射検査、感覚検査、協調性検査、筋緊張検査、疼痛検査、バランス検査）を実践することができる
3. 検査・測定時に生じるリスクとその管理について説明することができる

#### 事 前 学 修 ・ 事 後 学 修

実習のスケジュール（授業計画）の詳細は事前学修の際にオリエンテーションする  
 事前学修：各種検査測定の基礎知識について自己学修しておく  
 事後学修：実習で学んだ内容をまとめ、報告する

#### 対 応 D P

- 多様性のある対象者の個別の健康課題に対し、科学的根拠に基づく理学療法を実践する能力を有している。
- 多くの専門職と連携・協働するための協調性を有し、対象者の基本的動作能力の回復を図ることでチームに貢献できる能力を有している。

#### 評 価

レポート（50%）、実習評価（50%）

#### 教 科 書

1. 検査測定臨床実習の手引き（理学療法学科）

#### 参 考 図 書

#### 留 意 事 項

#### オ フ ィ ス ア ワ ー 等

必要に応じて随時（事前に予約すること）

#### 実 務 経 験

授 業 科 目 名	開講年度	学 科	単位数	時間数	必修・選択	配当年次
検査測定臨床実習 I	2023年度	理学療法学科	1単位	45時間	必修	2年後期
担 当 教 員					授業形態	開講形式
永崎 孝之、玉利 誠、溝田 勝彦、古後 晴基、森下 元賀、田中 真一、齊藤 貴文、吉澤 隆志、岡真一郎、北村 匡大、坪内 優太、野中 嘉代子、大田 瑞穂、澤田 誠、松本 典久、原田 伸哉、濱地 望					実習	

内 容

- 実習前：
- ・オリエンテーションにて実習の目的や目標について理解する
  - ・各種検査測定に関する知識を整理する
  - ・医療人としての倫理観や接遇の在り方について自身の考えをまとめる
- 実習中：
- ・引率教員および実習指導者の指示に従い、理学療法士の業務を見学および体験する
  - ・実習指導者の指導・助言・監督のもとに、基本的な検査測定を実施する
  - ・実施した検査測定の結果を記録する
- 実習後：
- ・実習で学んだ内容を整理する
  - ・実習で学んだ内容について報告する